



報告事項

2024-2025 第 2 回ガバナー協議会 2024/10/25

報告事項 1

協議会議長

藤井 信英

一般社団法人日本ライオンズ執行理事会・理事会・社員総会 報告

- 【一社日 L】 第 1 回社員総会議事録（2024/08/01 開催 REAL）P9～18
- 【一社日 L】 第 1 回執行理事会（2024/08/06 開催 WEB）
- 【一社日 L】 第 1 回理事会議事録（2024/08/30 開催 REAL）P19～25
- 【一社日 L】 第 1 回理事会（2024/09/23 開催 REAL）
- 【一社日 L】 第 3 回執行理事会（2024/10/11 開催 WEB）
- 【一社日 L】 第 3 回理事会（2024/10/31 開催 ※岡山市）
- 【一社日 L】 能登豪雨災害被災地支援対策本部会議次第（2024/10/04 開催 REAL）P26

2024-2025 年度国際会長アワード受賞基準について

【10/15 OSEAL 調整事務局配信メールより抜粋】

国際会長より今年度複合地区 330 - 337 に対する国際会長賞、リーダーシップ賞の上限数について通知がありましたのでお知らせ申し上げます。
複合地区によって数が異なりますので、ご注意ください。

複合地区	会長賞数	リーダーシップ賞数
330	5	10
331	4	8
332	7	14
333	6	13
334	7	14
335	6	12
336	6	12
337	7	13

複合地区議長と割り当てられた元会長、理事、元理事の責任において複合地区内での優先順位を決めて推薦いただきますので、各準地区からの推薦数については上記をもとに各複合地区でお決めいただきますようお願いいたします。

上記の数字は、国際会長から通知があったもので根拠その他は現時点ではお答えいたしかねます。
推薦の数が上記の数を上回り、それを認めてもらう必要がある場合には、推薦書を国際会長室に提出する段階で、各複合地区の署名権者からの説明をいただきリクエストをいたします。

国際会長感謝状について

渡部元国際理事のご指示により、国際会長感謝状とバッヂを各地区宛で発送済み。

- ・ A 地区：17 枚（個）
- ・ B～D 地区：16 枚（個）

【渡部元国際理事より】

国際会長感謝状について

この感謝状は、素晴らしい活動を達成した会員を称えるものです。
特にクラブ運営に関して真剣に取り組み、会員数を伸ばしたクラブ会長を応援するために使っていただきたいと思います。加えて、意味のある人道的奉仕活動に対し、際立ったサポートを行ったライオンを称える際にもご使用ください。

オリヴェイラ国際会長公式訪問・歓迎晩餐会・懇談会について

[MD336 内訳]

日付	行事	金額(円)	人数 地区数	金額 (円)
11/26	公式訪問・歓迎晩餐会 登録料	20,000	51	1,020,000
11/26	国際会長と現・元国際理事／議長／エリアリーダーの懇談会	8,000	2	16,000
11/27	国際会長と地区ガバナーの懇談会	8,000	4	32,000
	MD 協力金	500,000		500,000
	LCIF 寄付贈呈(準地区ごと)	10,000	4	40,000
振込合計金額 ※10/16 に MD335 指定口座へ送金済み				1,608,000

ご案内.....P27～28

報告事項 2

公益財団法人日本ライオンズ理事

池原 堅

公益財団法人日本ライオンズの趣旨・事業説明・報告について

2024-2025 年第 1 回 一社)日本ライオンズ社員総会(3 5 地区ガバナー含む)で報告がされた。
一社)日本ライオンズも承認されております。
8 複合地区議長並びに各準地区ガバナーはその旨を発信し説明、報告とともに意見を聞く事になっています。
残念ながら MD336 では現時点に於いてまだ不十分のように思います。
趣旨と目的をしっかりと聞いていただき丁寧に説明し、ご意見をいただきたい。
先ずは第 2 回ガバナー協議会で再度、周知徹底していただきたく報告いたします。
必要に応じて時間があれば役員連絡会議で説明させていただきたい。
尚、時間的に難しいようであれば各地区訪問し説明させていただきたい。

【一社日 L】第 1 回社員総会議事録(2024/08/01 開催 REAL)P9～18

第 3 回全国特別支援学校フットサル大会次第P29

第 3 回全国特別支援学校フットサル大会出場校一覧.....P30

第 4 回(令和 7 年度)全国特別支援学校フットサル大会運営組織と日程P31

寄附金申込書P32

報告事項 3

複合地区年次大会委員長

大谷 博

※協議事項 3(P22～) 参照、補足説明と報告

報告事項 4

LCIF コーディネーター

高岡 英治

パティ・ヒル LCIF 理事長日本公式訪問及び日本リーダーズ会議について

- ・ LCIF 理事長パティ・ヒル夫妻日本公式訪問式典及び晩餐会
日 時：2024 年 9 月 24 日(火) 15:00～19:00
場 所：名古屋マリオットアソシアホテル 16 階「タワーズボールルーム」

LCIF 日本リーダーズ会議(2024-2025 年度第 2 回会議)

日 時：2024 年 9 月 25 日(水) 11:30～16:30

LCIF 理事長との懇親、表彰、及びお食事 11:30～13:30
会 場：名古屋マリオットアソシアホテル 17 階「ルピナス」

LCIF 日本リーダーズ会議 13:45～16:30
会 場：ウインクあいち 9 階 902 会議室

公式訪問式典表紙.....	P33
式典・晩餐会プログラム	P34
LCIF リーダーズ会議次第	P35
LCIF 寄付額一覧（10/15 速報値）	P36

報告事項 5

GMT コーディネーター

宮本 浩二

8 複合 GMT コーディネーター会議開催について

2024 年 8 月 20 日（火） 10：00～11：30（90 分） W e b 会議開催
GATJapan への MISSION1.5 進捗報告書統一（案）審議

2024 年 10 月 22 日（火） 10：00～11：30（90 分） W e b 会議開催
MISSION1.5 進捗状況について意見交換

MISSION1.5・GMA 進捗確認会議（GMT・GET・FWT 合同）開催について

第 1 回 MD336MISSION1.5・GMA 進捗会議（GMT・FWT 合同会議）
2024 年 8 月 28 日（水） 10：00～11：30（90 分） W e b 会議開催
※ 別紙議事録添付

第 2 回 MD336MISSION1.5・GMA 進捗会議（GMT・GET・FWT 合同会議）
2024 年 11 月 6 日（水） 10：00～11：30（90 分） W e b 会議開催

MISSION1.5 進捗報告書について

GATJapan へ提出 MD336MISSION1.5“第一四半期”進捗報告書

※ 別紙報告書添付

2 週間毎の目標修正と行動計画策定を要請されていることは、すでにご承知のことと存じます。
準地区 GAT 役員皆さまは、毎月月末の 3 日迄のご報告にご理解及びご協力願いたい！
準地区 GAT 会議で、役員皆さまへ周知徹底いただくよう要請いたします。

【MD336】MISSION 1.5 会議議事録（2024/08/28 開催 WEB）	P37
MD336 MISSION1.5 進捗報告書	P38～41

報告事項 6

GLT コーディネーター

西尾 慎一

講師育成研究会（FDI）開催地の変更について

開催日：2025 年 2 月 7 日～9 日
開催地：ベトナム・ホーチミン ⇒ マレーシア・クアラルンプール
募集人数：25 名
申請書提出先：オセアル調整事務局 gatjapan@lionsclubs.org
提出期限：2024 年 9 月 26 日（木）

<https://www.lionsclubs.org/ja/resources-for-members/resource-center/advanced-lions-leadership-institute>

OSEAL 調整事務局からの開催地変更に関する通達..... P42

元地区ガバナー研修会（元地区ガバナー対象上半期ウェビナー最新報告会）

開催日：
①9 月 18 日（水）MD335,MD336 午後 3 時～5 時
②9 月 30 日（月）MD335,MD336 午後 1 時～3 時

参加者数	A 地区:4 名	B 地区:6 名	C 地区:8 名	D 地区:4 名
------	----------	----------	----------	----------

議長宛案内と依頼文P43～44

2024-2025 年度 MD336 第一第二副地区ガバナー研修会

日 時：10 月 29 日（火）13：00～17：30
 場 所：岡山シティホテル桑田町 別館 3F 会議室「306」岡山市北区桑田町 3-30
 講 師：濱野国際理事

研修会次第P45

※出席対象者各位へは 10/3 に別添資料とともに配信済
 ※資料の事前課題部分を必ず終えて参加いただきたい

報告事項 7

GST コーディネーター

畑中 隆之

「思いやりは大切なこと」アワード

以下 20 クラブより応募があった
 ☆印が各地区最優秀賞
 A 地区：高知桂 LC・☆高松玉藻 LC
 B 地区：☆岡山西 LC・日生 LC・岡山中央 LC・津山衆楽 LC・玉野 LC・倉敷真備 LC
 C 地区：☆広島佐東 LC・広島フェニックス LC・尾道瑠璃 LC・広島可部 LC・広島ニュー LC
 東広島あぎつ LC・福山フラワー LC
 D 地区：宇部 LC・下関 LC・光 LC・☆出雲中央 LC・新南陽若山 LC

10 月 9 日（水）MD336 GST 委員会にて最終審査会を開催。
 MD336 として、広島佐東 LC「梅林の復活事業」を国際本部へ推薦。
 各準地区の最優秀賞にはガバナー協議会議長より表彰を行う。

各準地区の上半期ガバナーズ・アワード大賞の中から最優秀賞を選出し、複合地区年次大会においてガバナー協議会議長より表彰を行う。

2024-2025 年度各準地区活動報告

336-D 地区 1 型糖尿病動画配信と地区 YouTube チャンネル開設のお知らせ。
 動画は使用許諾を頂いている。各準地区で活用頂きたい。

【MD336】第 1 回議事録（2024/10/09 開催）P46～47
 広島佐東 LC「梅林の復活事業」P48～49

報告事項 8

アラート委員会委員長

西尾 慎一

第 2 回 MD336 委員会開催

日 時：2024 年 11 月 20 日（金）15：00～16：30
 場 所：複合事務局

全国アラートフォーラム 2025 in 茨城開催
 主 催：一般社団法人 日本ライオンズ アラート委員会
 主 管：ライオンズクラブ国際協会 MD333
 開催日：2025 年 3 月 14 日（金）

フォーラム：受付 12:10～ 13:00～16:30
 水戸市民会館（029-303-6226）ユードムホール（客席 482 席）
 茨城県水戸市泉町 1 丁目 7－1

交 流 会：18:00～20:00
 ホテル ウェストヒルズ（029-303-5111）
 茨城県水戸市大工町 1 丁目 2－1

2024-2025 MD336 アラート委員会組織図P50
 能登支援物資募集一時停止のお願いP51
 全国アラートフォーラム 2025 in 茨城（概要書）P52～56

【一社日 L】 第 1 回議事録 (2024/08/23 開催)	P57～59
【一社日 L】 第 2 回次第 (2024/09/27 開催)	P60
【MD336】 第 1 回議事録 (2024/09/20 開催)	P61～62

報告事項 9

会則および付則運営マニュアル編集委員会委員長

松岡 諒

MD336 運営マニュアル ガバナー等立候補者用提出書式の改定について

メルボルン国際大会で第二副地区ガバナーの資格要件がコーディネーター（規定上は FWT 除く）まで拡大されました。

そのため、候補者の資格要件を確認するための各種の書式を改定する必要があります。

委員会開催について

第 2 回 MD336 委員会 10 月 15 日(火)開催

第 3 回 MD336 委員会 2025 年 1 月 20 日（月）開催予定

MD336 運営マニュアル(2023-2024 発行)ガバナー等候補者用書式..... P63～71

【一社日 L】 第 1 回議事録 (2024/08/02 開催)

【MD336】 第 1 回議事録 (2024/09/06 開催)

【MD336】 第 2 回議事録 (2024/10/15 開催)

報告事項 10

青少年・ライオンズクエスト・薬物乱用防止・平和ポスター委員会委員長

春木 扶佐子

1. ライオンズクエスト普及活動について

336-A 地区

- ・ 7 月 29 日 体験セミナー 土佐女子中高等学校 高知 LC 教員 4 9 名
- ・ 8 月 9 日 公募型 WS 高松市内 2 3 名（教員 3 名 保護者他 1 5 名 ライオンズ 5 名）高松東 LC
- ・ 8 月 20 日 公募型 WS 鳴門市内小・中学校・保育園対象 20 名（教員 19 名ライオンズ 1 名）鳴門 LC
- ・ 8 月 2 3 日 公募型 WS 土佐市内小・中学校対象 教員 1 6 名 土佐 LC

336-C 地区

- ・ 7 月 2 3 日 体験セミナー 廿日市立吉和学園 担当：宮島口 LC 教員 11 名 ライオンズ 6 名
- ・ 7 月 2 5 日 体験セミナー 廿日市立津田小学校 担当：宮島口 LC 教員 11 名 ライオンズ 9 名
- ・ 8 月 2 2 日 体験セミナー 廿日市立大野中学校 担当：宮島口 LC 教員 19 名 ライオンズ 13 名
- ・ 7 月 2 5 日・7 月 2 6 日（基本編+実践編）福山市内私立校(小・中学校・高校)対象 1 5 名
1 R1Z（福山地区）幹事校 英数学館
- ・ 7 月 2 6 日（基本編）校内型 WS 開催 広島市立亀崎小学校対象 3 R3Z（可部地区）
- ・ 9 月 2 8 日（広島市）9 月 2 9 日（福山市）メンバー対象の WS 開催

2. 薬物乱用防止認定講師要塞講座開催について

336-A 地区 9 月 2 8 日 6 R・7 R 開催 高知市にて開催

336-C 地区 9 月 1 4 日 広島西部、9 月 1 5 日 福山にて開催

※B 地区・D 地区でも開催予定

3. 平和ポスターについて

2024-2025 平和ポスターコンテストのテーマ「限りない平和」

2024 年 11 月 20 日（水）迄に 複合事務局宛に各地区より 1 点をお送りいただく

12 月 2 日（月）13：30～複合事務局にて最終審査会を実施し、1 点を国際本部へ提出します。

※最優秀賞として国際協会へ提出された作品につきましては返却されません。

4. 委員会開催

第 1 回委員会 9 月 6 日（金）web で開催 ※議事録参照

「ライオンズクエスト普及活動について」青少年育成支援フォーラム馬淵事務局長より説明
準地区の委員長より活動方針について説明・複合の委員会より今後の活動について説明

5. ライオンズクエスト交付金の重要な変更点についてのお知らせ

LCIF グローバル交付金課より、連絡がありました。

2025 年 1 月に開催の LCIF 理事会で審議される申請書から適用されます。

- (2024 年 10 月 1 日締切の申請書から対象)
- ① 予算に関する変更 ②新たな現地マッチング資金要件
- ② 新規申請書提出前に実施中の交付金事業を終了させる要件

【MD336】第1回委員会議事録（2024/09/06 開催） P76～78

報告事項 11

未来ビジョン委員会委員長

池原 堅

各地区若手会員選出について

2024-2025 年度 第1回ガバナー協議会で報告事項として未来ビジョン委員会のスケジュール表を提出しましたが複合地区行事が立て込み、第一回未来ビジョン委員会開催が延期され2回目以降のスケジュールの調整が来ていません。

第2回目の会議開催日を 11 月 7 日(木)13:30～15:45 としたい。※Web 形式

今後、各地区より5名程度の若手会員(男女 30 代～50 代)を人選していただき、次世代リーダー育成に向けた取り組みを行いたくご推薦をお願いしたい。

可能な限り 12 月 10 日（火）までに MD336 複合地区事務局宛でご提出ください。

追伸:第1回未来ビジョン委員会で皆様方より取り組むべきご意見を参考に再度、精査し提案資料を提出いたします。

2024-2025 年度未来ビジョン委員会取り組み事項 P79～80

報告事項 12

YCE・国際関係・レオ委員会委員長

小銭 和明

2024-2025 年度台湾生受入について

受入期間：2025 年 1 月 8 日（水）～1 月 25 日（土）

※10/1 に複合事務局より 2024-2025 冬期 YCE 実施のご案内済

台湾 300A1～300A5 地区より男女各 4 名 合計 8 名を MD336 4 地区内へ各 2 名を受入する事を MD336YCE 委員会にて決定した。

※1 月 8 日の関西国際空港への到着時間、1 月 25 日の関西国際空港からの帰国時間は未定。

1 月 15 日（水）～17 日（金）の 2 泊 3 日で岡山県新見市千屋のいぶきの里にてキャンプ。スキーを中心としたアクティビティを行い、来日生との交流を深める方向で詳細を検討中。

台湾より来日生アプリケーションフォームが届き次第、各準地区へ案内し、具体的に受入家庭との調整を依頼予定である。

※10/15 現在フライトスケジュールとアプリケーションフォームは未着。

各地区にてホストクラブ、ホストファミリーが確定となれましたら、ホストファミリー名簿とホストファミリーフォームをご記入いただき、**11 月 29 日（金）迄**にホストファミリーの写真データと共に複合事務局へお送りください。

その他事業実施に係る詳細事項は、事業の安全性と経済合理性を最大限に考慮しながら今後委員会にて決定する予定である。

【2024-2025 冬期台湾来日生】

Host District		ID NO	Name	M/F	age
336	A	RCJ-1	Chiang Yen-Hsuan	F	19
336	D	RCJ-2	Huang Yi-Ching	F	18
336	B	RCJ-3	CHENG KUAN-LUN	M	21
336	B	RCJ-4	Kuo Mei-Ling	F	20
336	C	RCJ-5	Huang Chih-Yi	M	21
336	C	RCJ-6	LIN YU-TING	F	21
336	A	RCJ-7	YU MIN-YEN	M	21
336	D	RCJ-8	CHEN YU-TING	M	19

10月10日(木)開催

MD336 2024-2025 冬期 YCE のご案内.....	P81
【MD336】第1回委員会議事録(2024/08/02 開催)	P82
【一社日 L】第1回委員会議事録(2024/08/28 開催)	P83～86

報告事項 13

環境保全・保健福祉・献血・献眼・視聴覚委員会委員長

占部 智之

中四国ブロック血液センター意見交換会

9月3日～4日、藤井議長以下16名で中四国ブロック血液センター職員の方々との意見交換会に出席し、初日は献血・輸血についての必要知識、血液製剤が出来るまでを聴講し、ライオンズクラブの活動実績と今後の課題、事例発表(松山南 LC・浜田 LC)、赤十字血液センター設備見学の後、情報交換会 二日目はライオンズクラブと血液センターの連携についての講義を受け、グループディスカッションおよび発表をし、ライオンズクラブ献血推進基本方針の通り献血協力者の確保、若年層への啓発活動、ラブラッドアプリによる事前予約を推進し献血時待機時間を抑制してより多くの血液を確保する。血液センターは各地区へ協力をお願いするとともに出前講座を開催し献血事業への理解を深めるといった、両者の役割と今後の課題を確認しました。

献血バスだけでなく、献血ルームを使った献血アクティビティで成果を出している地区(クラブ)もあり、MD336 で共有すべく発信します。各地区ガバナーの皆様からもストーリーテリングをお願いいたします。

【MD336】第1回委員会議事録(2024/09/03 開催)	P87～88
2024-2025 年度献血推進基本方針.....	P89
献血実績(令和6年7～8月)	P90

報告事項 14

IT・M・L 情報委員会委員長 / 一社)日 L ライオン誌日本語版委員会委員

佐々木 孝之

1. 第1回 IT・M・ライオンズ情報委員会

日時：2024年9月26日(木) 13:30～15:30

形式：WEB

議題：

- ①Lion Portal 各地区の取り組みについて報告・提案
- ②ライオン誌日本語版ウェブマガジン各地区の取り組み報告・提案
- ③ライオン誌日本語版編集委員会からの報告
- ④質疑応答

2. ライオン誌日本語版委員会報告

第1回

日時：2024年8月8日(木) 14:00～16:00

形式：WEB

議案：

- ①公式版ライオン誌
- ②ライオン誌日本語版編集の選任(MD337 大分 LC 淵野二三世)
- ③ライオン誌日本語版の運営
- ④ウェブマガジン編集関係
- ⑤印刷版編集関係
- ⑥その他

第2回

日時：2024年9月6日(金) 14:00～16:00

形式：WEB

議案：

- ①ライオン誌日本語版の運営
- ②ウェブマガジン編集関係
- ③刷版編集関係
- ④その他

第3回
日時：2024 年 10 月 7 日（月）14：00～16：00
形式：WEB
議案：①ライオン誌日本語版の運営
②ウェブマガジン編集関係
③刷版編集関係
④その他

Lion Portal へようこそ！ P91
ライオン誌 SNS 登録者の推移と利用状況 P92
【一社日 L】第 1 回報告書（2024/08/08 開催） P93～95
【一社日 L】第 2 回報告書（2024/09/06 開催） P96-98
【一社日 L】第 3 回報告書（2024/10/07 開催） P99～101
【MD336】第 1 回議事録（2024/09/26 開催） P102～103

報告事項 15

一社）日 L 国際理事候補者資格審査委員会委員	三口 巖
-------------------------	------

【一社日 L】第 1 回議事録（2024/08/2 開催）P104～105

報告事項 16

国際大会委員会委員長（一社日 L 国際大会委員会 MD336 担当委員）	市村 通夫
--------------------------------------	-------

OSEAL フォーラムパタヤ登録状況（10/11 現在）

	現地参加者数：76 名	336 のタベ：25 名	国際会長晩餐会：18 名
A	27	4	4
B	16	11	6
C	21	4	6
D	12	6	2

※会長晩餐会出席者登録料については 10/16 に各地区宛で地区別納入額を連絡、

11/1（金）15：00 迄に複合地区口座への送金を依頼済み。

複合事務局より 11 月中旬頃迄に社団へ送金を行う。

[現地参加者の登録内訳]

近畿日本ツーリストオフィシャルコース	19 名
近畿日本ツーリスト準オフィシャルコース ※一部を近畿日本ツーリストへ依頼	3 名
自己手配	54 名

OSEAL フォーラムパタヤ 336 のタベについて（10/16 近畿日本ツーリストからの通達）

これまでの人数をもとに当初 50 名～80 名程度での会場を探しています。
想定人数より少なく、現在 20～30 名様の規模のところを探しております。
詳細情報につきましては、まとまり次第改めてご提案させていただきますので、もう暫くお待ちください。

2025 年国際大会の開催地変更について

メキシコシティ ⇒ フロリダ州・オーランドへ変更 ※10/4 国際協会より通達
開催日程：2025 年 7 月 13 日～17 日

【一社日 L】第 1 回議事録（2024/08/23 開催）P106～109
【一社日 L】第 2 回議事録（2024/09/10 開催）P110～113
【一社日 L】第 3 回議事録（2024/09/30 開催）P114～116

その他報告事項

(2024-25) 一般社団法人日本ライオンズ 第1回社員総会(全国ガバナー会) 議事要録

2024年8月1日(木) 13:30-16:00

ウインクあいち 901 会議室

出席者リスト

<正社員> 2024-25 年度

337-E 地区ガバナー 吉 井 本 【欠席】※

330-A 地区ガバナー

(2024-2025 年度)

330-B 地区ガバナー 倉 田 雅 史

一般社団法人日本ライオンズ前理事長

330-C 地区ガバナー 猪野塚 弘 樹

田 名 部 智 之

331-A 地区ガバナー 美 田 法 賢

公益財団法人日本ライオンズ理事長 小 野 寺 眞 悟

331-B 地区ガバナー 伊 東 隆 志 【欠席】※

331-C 地区ガバナー 齋 藤 尚 仁

(2024-25 年度 協議会議長)

332-A 地区ガバナー 吉 澤 俊 寿

MD330 議長 伊 賀 保 夫

332-B 地区ガバナー 平 野 嘉 男 【欠席】※

MD331 議長 諏 訪 昇 三

332-C 地区ガバナー 佐 藤 久 一 郎

MD332 議長 渡 邊 俊 弥

332-D 地区ガバナー 車 田 信 彦

MD333 議長 佐 藤 裕 幸

332-E 地区ガバナー 安 孫 子 英 彦

MD334 議長 喜 多 友 一

332-F 地区ガバナー 長 澤 源 一

MD335 議長 廣 田 晃 一

333-A 地区ガバナー 高 頭 八 郎

MD336 議長 藤 井 信 英

333-B 地区ガバナー 福 田 智 恵 【欠席】※

MD337 議長 濱 田 浩 平

333-C 地区ガバナー 大 瀧 勝 明

333-D 地区ガバナー 染 谷 文 雄 【欠席】※

(2023-24 年度 協議会議長)

333-E 地区ガバナー 椎 名 健 二

MD330 議長 田 中 雄 一

334-A 地区ガバナー 柴 田 高 志

MD331 議長 松 浦 淳 一

334-B 地区ガバナー 丹 羽 浩 康

MD332 議長 栗 村 安 弘

334-C 地区ガバナー 鷹 嶋 邦 彦

MD333 議長 星 野 勝 美

334-D 地区ガバナー 杉 木 徹

MD334 議長 戸 祭 宏 樹

334-E 地区ガバナー 浜 一 平

MD335 議長 中 谷 豊 重

335-A 地区ガバナー 永 田 雅 章

MD336 議長 澤 辰 水

335-B 地区ガバナー 古 川 繁 浩

MD337 議長 新 里 正 雄

335-C 地区ガバナー 野 々 山 宏

335-D 地区ガバナー 今 市 明 弘

(2024-25 年度監事) 2 年任期の 1 年目

336-A 地区ガバナー 石 井 淑 雄

MD332 元議長 下 間 俊 悦 【欠席】※

336-B 地区ガバナー 上 原 正 樹

MD333 元議長 石 橋 貞

336-C 地区ガバナー 鳴 戸 大 二

MD335 元議長 小 林 聰

336-D 地区ガバナー 神 田 義 満

MD337 元議長 乗 田 泰

337-A 地区ガバナー 矢 野 進

337-B 地区ガバナー 武 永 健 治 郎

※議決権行使書

337-C 地区ガバナー 為 永 一 夫 【欠席】※

正社員総数 56 名 (出席 48 名・欠席 8 名)

337-D 地区ガバナー 宇 都 要 一 【欠席】※

【正社員】 第1回社員総会（全国ガバナー会）出席者数 内訳：

	出席	欠席※	小計
D G	27	7	34
理事	18	0	18
監事	3	1	4
	48	8	56（名）

※議決権行使書受領済み

議決権行使書

第1号議案	2023-24 年度	計算書類承認の件	賛 8	否 0
第2号議案	2023-24 年度	事業報告承認の件	賛 8	否 0
第3号議案	2024-25 年度	新社員承認の件	賛 8	否 0
第4号議案	2024-25 年度	新理事・新監事選出の件	賛 8	否 0

オブザーバー

【名誉理事長】

2015-2016 国際会長／2024-25LCIF 理事
山 田 實 紘

【国際理事および LCIF 理事】

2023-25 国際理事 城 阪 勝 喜
2023-25 国際理事 濱 野 雅 司
2024-25 LCIF 理事 鶴 嶋 浩 二 【欠席】

【公益財団法人日本ライオンズ】

2023-24 理事長 不 老 安 正

【一般社団法人日本ライオンズ】

2022-23 理事長 村 木 秀 之 【欠席】

【2022-23 協議会議長】

MD330 議長 吉 本 晴 夫 【欠席】
MD331 議長 須 藤 敏 幸
MD333 議長 松 本 宰 史
MD334 議長 増 澤 義 治 (事務長)
MD335 議長 吉 村 弘 吉 【欠席】
MD336 議長 池 原 堅
MD337 議長 玉 川 孝 【欠席】

【2022-24 監事】

MD330 元議長 今 井 文 彦 【欠席】
MD331 元議長 佐 々 木 忠 康 【欠席】
MD334 元議長 橋 本 勝 策
MD336 元議長 岡 村 聖 爾

【顧問】

法律顧問 池 田 和 司
会計顧問 吉 田 宗 一 郎 【欠席】

23-24 事務局補佐 菅 原 孝 明 (332-A 地区 八戸 LC)
24-25 事務局補佐 南 部 谷 靖 (331-A 地区 岩見沢はまなす LC)
24-25 事務局補佐 成 田 祐 樹 (331-A 地区 岩見沢はまなす LC)

以上

第 I 部：社員総会

司会：増澤専務理事

・定足数の確認

正社員総数 56 名のうち本人出席 48 名、委任状による出席が 8 名のためにより、定款第 17 条「社員総会は、総正社員の過半数出席により開催成立。」また定款第 18 条により、「決議は出席した総正社員の過半数をもって決する。」により正社員の過半数が出席のため、総会が成立することの確認。

・議長の指名

定款第 16 条「社員総会の議長は、理事長がこれに当たる。」により、田名部理事長が議長を務めることの確認。

続いて田名部理事長議長（田名部理事長）による開会宣言と、来場来賓者の紹介が行われた。

進行：議長（田名部理事長）

・配信について

第 1 副地区ガバナー、第 2 副地区ガバナーに向けストリーミング配信が行われていることを紹介。

・議事録署名人選出、議事録作成人選出

議事録署名人には立候補により、330-C 地区猪野塚ガバナー・334-D 地区杉木ガバナーとした。

議事録作成人には星野理事、戸祭理事が指名された。菅原事務局補佐、南部谷・成田両事務局補佐予定者を指名。

【審議事項】

・第 1 号議案 2023-24 年度 計算書類承認の件

須藤財務担当理事から 2023-2024 年度の財務報告が行われ、消費財産計算書や収支計算書についての詳細な説明があった。決をとる前に第 2 号議案の説明を行った。

・第 2 号議案 2023-24 年度 事業報告承認の件

議長より資料をもとに会議開催実績を報告。第 1 号議案と合わせて質問・意見は無し。

続いて橋本監事から監査報告が行われ、法令および定款に従い正しく処理されていると説明された。また改善報告書の通り田名部理事長が諸問題を解決のために尽力した結果、情報不足やコミュニケーション不足などが改善・解決し、まだ道半ばの所もあるので今後の改善を期待す

ると述べた。

第1号議案、第2号議案に関して議場に諮り、満場一致で原案通り承認された。

・第3号議案 2024-25年度 新社員承認の件

議長より名簿が発表された。前年度第4回社員総会時に未定だった内の3名について発表された。

第3号議案に関して議場に諮り、満場一致で原案通り承認された。

・第4号議案 2024-25年度 新理事・新監事選出の件

議長より名簿が発表された。前年度第4回社員総会時の未定者も追加された。

第4号議案に関して議場に諮り、満場一致で原案通り承認された。

【報告事項】

・公益財団法人日本ライオンズの不老前理事長より 2023-24 事業の報告

「全国特別支援学校のフットサル大会」には111校が参加、MD330からMD337までを10区画に分け、それぞれの代表校が福岡（会場：アクション福岡）に集まり全国大会を開催した。素晴らしい才能であった。

「寺子屋事業」については、児童養護施設が全国612か所あるうち、MD330からMD337まで合計17か所の施設において教育活動を展開。活動には多額の費用がかかるが、皆さんの寄付によって成り立つので協力いただきたい。

また公益になった際、災害支援にどうしても取り組みたいと思っていたが、やっと今月内閣府から認可が下りることが決まった。

財団は資金があって事業が継続できる、皆様のご理解を切に願うと伝えた。

>これより社員総会を一時休止し、第1回の理事会を開催。理事会終了後に総会再開

>総会再開後より新理事長が議長となる

司会：中谷専務理事

・新理事長挨拶及び役員紹介

2024-25年度松浦新理事長より挨拶。新しいクラブの設立や活動についての思い出や決意を述べた。

新年度の役員の紹介が行われ、各役員の担当と役割が説明された。

・2024-25 事業計画・収支予算案の報告

今年度の事業計画案と予算案が報告され、各委員会の活動予定と予算の詳細が説明された。
6月20日の第4回社員総会が6月25日に変更となることが報告された。

・田名部前理事長より挨拶

皆さんの支援に感謝し理事長の職を無事に終えられたことを報告。
作成の「2023-2024 年度の改善報告書」、「ライオン誌委員会のまとめ」文書について説明。
長年解決できなかった問題をようやく解決し、終了とした。これら終了した案件は再度繰り返すことがないように。面倒でも文書はしっかりと熟読いただき、次の改革に移行していただきたい。ガバナーの皆さんは議長としっかりコミュニケーションを取り、改善への提案は理事会で諮られるように伝え、また地区内にも落とし込んでいただき、より良い方向に発展するように取り組んでいただきたい。新理事長率いる新体制を皆さんには押し上げてもらい、自身は今後サポート役に回る事を表明し、新理事長と共に活動を続ける意思を示した。

・その他報告

増澤事務局長よりダイナースクラブカードについて説明。

カード券面デザインがリニューアルされライオンマークは入らなくなった。また国際協会からはカード決済が推奨されているため、登録や物品購入等にはカード決済を各地区にお願いしたい。ダイナースカードであれば、各クラブ内のカードがクラブの会長名で作成可能となる。会長が変更になると、都度書き換えが必要にはなるが、ポイントは継続できるよう約束を取っている。詳細はまた理事会でも報告するが、カード作成に伴い、保証人は一般社団法人日本ライオンズ、相談やダイナースと直接話したいという場合には事務局まで連絡を。
また各地区クラブでカードを作って使っていただくと地区にキックバックが入り有効に使っていただけるので、それも検討材料としていただきたい。

第Ⅱ部 報告会

1. 国際理事会報告

○山田名誉理事長・元国際会長

14年ほど国際協会に関わってきたことにより国際本部の動き方をすべて熟知しているが、その反面、日本のライオンズがどうなったかが非常に不安。

各国回って見た経験から、世界には優劣様々なライオンズがあるが、非常に優れたライオンズを持つ国の共通点は、国際会長を輩出し、国際会長が任務を終え自国に帰った後、ライオンズを立て直し教育しアップデートしていることである。ところが私の場合には、執行役員を終えても本部の仕事を継続していたため、日本の事を見ている時間がなかった。

本来ならばすぐ日本に帰ってきて日本のことをしっかり見ていれば、社団も財団もすでにでき

あがり整っていただろうが、ようやく今になり、しっかり始動し始めてきたと思う。

そして社員総会が一番のメインの場であり、皆さんは一致団結して運営していかなければならないと思う。

また、コンプライアンスの問題では注視していなかった間に、色々なことが起こっている。

ガバナーや役員は国際協会の各誓約書にサインをするが、日本の中ではある一部の人達が SNS に誹謗中傷を流す。何も知らない人達は疑いの目をもつ訳で、そういったことが無いようにコンプライアンスをしっかり守るためサインをしており、それが一致団結に結び付く。

日本のライオンズは本部から非常に信頼されているが、うまくない英語で書いた投書が直接本部に送られてくる状況に、日本の質が低下しているのではないかと疑心がうまれている。

これは日本のライオンズそのものが傷つけられているということになる。そういった点も皆さん方にはしっかり意識をもって1年間頑張っていたいただきたい。

そしてミッション 1.5 だが、日本の力というものが期待されているが、去年はマイナスの増加率である。昨日、一昨日の2日間、皆さんは大変な思いをして勉強し研修会を終えたと思う。

今の世の中、経済状態も、また津々浦々日本でライオンズが伸びてきている中でも、新しいクラブを作るのは大変だと思う。最後の砦としては、ファミリーメンバーの登録があると伝えている。国際リーダー、AP シンも日本の家族会員を増やすよう強く進めている。日本では家族会員が増えることで会員増加を達成できる可能性が広がる。ライオンズクラブは男性社会だと言う人もいるが、日進月歩ライオンズは成長し、その時代に合わせ変化をしてきたからこそ、100年間存続している。もし過去と比べ否定する先輩方がいた場合には、今は違うということを説明していただければミッション 1.5 は達成できるだろう。

AP シンは12月にまた日本に来たいと言っている。本部は日本に期待しているのだということをそれぞれ自負して活動していただきたい。

○濱野国際理事

・メルボルン国際大会について

日本ライオンズから配信された報告書の内容を見ていただき、地区、メンバーの方々に共有していただきたい。

日本の参加者数は世界で2番目に多く、来年のメキシコ大会も引き続き多くのメンバーが参加し、国際組織だということを実感してほしい。

・公式通達（2024年国際大会（オーストラリア・メルボルン））について補足

第1項「第二副地区ガバナーの選出」には新たな立候補資格として、「地区の GLT、GMT、GST、GET、LCIF コーディネーター経験があること」が加わった。これは地区ガバナーへのすそ野を広げるという意味がある。地区の人材育成を考え、有望な方を選出し将来地区を背負っていくガバナーになっていただきたい。

第2項「地区再編成」は手続きについての問題であるが、一部で暫定地区、移行地区の1,250人の数字が1,000人に変わったと理解している人がいるので、誤解なきようお願いします。

・国際理事との情報交換について

城阪国際理事と私の「国際理事だより」が、『ライオン誌日本語版ウェブマガジン』に掲載され

ていることはご存知でしょうか。なかなか国際理事が皆さんにお話する機会がないことは残念に思う。今日は皆さんにお会いできてうれしく思っているが、ライオンズのメンバーの皆さんの情報を国際協会に届けること、国際協会の情報を皆さんに届けることは国際理事の役割の一つである。

私は“奉仕事業委員会”に所属しているが、世界で色々な奉仕活動をしている中、「日本はどのような？ YCE は？」と聞かれることがある。皆さんとの接点が少ないと知らないことも沢山あるため、今後は国際協会との情報交換を活発に行うためにも、コミュニケーションをとる機会をぜひ増やしていきたいと考える。

・国際理事会報告（メルボルン）報告

1. 来年のメキシコ大会にかかる議案として、国際理事は世界で 35 人。その割り振りはだいたい会則地域のメンバー数によるが、議案が決議されれば、アメリカを含む第一会則地域からの理事は 3 名減り、南アメリカ、中央アメリカ等の地域の第 3 会則地域に 1 名増員、インド等の第 6 会則地域に 2 名が増員となる。国際理事の人数の構成を変更しようとする議案。
2. 地区及びクラブ・サービス委員会では、クラブ優秀賞（アワード）があり、昨年の実績を国際協会に報告しアワード申請できるもの。来年は、5 つ星優秀賞が新設予定。
3. ミッション 1.5
地区ガバナーの研修が義務付けられた。今回の研修で国際役員として尽力すると国際会長に誓ったかと思うが、第一副地区ガバナー、第二副地区ガバナーはミッション 1.5 が継続する間、従うように願います。
4. 2024-25 年度、2025-26 年度の第二副地区ガバナーの研修方法が変わった。1 年間。研修を受けるようになるので、皆さんには理解を示していただきたい。
5. 地区目標に、8 つの奉仕の重点分野から 2 つの奉仕分野を選択するように義務付けられ、来年は更に 2 つ、SDGs からも追加してほしいとの案が出ている。
6. 複合地区の GET コーディネーター
来期から任命が義務付けられる。

国際理事会は年 4 回あり、理事会方針書が変わったり、皆さんに伝えなければならないことがあったり、総会の際に限らず皆さんとコミュニケーションを取りながら情報交換を進めていきたいと考える。

○城阪国際理事

・日本ライオンズについて

昨年、田名部理事長の尽力の結果、各関係者 8 名合意の確認書も添えられ、長年抱えていたライオン誌問題が解決された。ライオン誌の問題点を集約した文書が日本ライオンズに 1 冊あるので、専務理事に事前確認のもと希望すれば、会員の皆さんは目を通すことが可能、提示したい。

・「ライオンズ必携」（第 61 版 P20）文章について

濱野国際理事とともにこれは今期、解決すべきと考える一文、

「各複合地区は独立した権限と責任を持ち、それぞれの複合地区会則に基づいて運営され、この上にいくつかの複合地区を統括するような組織を作ることはできない。」の箇所。

理事会方針書を調べても、このような文章は掲載されておらず、文章についての正誤および整理の必要性を感じている。

そのため、10月開催のブラジル国際理事会で事務総長、本部長、担当責任者と十分に話し合い確認し、適切な記載でないと判断が出た場合には、勇気をもって変更・削除はあり得ると考える。活字の一人歩きが無いように、後輩のためにも正しいライオンズの運営を進めていきたい。

またガバナーの皆さんには素晴らしいライオンズの運営をしていただくために、我々国際理事がご支援できるところはなんでも言っていたきたい、それを国際協会にもっていくことが国際理事の役割である。

最後に昨年の理事長はじめ理事に活動の謝意と今期理事・松浦理事長、メンバー全員へ激励を送り報告を終えた。

■332-F 地区 長澤 DG より質問

濱野国際理事の報告にあった地区再編成についての具体的な説明をお願いした。

→「暫定地区、移行地区へのボーダーラインの1,250名という数字は変わらない。

(理事会方針書 第9章地区役員及び組織、F.暫定地区及びG.移行地区 参照)」

→具体的に話すと、332-F地区は現在1,250名を切っているが、もしどこかの地区と合併しよう、地区再編成で一つの地区になろうとした際の手続きは、昨年までの国際会則では、1,250人の会員を有する地区とその複合地区の年次大会での過半数の賛成で地区再編成案を承認し、国際理事会に提出する、ということだった。その人数が変更されて、1,250人ではなく、1,000人以上の地区であれば、まず地区年次大会で合併の承認手続きを行い、そしてその複合地区の過半数の承認を得られれば国際協会に申請ができる。つまり、F地区（現在1,250人を切っている思う）が合併をする場合でも地区年次大会と332複合地区年次大会の過半数の賛成で地区再編成案を承認し、国際理事会に提出することができる、ということです。もし1,000人を切ってしまった場合は、過去2年間で純増率が1%無ければ、その申請が地区ではできない。1,000人という数字はこれを意味し、国際会則付則第8条3項を良く読んでいただき、不明点があればまた聞いてほしい。

また、準地区で1,250人を切った場合には、準地区として存続はできるが、いくつかの制限があるということは変わらない、と回答した。

2. 公益財団法人日本ライオンズ報告

○小野寺新理事長

1. LCIF 国際財団と提携パートナーシップを結ぶことができた。

交付金の申請ができるようになり大きな支えとなる。日本のライオンズは5番目の仲間入り。

2. クラブシェアリングの承認がおりた。

クラブの皆さん、ガバナーの皆さんの理解と協力が無ければ行えない、財団役員の理事は各地区にいますので、呼んでいただければ財団の事業について説明に伺う。ぜひ理解していただきたい。

3. フットサル第3回地区大会開催日

7月から9月までに地区大会が開催され、331、334、335の3か所は終了。

今年度の参加は122校、人数にして1,220人。11月2日に地区優勝者の12チームが名古屋に集まり全国大会を行う。時間がある方はぜひ応援に来ていただければ理解が深まるかと思う。

4. 財団に関して質問があればいつでも呼んでいただきたい。どんな質問に対しても説明に伺う。

国の財産である子供たちの笑顔を見るために、ハンデを持っていても一社会人になってもらうことが一番の目的で行っていることを理解していただきたい。

閉会の挨拶

松浦副理事長より来賓参加者への謝意と8複合35地区一丸となつての1年間の活動と呼びかけ閉会の挨拶とした。

以上

議事録作成人：

理事	星野 勝美
理事	戸祭 弘樹
23-24 事務局補佐	菅原 孝明
24-25 事務局補佐	南部谷 靖
24-25 事務局補佐	成田 祐樹

議事録署名人：

一般社団法人日本ライオンズ理事長	松浦 淳一 【押印省略】
330-C 地区ガバナー	猪野塚 弘樹 【押印省略】
334-D 地区ガバナー	杉木 徹 【押印省略】

(2024-2025 年度)

一般社団法人日本ライオンズ 第1回理事会 議事要録

開催日時：2024 年 8 月 30 日(金)14：00-17：00

場 所：第 62 回 OSEAL フォーラム実行委員会事務所（札幌）

出席者リスト

理事長	松浦 淳一（岩見沢はまなす）【WEB】
専務理事	中谷 豊重（岸和田）【WEB】
副理事長	澤 辰水（下関）【WEB】
副理事長	喜多 友一（上田城南）
常務理事	伊賀 保夫（東京ピース）
常務理事	諏訪 昇三（札幌時計台）
常務理事	渡邊 俊弥（仙台五城）
常務理事	佐藤 裕幸（柏崎日本海）
常務理事	廣田 晃一（姫路中央）【WEB】
常務理事	藤井 信英（岡山みらい）【WEB】
常務理事	濱田 浩平（長崎南）【WEB】
理事	田中 雄一（挟山）【WEB】
理事	栗村 安弘（大船渡）
理事	星野 勝美（太田）
理事	戸祭 宏樹（鯖江王山）【WEB】
理事	新里 正雄（沖縄）【WEB】
監事/MD332 元議長	下間 俊悦（男鹿）【WEB】
監事/MD333 元議長	石橋 貞（足利西）【WEB】
監事/MD335 元議長	小林 聰（姫路広陵）【WEB】
監事/MD337 元議長	乗田 泰（伊万里）【WEB】
公益財団法人日本ライオンズ理事長	小野寺 眞悟（札幌北の杜）
日本ライオンズ前理事長	田名部 智之（八戸）

LCIF 理事/元国際理事/第 62 回 OSEAL フォーラム委員長

法律顧問	鶴嶋 浩二（札幌中島）
会計顧問	池田 和司（東京桜門）【欠席】
日本ライオンズ事務局長	吉田 宗一郎（東京武蔵野）【WEB】
理事長事務局補佐	増澤 義治（諏訪湖）
理事長事務局補佐	南部谷 靖（岩見沢はまなす）
理事長事務局補佐	成田 祐樹（岩見沢はまなす）

1.開会の挨拶・議事録作成人の指名

WEB 参加となった松浦理事長より開会の挨拶。

参加者ご挨拶として鶴嶋 LCIF 理事/元国際理事/第 62 回 OSEAL フォーラム委員長、
小野寺公益財団法人日本ライオンズ理事長、
田名部一般社団法人日本ライオンズ前理事長よりご挨拶をいただく。

2.議事録作成人の指名

議事録作成人として伊賀常務理事と田中理事を指名。

3.第 1 回執行理事会からの審議事項

①パティ・ヒル LCIF 理事長公式セミナー（9/24）について

中谷専務理事より説明。9/24 の公式訪問及び歓迎の晩餐会が開催される。出席人数 250 名の割当て案及び登録料 15,000 円について確認。食事アレルギーのある方は調査用紙を提出していただく。24 日午前 10 時より行われる LCIF 理事長と日本ライオンズリーダーの会議に対象者である理事長、副理事長、専務理事、常務理事の参加の確認。終了後の昼食もあるので予定を入れる事。

②ファブリシオ・オリベイラ国際会長公式訪問 各 MD 協力金の件

中谷専務理事、廣田常務理事より。

・各 MD 協力金の再確認

円安や物価高騰に伴い公式訪問にかかる経費が増加しているため、各 MD の協力金を 50 万円に引き上げる案が第 1 回執行理事会で提出され賛同されたが、これに伴う各 MD 内での予算調整や資金確保が今後必要であるとされた。

・公式訪問及び晩餐会各 MD 出席者数割り当て

MD335 以外の各地区から 10 名の計 310 名、MD335 で 200 名の合計 510 名にて決定。

・登録料の件

15,000 円では会場費等非常に厳しいため 8/6 執行理事会案の 20,000 円で賛同を得てい

るものとし進める事とした。

・行程表について

11/25 の到着日についてはどの空港に来られるのかが現時点では不明の為、予定は組み切れてはいないが万全な体制で臨む。28日は府知事等にご挨拶後に万博会場の視察を仮案としている。現時点での行程表を元にスケジュールを組んでいくことで承認。

また、11月26日には国際会長と国際理事・議長との懇談会を、27日には国際会長と地区ガバナーとの懇談会を行う予定である。

③第 61 回 OSEAL フォーラム（パタヤ）最新情報の共有

戸祭理事より説明

・第 61 回 O S E A L フォーラム早期登録のべ切が日本において 9 月 30 日まで延長された。登録目標数は諏訪常務理事より MD331 はすでに 250 名で話が進んでいるので修正とし、目標人数は 1800 名となった。

・議長とガバナーは毎朝ミーティングがあるため、本部ホテルへ宿泊した方が交通の便が良いので早急に日本ライオンズで取りまとめている宿泊の希望を出すように。国際会長晩餐会の割り当ても資料の通りで目標 300 名とし、VIP を除く役職者も登録者人数に含む。議長とガバナーは白タキシードを着用とする。

・開会式は全員アロハ着用。スーツは禁止になっている。男性は長ズボンを着用、靴はかかとの隠れるものの着用。

アロハシャツについては前回の国際大会委員会で 334-E 地区より提案のあったアロハを日本として全員で開会式・JP レセプションで着用しようという形になったため、オールジャパンとして統一して開会式に臨みたい。フォーラムの最後までご参加を頂くようお願いしたい。

・田名部前理事長より、OSEAL フォーラムでの決議委員会の参加について、日本代表が例年、社団理事長となっており激務であるため松浦理事長のサポートが必要と考える。松浦理事長の状況を確認しながらサポートには専務理事等がつく、出席が難しい場合は副理事長が出席などの対応も検討する。決議委員会は各国の思惑があるため、日本としての立場を明確にすることが重要であり、日本の意見をしっかりと主張する必要があると強調された。

・鶴嶋元国際理事より、2026 年アトランタ国際大会が FIFA ワールドカップの影響で香港開催に変更になった影響で、2026 年の OSEAL フォーラム開催地を香港からマレーシアのペナンへ変更することが、第 61 回 OSEAL フォーラムでの議案となる。すでにメールでも配信され理事会でも共有されている事項であるが、中国や台湾をはじめ各国の立場を考えると、かなりの議論となることが予想される。ある程度日本の方向性を決めておくべきであると意見。

また公認 TC の話が出たが、公認 TC は O S E A L フォーラムではなく国際大会参加のた

めの国際協会の制度であるため、間違いのないようにと発言あり。

④【重要】国際本部への年次報告について

マーズ事務局長メールの内容通り、法人格を持つ地区等については必ず法務部への年次報告をお願いします。

註：重要事項のため資料を添付いたします。内容についてご確認をお願いいたします。

⑤【重要】第2回社員総会開催について（12月12日）

- ・330-A 地区ガバナー入社承認の件

空席であった 330-A 地区ガバナーが正式に確定した。正社員となる場合、社員総会での入社承認が必要となるため、第2回社員総会の際に審議事項とし、承認を得られれば追加登記をする。

- ・AP シン国際第1副会長ご来日の件

社員総会に合わせ来日され、2時間程度地区ガバナーとの対話の機会を作りたいと打診があり、当日の時間配分について検討。

⑥LCIからの情報共有

- ・第一副地区ガバナー（DGE）・第二副地区ガバナー研修プログラムについて

OSEAL 調整事務局よりすでに全国に案内が配信されている。各 MD で準地区に伝え日程調整をして参加するように呼びかけをお願いします。

⑦総務人事関係

8/9 第1回総務人事委員会の報告、増澤事務局長より説明。

- ・各種集合会議出席者旅費補助規程

飛行機の場合は28日前の予約料金を基準額に設定、緊急の会議の場合や、予約が遅れた場合に発生する費用は負担となる場合がある。新幹線利用については駅間の実費であるため新幹線と飛行機利用の公平性を保つため、基準を明確にする細かな調整、設定が必要との意見があり、再度、総務人事委員会をこの案件だけで開催し報告とする。

- ・退職金規定の一部見直し

試用期間中は勤続年数に含めるとされていることから、新規採用者が新規採用月から中退共に加入できるように修正することで承認。財政状況が厳しいなか、職員の拡充することはさらに厳しい財政状況となるため、会費の値上げの検討をする必要がある。値上げの必要性は一致しており、各 MD から情報いただき総務人事委員会で進める事とした。

- ・新規採用の報告

松本亜優さんが入社。経理業務希望ではないが、英語が使える即戦力となるため採用。

・請求書の発行業務

10月1日より郵便代が20円程値上がりがあり、2,500クラブの郵送の費用負担が大きいため、電子化をしてメールで送ることが出来るアプリを検討し、具体的にになり次第、理事会への報告とする。

⑧その他

・OSEAL 調整事務局からの名簿提出依頼について

一般社団法人の日本ライオンズの理事長、事務長、事務局などのメールアドレスなど連絡先の名簿送付依頼があった。

個人情報もあるため、事務局員の携帯番号などは教えるべきではないとの意見もあり事務局判断で回答をすることとした。事務局員は個人の携帯電話であることから、社団として事務局員用の携帯電話の貸与を検討することとした。

・メキシコ国際大会関連

マーズ事務局長からメールにてメキシコ国際大会について国際大会委員会と社団の理事と合わせて話をしたいとの事で増澤事務局長にて調整することとした。

・日本ライオンズの問い合わせ事項の共有

メール、郵便、電話などで日本ライオンズへ寄せられた、クレームなど含む問い合わせの一部を共有。

モラルの問題については各MDから発生しないように注意喚起をしていただきたい。

◇直近に開催された会議報告

・8/23 第1回アラート委員会

新里理事より報告。2025年3月14日に茨城で全国フォーラムを行うことに決まった。能登半島の支援報告等を受け、議事録を作成中。作成後配布予定となっている。

・8/28 第1回YCE委員会

田中理事より報告。前MD委員長と今期のMD委員長との新旧合わせて開催した。YCE事業夏季交換事業はまだ全て終わっていないわけではないので、報告は第2回の委員会で予定。冬の派遣・来日についても第2回までには人数等の報告があるので詳細を決める予定となっている。

◇公益財団法人日本ライオンズ活動報告

・公益財団法人日本ライオンズ小野寺理事長よりご報告。LCIFと提携パートナーとしてパートナーシップを結んだ。カーターセンター、スペシャルオリम्ピックス、テキサス・チルドレンズ・ホスピタル、国連薬物犯罪事務所に並ぶものである。

・第3回全国特別支援学校フットサル地区大会・全国大会の報告。参加校は122校となり、

生徒は一校 10 名として 1,220 名ほどとなった。特別支援学校は全国に約 1,100 校あり、大会の知名度は上がっている。知的障がいを持つ子どもが多く、学校で体育の授業がないため、スポーツを通じて体力をつける機会が限られており、大会を通じて体力や精神力を高め、チームワークの形成にも寄与しており、社会人としての生活にも役立つものである。

・寺子屋事業は児童養護施設が 600 か所ほどで 30,000 名くらい入っている。60%ほどは親に虐待を受けていた子供たちであり、小学生の子どもたちは特に学力が低下しがちのため、学習支援が重要視されている。今年度はトータルで 20 の施設に支援体制がとれるようになっており、来年度までには 40 施設まで拡大することを目標としている。そのための財源として一人 2,000 円の寄付を目標としている。活動は 5 年目に入るが、現在は 331-A と 337 で、不老前理事長と小野寺理事長でかなりの寄付をしている状況。体制づくりを議長のみなさんには協力をしていただきたい。

・災害支援を内閣府と連携して行う準備を進めており、9 月 5 日の財団の役員会の承認を得てスタートする。災害支援事業は第 3 の軸として位置付けている

・質疑

1) 2,000 円の寄付に関して使い道の説明を求められたことがあるとの質問に対し、財団としては寄付金の使い道について正確に説明し、回答を出していると述べ、寄付の透明性についての理解を深めてもらう努力をしていると強調。

2) 財団の取り組みについての理解が十分に浸透していないとの意見があり、財団の理事を推進し、理解を広める事の重要性、そのために各地区での説明や協力を求めている。また、各地で行われるフットサル大会にぜひお越しいただき子供たちの笑顔を見ていただきたい。

◇その他

松浦理事長より

1) 濱野国際理事より、国際理事会で元地区ガバナーの研修を行うように議決されたと連絡あり。実施時期は 9 月から 10 月に開催し、所用時間は 120 分で WEB にて行う。各議長に MD の現状を聞きながら元地区ガバナーの研修を行いたいのので、濱野国際理事より各議長に直接連絡がいくので、各地区の現状やニーズをお伝えし開催していただきたい。

2) 日本ライオンズに様々な問い合わせがある中で、各 MD の中でそれぞれの意見や考え方に違いがある。コンプライアンス委員会の試行的一年であるため、議長には会則委員会とともに、どういうレベルでそれぞれの地区を見ていくのか、日本ライオンズとしてどう見ていくのかを話をいただきながら真摯に向き合い、会則委員会の中で検討していきたい。

◇監事講評

- ・下間監事より いろいろな意見があり相互理解が必要であるが、穏やかな会議で良い。
- ・石橋監事より 交通の便などを考え東京での対面会議開催を検討してほしい。

- ・小林監事より 自分が議長だったころよりずいぶんスムーズな会議であったと思う。

◇今後の会議予定

- ・9/11 第2回執行理事会 WEB
- ・9/23 第2回理事会（ウイנקあいち）
- ・9/24 パティ・ヒル LCIF 理事長との懇談会・公式訪問・晩餐会
- ・10/31 第3回理事会（岡山第一セントラルビル）

※11/22 第4回理事会（東京）→ 11/25 大阪に変更

以上

2024年8月30日

議事録作成人：

常務理事	伊賀 保夫
理事	田中 雄一
事務局補佐	南部谷 靖
事務局補佐	成田 祐樹

議事録署名人：

理事長	松浦 淳一	【押印省略】
監事	下間 俊悦	【押印省略】
監事	石橋 貞	【押印省略】
監事	小林 聰	【押印省略】
監事	乗田 泰	【押印省略】

(2024-25 年度)

能登豪雨災害被災地支援対策本部会議 (WEB) 出席者リスト

◎日 時： 2024 年 10 月 4 日 (金) 16 : 00-18 : 00

◎場 所： ZOOM

◎出 席 者：

一般社団法人日本ライオンズ

2024-25 年度 理事長	松浦 淳一	(岩見沢はまなす LC)
2024-25 年度 専務理事	中谷 豊重	(岸和田 LC)
2024-25 年度 アラート委員会委員長	新里 正雄	(沖縄 LC)
2024-25 年度 アラート委員会副委員長	藤井 信英	(岡山みらい LC)

2024-25 年度 日本ライオンズ アラートチーム

アラートアドバイザー	池原 堅	(福山久松 LC)
全域統括リーダー	佐々木 健太	(大阪若獅子 LC)
東日本統括リーダー	木村 知紀	(青森 ZERO LC)
西日本統括リーダー	畑中 隆之	(岡山みらい LC)

2024-25 年度 アラート委員

MD334 委員	吉田 正義	(榛南 LC)
----------	-------	---------

オブザーバー

日本ライオンズ 事務長	増澤 義治	(諏訪湖 LC)
-------------	-------	----------

・議案次第：

- ① 能登豪雨災害 現状の確認と日本ライオンズとしての対策について
- ② その他

以上



2024 年 9 月 13 日

330～337 複合地区協議会議長 各位

一般社団法人日本ライオンズ
理事長 松浦淳一
ライオンズクラブ国際協会
335 複合地区ガバナー協議会議長
廣田晃一

ファブリシオ・オリヴェイラ国際会長公式訪問のご案内

拝啓、時下ますますご清祥にてライオニズムにご精進のこととお慶び申し上げます。

さて、ご高承のとおり、ファブリシオ・オリヴェイラ国際会長公式訪問のホストを 335 複合地区が務めさせていただくことになりました。ついては(一社)日本ライオンズ理事会にてご了承いただきましたとおり、下記の要領にて公式訪問および歓迎晩餐会を開催いたしますので、何卒ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

お手数ですが貴複合地区にて出席者と登録料をお取りまとめくださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

- ◎ 日時：2024 年 11 月 26 日（火）・27 日（水）【詳細別紙】
- ◎ 場所：リーガロイヤルホテル大阪 (<https://www.rihga.co.jp/osaka/access>)
530-0005 大阪市北区中之島 5-3-68 (TEL：06-6448-1121)
- ◎ 人数割当：1 準地区につき 10 名 (MD335 は MD 全体で 200 名)
 - ※ 現・元国際理事もこの人数に含めてください。
 - ※ 入会式を国際会長が執り行いますので、各準地区につきお一人、新会員の方にご参加をお願いいたします。
- ◎ 登録料：2 万円（公式訪問・歓迎晩餐会）／8 千円（懇談会）
- ◎ 協力金：1 複合地区 50 万円（登録料と合わせてお振込みください）
- ◎ LCIF 寄付：国際会長が来日記念のお土産の代わりとして LCIF への寄付をご希望のため、各地区より 1 万円のご寄付をご協力いただき、国際会長に贈呈いたします。登録料と合せてお振込みください。
- ◎ 登録料・協力金・LCIF 寄付を合わせて 10 月 18 日（金）までに下記へご送金ください。
三井住友銀行 堂島支店（普通）6667866
ライオンズクラブ国際協会 335 複合地区ガバナー協議会
会計 今市明弘（いまいち あきひろ）
 - ※ キャンセルにも返金は致しかねますが、代理でご出席いただいて結構です。
- ◎ 服装：ビジネス
 - ※ 現・元国際理事、現・元ガバナー協議会議長、現・前・元地区ガバナーはネームバッジをご着用ください。
 - ※ 着付けが必要な方はご自身でお手配ください。
- ◎ 宿泊：ご自身でお手配ください。



【行事詳細】

11/26 (火)	内 容	対 象	登録料	会 場
10:00-13:00	国際会長との 懇談会・昼食会	現・元国際理事 ガバナー協議会議長 GAT エリアリーダー LCIF エリアリーダー 他 (以下リスト参照)	¥8,000	2F ゴールデンルーム
14:00-17:00	国際会長公式訪問		¥20,000	3F ロイヤルホール
17:30-19:30	歓迎晩餐会			3F 光琳の間

11/27 (水)	内 容	対 象	登録料	会 場
10:00-13:00	国際会長との 懇談会・昼食会	地区ガバナー	¥8,000	2F 牡丹の間

◎ 出席者を別添の書式にお取りまとめの上、10月11日（金）までに335複合事務局にお送り下さい。（md335@lionsclubs.gr.jp）

- ※ 元国際理事へのご案内、出欠と登録料の取り纏めもお願いします。
- ※ 以下の方々には、335複合事務局から直接ご案内を送付します。回答を335複合事務局で取りまとめて各複合事務局に回送しますので、名簿にご記入ください。なお、登録料はご本人から直接ご所属の複合地区に送金されます。
- ※ 1日目懇談会に関しては、各複合事務局からのご案内をお願いするのは元国際理事と議長のみとなります。

複合	氏名	役 職
330	濱野雅司	国際理事
330	小川晶子	GAT エリアリーダー（東日本）
330	阿久津隆文	LCIF 東日本エリアリーダー
331	鶴嶋浩二	GAT アドバイザー／LCIF 理事
331	松浦淳一	(一社)日本ライオンズ理事長
331	小野寺眞悟	(公財)日本ライオンズ理事長
333	川島正行	GAT アドバイザー
334	山田實紘	GAT 会則地域リーダー／LCIF 理事
334	鈴木誓男	GAT エリアリーダー(統括)／LCIF 開発会則地域リーダー
334	丸山正芳	LCIF 会則地域リーダー補佐（データ担当）
335	城阪勝喜	国際理事
335	夏 有民	LCIF 会則地域リーダー補佐（研修担当）
335	松岡 勲	GAT エリアリーダー（西日本）／LCIF 西日本エリアリーダー
337	識名安信	GAT エリアリーダー（GLT/GST 担当）

以上

第3回全国特別支援学校フットサル大会

大会日程・次第（案） 2024年8月31日現在です。今後変更があります事をご了承ください。

2024年11月1日（金）

- 11時～ 名古屋駅へお迎え 名鉄グランドホテル誘導
 15時 マッチコーディネーションミーティング（日程説明 大会ルール確認 参加選手の確認 抽選会）
 16時 開会式 次 第（案）
- ・開会宣言
 - ・国歌斉唱
 - ・参加校紹介
 - ・大会会長挨拶
 - ・来賓祝辞
 - ・抽選結果発表
 - ・選手宣誓
 - ・選手激励 記念品贈呈
 - ・閉会宣言
- 17時 食事会・交流会 ・各地区参加校キャプテン挨拶等
 18時 終了 選手関係者 宿泊 名鉄グランドホテル
 17時15分 公益財団法人日本ライオンズ理事及び地区大会関係者 合同会議/懇親会
 宿泊 名古屋マリオットアソシアホテル

2024年11月2日（土）

- 7時 朝食
 7時50分 ホテル → 中村スポーツセンターへ移動（バス）
 8時30分 中村スポーツセンター 集合
 9時 参加校入場
 9時30分 予選リーグ開始
 10時 公益財団法人日本ライオンズ理事会
 11時 日本ライオンズ理事及び各地区担当主管者合同会議
 13時 決勝・順位決定リーグ開始
 16時 中村スポーツセンター → 名鉄グランドホテル移動（バス）
 17時 名鉄グランドホテル到着
 17時30分 名鉄グランドホテル → 名古屋マリオットアソシアホテル移動（徒歩）
 18時 閉会式 次 第（案）
- ・開会宣言
 - ・国歌斉唱
 - ・成績発表
 - ・表彰
 - ・大会会長挨拶
 - ・大会旗 引継式
 - ・次期開催地挨拶
 - ・閉会宣言
- 18時15分 交流食事会 ・参加校校歌 感想発表
 ライオンズクラブ役員関係者 名古屋マリオットアソシアホテル 別会場
 19時30分 終了 名古屋マリオットアソシアホテル → 名鉄グランドホテル移動（徒歩）
 19時50分 名鉄グランドホテル到着（宿泊）

2024年11月3日（日）

- 7時 朝食
 8時 名鉄グランドホテル 見送り

第3回全国特別支援学校 フットサル大会 **出場校一覧**

	学校名	住所	担当窓口	電話番号	メールアドレス	備考
北海道	北海道札幌あいの里 高等特別支援学校	北海道札幌市北区あいの里4 条7丁目1番1号	笹本 大輔 (経論)	090-6999-7079	daidaistation@gmail.com	011-700-5511(学校TEL)
東北	宮城県立支援学校岩沼高等学園	宮城県岩沼市北長谷豊田1-1	久野 輝美 (監督)		hisano-te758@td.myswan.ed.jp	0223-25-5332(学校TEL)
東関東	栃木県立特別支援学校 宇都宮青葉高等学園	栃木県宇都宮市京町9-32	柳田 嘉紀	090-4678-8306	yanagita-y01@tochigi-edu.ed.jp	028-639-2080(学校TEL)
西関東	東京都立永福学園	東京都杉並区永福1-7-28	高野 恭平	090-3316-6391	Kyohei20t@gmail.com	03-3323-1380(学校TEL)
北信越	富山県立富山高等支援学校	富山県富山市坂本2600	河村 拓		kawamura-taku@ed.pref.toyama.jp	0764-67-5560(学校TEL)
東海	愛知県立名古屋聾学校	愛知県名古屋市千種区鹿子殿21-1	筒井 舞 (顧問)	080-5122-7582	tsutsui2562@aichi-c.ed.jp	052-762-6846(学校TEL)
東関西	奈良県立ろう学校	奈良県大和群山市丹後庄町456	山中 淳生 (監督)	0743-56-2921	atsuoy510@e-net.nara.jp	0743-56-2921(学校TEL)
西関西	兵庫県立高等特別支援学校	兵庫県三田市大原梅の木1546-6	宮崎 龍矢 (監督)	079-563-0689	koto-sn-ftb@hyogo-c.ed.jp	079-563-0689(学校TEL)
中国	島根県立松江養護学校	島根県松江市西川津町31	藤田 勇気 (監督)	070-1451-0623	fujita-yuki@ebu.pref.shimane.jp	0852-26-6880(学校TEL)
四国	香川県立香川東部支援学校	香川県さぬき市長尾西475	宮本 覚 (監 督)	090-6882-1213	ln5204@kagawa-ebu.jp	0879-52-2581(学校TEL)
北九州	長崎県立希望が丘高等特別支援学校	長崎県諫早市多良見町化屋986-6	江口 貴紀 (監督)		eguchi7664@news.ed.jp	0975-43-1700(学校TEL)
南九州	大分県立さくらの杜高等支援学校	大分県大分市東大道 2 丁目5-23	小澤 剛史 (監督)		ozawa-takefumi@oen.ed.jp	0975-43-5544(学校TEL)

令和7年度全国特別支援学校フットサル大会各地区大会運営組織

地 区	開催期日	開催会場	主催者役員及び連絡先	開催パートナー組織及び連絡先等
北海道 331 地区	7月26日(土)	道立野幌総合運動公園 総合体育館	理事 片山雅裕 090-8631-3004 masahiro@katayama-constr.co.jp	公益財団法人明日佳 鈴木重男 090-7519-9503 suzuki@kyoshinomichi.jp
東 北 332 地区		聖和短期大学 体育館	理事 渡邊俊弥 080-6864-7123 watanabe.hohusei@s5.dion.ne.jp	一般社団法人東北サッカー協会 天本清隆 090-8259-9223 r-tohoku@jfa.or.jp 東北福祉大学 大西孝志 080-4895-1066 t-onishi@tfu-mail.tfu.ac.jp
東関東 333 地区 西関東 330 地区		東京都北区滝野川体育館	副理事長 山川 洋 090-1695-7856 h-yamakawa@sanyorealty.co.jp 理事 伊賀保夫 080-1105-5455 safari@capsule.co.jp	関東知的障がい者サッカー連盟 木村純一 080-5064-1648 vamora6@yahoo.co.jp
北信越 334 地区		ジョイアクロス「アクロス館」(アクロス高松)	理事 大山恭範 090-3308-7888 bu-ton29@pearl.ocn.ne.jp	一般社団法人北信越サッカー協会 谷内浩仁 090-2123-6997 r-hokusinetu@jfa.or.jp
東 海 334 地区		アイプラザー宮	理事 大山恭範 090-3308-7888 bu-ton29@pearl.ocn.ne.jp	東海地区大会実行委員会 野村政司 090-3158-8138 n09031588138@gmail.com 高橋敬 takashi@happy-jyusetu.com
東関西 西関西 335 地区		大浜だいしんアリーナ(堺市立大浜体育館)	理事 廣田晃一 090-8754-5865 k-hirota@wakoseisakusyo.co.jp	関西知的障がい者サッカー連盟 芥川豊和 090-8532-1088 T-AkutagawaT@medu.pref.osaka.jp
中 国 四 国 336 地区	8月24日(日)	IPU・環太平洋大学第4体育館	理事 池原 堅 090-7894-5594 office-ikehara@csk-net.co.jp	環太平洋大学サッカー部 桂 秀樹 080-2418-9071 h.katsura@ipu-japan.ac.jp
北九州 南九州 337 地区		速見フットサルコート A/B	理事 池上 信 090-3798-0860 m-ikegami@kidmold.co.jp	一般社団法人沖縄県障がい者サッカー連盟 金城 充 090-8291-0556 mitsurugekidan@yahoo.co.jp 大分県立大分支援学校 清末直樹 090-9496-2667 kiyosue-naoki@oen.ed.jp

公益財団法人 日本ライオンズ 寄附金申込書			
ご記入日	年 月 日		
振込日	年 月 日		
振込金額	円		
地区/クラブ名	地区 ライオンズクラブ		
寄附者情報	法人・個人		
	ご連絡先:電話(携帯)	— —	
領収書送付先	送付先宛名		
	送付先ご住所	〒	
	領収書宛名		
振込先	銀行名/支店名	三井住友銀行 東京公務部	
	口座	普通預金 0178781	
	口座名	公益財団法人日本ライオンズ 【ザイ】日本ライオンズ	
報告用紙送付先	公益財団法人日本ライオンズ		
	E-Mail:office@lions-zaidan.or.jp TEL/FAX 03-6262-6108		

※公益財団法人への寄付金は、所得税、一部自治体の個人住民税、
相続税および法人税の控除対象となります。



Lions Clubs International
FOUNDATION

2024－2025年度
ライオンズクラブ国際財団理事長
パティ・ヒル夫妻
日本公式訪問式典および晩餐会

2024-2025 Lions Clubs International Foundation Chairperson Dr. Patti Hill
Japan Official Visit – Ceremony and Banquet –



開催日

2024年9月24日(火)

会場

名古屋マリオットアソシアホテル16階「タワーズボールルーム」

〒450-6002 愛知県名古屋市中村区名駅1-1-4

- 報告事項 P33 -



Lions Clubs International
FOUNDATION

[式典・晩餐会プログラム]

2024－2025年度

ライオンズクラブ国際財団理事長パティ・ヒル夫妻
日本公式訪問式典および晩餐会

日時：2024年9月24日(火)15:00～19:00

場所：名古屋マリオットアソシアホテル16階「タワーズボールルーム」

—— 式 典 ——

司会：LCIF東日本エリアリーダー

L. 阿久津隆文

(15:00)

LCIF理事長夫妻入場

先導：336複合地区ガバナー協議会議長

L. 藤井 信英

開会の挨拶

LCIF理事

L. 鶴嶋 浩二

両国国歌

歓迎のことば

一般社団法人日本ライオンズ理事長

L. 松浦 淳一

歓迎の挨拶

元国際会長

L. 山田 實紘

LCIF理事長紹介

国際理事

L. 城阪 勝喜

LCIF理事長挨拶並びに講演

LCIF理事長

L. パティ・ヒル

LCIFアワード贈呈

記念品の贈呈

一般社団法人日本ライオンズ副理事長

L. 澤 辰水

331複合地区ガバナー協議会議長

L. 諏訪 昇三

日本ライオンズの活動紹介とパートナーシップについて LCIF会則地域リーダー

L. 鈴木 哲男

覚書署名式

ライオンズクラブ国際財団
公益財団法人日本ライオンズ

パティ・ヒル理事長
小野寺眞悟理事長

閉会の挨拶

LCIF西日本エリアリーダー

L. 松岡 勲

LCIF理事長退場

先導：330複合地区ガバナー協議会議長

L. 伊賀 保夫

(16:45)

—— 晩餐会 ——

司会：LCIF西日本エリアリーダー

L. 松岡 勲

(17:00)

LCIF理事長夫妻入場

先導：335複合地区ガバナー協議会議長

L. 廣田 晃一

開宴の挨拶

国際理事

L. 濱野 雅司

乾杯

334複合地区ガバナー協議会議長

L. 喜多 友一

お食事・ご歓談

LCIFアワード贈呈

閉宴の挨拶

国際理事

L. 城阪 勝喜

LCIF理事長夫妻退場

先導：337複合地区ガバナー協議会議長

L. 濱田 浩平

閉会

(19:00)



Lions Clubs International
FOUNDATION

LCIF 日本リーダーズ会議 (2024-2025 年度第 2 回会議)
2024 年 9 月 25 日 11:30-16:30

ランチ会食

11:30 - 13:30 LCIF 理事長との懇親、表彰、及びお食事
会場：名古屋マリオットアソシアホテル 17 階「ルピナス」

議事次第

13:45 - 16:30

会場：ウインクあいち 9 階 902 会議室

司会進行：松岡エリアリーダー

- | | | | |
|----|---|---------------------------------------|-------------|
| 1. | 開会の挨拶 | 鶴嶋理事 | 13:45-13:50 |
| 2. | 挨拶 | 鈴木会則地域リーダー | 13:50-13:55 |
| 3. | 理事会報告 | | 13:55-14:10 |
| 4. | 交付金アップデート | ベス・スミス
交付金部オセアル担当課長 | 14:10-14:30 |
| 5. | 第 1 四半期報告 | 出席リーダーズ | 14:30-15:40 |
| 6. | 事務局アップデート | | 15:40-16:20 |
| | <ul style="list-style-type: none">運営委員会報告出張精算、用品購入予算など今後の日程その他 | | |
| 7. | 次回会議日程 | 12 月 4 日 (水)
12 月 2-3 日 FVDG 研修会の後 | 16:20-16:25 |
| 8. | 閉会の挨拶 | 鶴嶋理事 | 16:25-16:30 |

			2024-2025年度実績							
地区	エリア：AL・SAL・MDC	CC・DG	8月累計	9月合計 （銀行ベース）	10月15日現在 （銀行ベース）	今期累計	今期目標	達成率	企業寄付件数 （9月末現在）	レガシー・ソサエティ 寄付誓約者数**
330-A	東京	森 亮介	43,301	38,401	1,000	82,702	500,000	16.5%		1
330-B	神奈川・山梨・東京	倉田 雅史	89,719	146,856	24,632	261,207	510,000	51.2%		2
330-C	埼玉	猪野塚 弘樹	35,000	10,507	5,120	50,627	200,000	25.3%	6	1
MD330計	330MDC 櫻井 貴裕	伊賀 保夫	168,019	195,765	30,752	394,536	1,210,000	32.6%	6	4
331-A	道央	美田 法賢	131,813	29,177	9,500	170,491	270,000	63.1%		3
331-B	道北・道東	伊東 隆志	7,875	7,780	1,350	17,005	150,000	11.3%		
331-C	道南	齋藤 尚仁	11,100	53,575	5,594	70,269	150,000	46.8%		
MD331計	331MDC 美田 法賢	諏訪 昇三	150,788	90,533	16,444	257,765	570,000	45.2%		3
332-A	青森	吉澤 俊寿	16,435	11,780	4,013	32,228	130,000	24.8%		
332-B	岩手	平野 嘉男	8,000	6,713	18,970	33,683	100,000	33.7%		
332-C	宮城	佐藤 久一郎	1,520	28,678	4,970	35,168	95,000	37.0%		
332-D	福島	車田 信彦	65,661	7,000	3,132	75,793	120,000	63.2%		1
332-E	山形	安孫子 英彦	12,000	5,312	3,092	20,403	75,000	27.2%		
332-F	秋田	長澤 源一	2,000	9,221	0	11,221	60,000	18.7%		
MD332計	332MDC 村上 孝	渡邊 俊弥	105,616	68,704	34,176	208,497	580,000	35.9%		1
333-A	新潟	高頭 八郎	40,504	52,000	1,000	93,505	220,000	42.5%		
333-B	栃木	福田 智恵	7,000	10,201	0	17,201	130,000	13.2%		
333-C	千葉	大瀧 勝明	39,999	50,035	8,447	98,481	250,000	39.4%		
333-D	群馬	染谷 文雄	8,000	13,387	4,330	25,717	150,000	17.1%		
333-E	茨城	椎名 健二	16,402	4,600	10,818	31,820	500,000	6.4%		2
MD333計	333MDC 中嶋 正昭	佐藤 裕幸	111,905	130,224	24,595	266,723	1,250,000	21.3%		2
MD330・333計	330・333 SAL 石原 英司		279,924	325,989	55,346	661,259	2,460,000	26.9%	6	6
MD331・332計	331・332 SAL 及川 隆人		256,404	159,237	50,621	466,261	1,150,000	40.5%		4
東日本計	東日本AL 阿久津 隆文		536,328	485,226	105,967	1,127,520	3,610,000	31.2%	6	10
334-A	愛知	柴田 高志	68,053	25,233	62,628	155,913	1,100,000	14.2%		3
334-B	岐阜・三重	丹羽 浩康	76,500	38,769	19,936	135,205	340,000	39.8%		1
334-C	静岡	鷹嶋 邦彦	22,311	15,050	3,200	40,561	300,000	13.5%		
334-D	富山・石川・福井	杉木 徹	73,851	22,730	8,313	104,895	400,000	26.2%		1
334-E	長野	浜 一平	16,645	38,977	13,346	68,968	260,000	26.5%	2	1
MD334計	334MDC 原口 秀樹	喜多 友一	257,360	140,760	107,423	505,543	2,400,000	21.1%	2	6
335-A	兵庫東(神戸)	永田 雅章	10,092	18,026	16,095	44,213	200,000	22.1%		
335-B	大阪・和歌山	古川 繁浩	36,839	84,182	34,173	155,194	900,000	17.2%		
335-C	滋賀・京都・奈良	野々山 宏	68,520	83,262	40,000	191,781	550,000	34.9%	1	3
335-D	兵庫西(姫路)	今市 明弘	99,101	7,382	17,800	124,283	200,000	62.1%	43	1
MD335計	335MDC 高井 利夫	廣田 晃一	214,551	192,852	108,068	515,471	1,850,000	27.9%	44	4
336-A	徳島・高知・香川・愛媛	石井 淑雄	48,102	24,352	15,144	87,598	448,000	19.6%		2
336-B	岡山・鳥取	上原 正樹	13,904	7,849	4,782	26,535	220,000	12.1%		
336-C	広島	鳴戸 大二	84,380	25,699	12,632	122,711	260,000	47.2%		
336-D	山口・島根	神田 義満	7,824	18,641	8,570	35,035	230,000	15.2%		
MD336計	336MDC 高岡 英治	藤井 信英	154,210	76,541	41,127	271,879	1,148,000	23.7%		2
337-A	福岡・長崎	矢野 進	28,517	97,451	9,950	135,918	500,000	27.2%		3
337-B	大分・宮崎	武永 健治郎	16,407	10,400	3,976	30,783	200,000	15.4%		
337-C	佐賀・長崎	為永 一夫	12,878	28,340	4,050	45,268	230,000	19.7%		
337-D	鹿児島・沖縄	宇都 要一	43,480	13,600	5,269	62,349	200,000	31.2%		1
337-E	熊本	吉井 本	3,004	19,500	7,786	30,290	150,000	20.2%		
MD337計	337MDC 二場 安之	濱田 浩平	104,285	169,292	31,031	304,608	1,280,000	23.8%		4
MD334・335計	334・335 SAL 遠藤 紀夫		471,912	333,612	215,490	1,021,014	4,250,000	24.0%	46	10
MD336・337計	336・337 SAL 橋本充好/吉村千鶴子		258,495	245,833	72,158	576,487	2,428,000	23.7%		6
西日本計	西日本AL 松岡 勲		730,406	579,445	287,649	1,597,500	6,678,000	23.9%	46	16
全日本合計	会則地域リーダー 鈴木 誓男		1,266,734	1,064,671	393,616	2,725,021	10,288,000	26.5%	52	26

*レガシー・ソサエティ寄付（遺贈寄付）誓約の生前贈与寄付1万ドルを実行された寄付者の寄付も含みます。

**レガシー・ソサエティ寄付を誓約された寄付者数です。誓約を実行された寄付の件数とは異なります。

MD336 第 1 回ミッション 1.5 会議 (WEB) 議事録
開催日時：2024 年 8 月 28 日 (水) 10:00~11:30 接続 9:45~

出席者 ※敬称略、順不同

役 職	氏 名
ガバナー協議会議長	藤井 信英
複合地区 GLT 担当ガバナー (ガバナー協議会副議長) A 地区ガバナー A 地区 LCIF コーディネーター	石井 淑雄
C 地区ガバナー (ガバナー協議会会計) C 地区 LCIF コーディネーター	鳴戸 大二
複合地区 FWT 担当ガバナー (ガバナー協議会幹事) D 地区ガバナー D 地区 LCIF コーディネーター	神田 義満
複合地区 LCIF 世話人 複合地区 FWT コーディネーター	山崎もとみ
複合地区 GMT コーディネーター C 地区 GMT コーディネーター・GET コーディネーター	宮本 浩二
複合地区 GMT 副コーディネーター	篠原 孝尚
複合地区 GMT 副コーディネーター	川田 博文
複合地区 FWT 副コーディネーター	齊藤 由香
A 地区 GMT・GLT コーディネーター	真鍋 隆
D 地区 GMT コーディネーター	原田 瑞樹
A 地区 GET コーディネーター	松浦 孝仁
B 地区 FWT コーディネーター・GET コーディネーター	岩崎 純子
C 地区 FWT コーディネーター	堀 葉子
D 地区 FWT コーディネーター	金子 勝
ガバナー協議会事務局運営委員会委員長 ※オブザーバー	松岡 哲也

司会進行：複合地区 GMT コーディネーター 宮本 浩二

- 開会挨拶：ガバナー協議会 議長 藤井 信英
 - 出席者紹介：割愛
 - 各地区ガバナーより近況報告
 - 議 題
 - ミッション 1.5 MD336 進捗報告フォームについて
毎月 15 日迄 複合地区へ「ミッション 1.5 進捗報告フォーム」にて報告
毎月 20 日迄 GATJapan 副エリアリーダー (MD336 担当：有本みどり氏) へ報告
※MD336GAT 会議 (ミッション 1.5・GMA 進捗確認) は、今回の会議を第 1 回として
以降は 2 か月毎 (11 月・1 月・3 月・5 月) 開催予定。
(第 1 回ガバナー協議会にて協議及び承認済)
 - ミッション 1.5 準地区内クラブ進捗報告フォームについて
準地区は任意の方法にて、毎月地区内各クラブから ZC 及び RC を通して報告を受け
地区の報告を取りまとめる。
準地区での報告のタイミングは下記を参考にしてください。
毎月 5 日迄 準地区キャビネットへ地区内各クラブから報告
(簡単なアンケート方式を推奨) 毎月 10 日迄
各 RC 及び ZC よりクラブへのヒアリングを実施 (未提出クラブなど)
※上記の締切日の間にそれぞれのレベルで必要に応じてミーティングをおこなう。
 - GATJapan への第 1 回目報告期限について
2024 年 9 月 5 日 (木) 必着 (ミッション 1.5 サミットにて指示あり)
今回に限り、2024 年 9 月 3 日 (火) までに“報告フォーム”にて報告。
 - 参加者皆さまより近況報告
 - 質疑応答
 - 総評：ガバナー協議会 議長 藤井 信英
 - 閉会挨拶：複合地区 FWT コーディネーター 山崎もとみ
- 【備考】(参加者からの意見)
支部・家族会員増強が会員増強には必要である。
会員増強にはある程度の限りがある。退会防止に心掛けること大切である。
準地区内 ZC が MISSION1.5 の要となる。
準地区内クラブへの進捗報告要請が困難であると考えられる。
進捗報告を提出することが必ずしも会員増強につながるか否かの問題を懸念する。
会員増強は、国際協会の重点方針ではあるが、クラブのために会員を増やすことが大切である。
MD336 としては、GATJapan の要請に従い“進捗報告”をおこなうこととする。

議事録作成者 宮本 浩二

ライオンズクラブ国際協会336複合地区 (2024-2025年度)

MISSION1.5進捗報告書

2024.7月～9月

336複合地区ガバナー協議会議長 藤井 信英

336-A地区ガバナー 石井 淑雄

336-B地区ガバナー 上原 正樹

336-C地区ガバナー 鳴戸 大二

336-D地区ガバナー 神田 義満

報告書作成者

336複合地GMTコーディネーター 宮本 浩二

MD336クラブ（クラブ支部）及び会員増減

		クラブ数	新結成	解散	クラブ数 増減	クラブ支部 数	新結成	会員数	入会者数	退会者数	会員数 増減	男性 会員数	女性 会員数	女性の 割合	家族会員 (子会員)	子会員の 割合	男性 子会員数	女性 子会員数	子会員を除 く会員数
2024～2025	336-A	134	0	0	0	12	0	4,966	127	110	17	3,817	1,148	23.1%	719	14.5%	152	567	4,245
2024年6月末	336-A	134	0	1	-1	12	5	4,949	451	530	-79	3,803	1,146	23.2%	732	14.8%	154	570	4,217
2023年6月末	336-A	135	0	2	-2	11	5	5,028	359	508	-149	3,863	1,164	23.2%	749	14.9%	151	598	4,279
2022年6月末	336-A	137	0	3	-3	6	1	5,177	392	629	-237	3,992	1,185	22.9%	794	15.3%	157	637	4,383
2021年6月末	336-A	140	0	0	0	5	0	5,414	395	499	-104	4,152	1,262	23.3%	855	15.8%	171	684	4,559
2020年6月末	336-A	140	0	2	-2	5	1	5,518	399	674	-275	4,304	1,214	22.0%	835	15.1%	164	671	4,683
2024～2025	336-B	81	0	0	0	12	0	2,391	68	53	15	1,993	392	16.5%	203	8.5%	42	161	2,181
2024年6月末	336-B	81	0	2	-2	12	0	2,376	246	236	10	1,988	388	16.3%	197	8.3%	42	161	2,179
2023年6月末	336-B	83	0	2	-2	14	1	2,360	198	299	-101	1,992	368	15.6%	194	8.2%	39	155	2,166
2022年6月末	336-B	85	0	2	-2	13	1	2,461	153	322	-169	2,049	412	16.7%	225	9.1%	44	181	2,236
2021年6月末	336-B	87	1	3	-2	12	1	2,630	165	310	-145	2,190	440	16.7%	243	9.2%	46	197	2,387
2020年6月末	336-B	89	0	1	-1	11	1	2,775	191	337	-146	2,310	465	16.8%	271	9.8%	52	219	2,504
2024～2025	336-C	76	0	0	0	21	0	2,785	83	25	58	2,279	506	18.1%	287	10.4%	50	237	2,473
2024年6月末	336-C	76	0	3	-3	21	4	2,727	227	287	-60	2,239	488	17.9%	285	10.5%	50	236	2,442
2023年6月末	336-C	79	0	0	0	17	8	2,787	214	285	-71	2,285	502	18.0%	309	11.1%	52	257	2,478
2022年6月末	336-C	79	0	3	-3	11	1	2,858	179	324	-145	2,355	503	17.6%	342	12.0%	65	277	2,516
2021年6月末	336-C	82	0	1	-1	10	4	3,003	211	277	-66	2,466	537	17.9%	384	12.8%	75	309	2,619
2020年6月末	336-C	83	0	3	-3	6	2	3,069	215	358	-143	2,531	538	17.5%	392	12.8%	71	321	2,677
2024～2025	336-D	82	0	0	0	11	0	2,574	79	49	30	2,261	312	12.0%	101	3.9%	11	90	2,479
2024年6月末	336-D	82	0	2	-2	11	4	2,544	225	287	-62	2,240	304	11.9%	94	3.7%	11	88	2,450
2023年6月末	336-D	84	0	0	0	7	2	2,606	212	235	-23	2,283	322	12.4%	103	4.0%	12	91	2,503
2022年6月末	336-D	84	0	4	-4	5	1	2,629	177	301	-124	2,310	319	12.1%	119	4.5%	15	104	2,510
2021年6月末	336-D	88	0	0	0	4	0	2,753	188	255	-67	2,414	339	12.3%	129	4.7%	18	111	2,624
2020年6月末	336-D	88	0	0	0	4	1	2,820	238	336	-98	2,501	319	11.3%	141	5.0%	20	121	2,679
2024～2025	MD336	373	0	0	0	56	0	12,716	357	237	120	10,350	2,358	18.5%	1,310	10.4%	255	1,055	11,387
2024年6月末	MD336	373	0	8	-8	56	13	12,596	1,149	1,340	-191	10,270	2,326	18.5%	1,308	10.4%	257	1,055	11,288
2023年6月末	MD336	381	0	4	-4	49	16	12,781	983	1,327	-344	10,423	2,356	18.4%	1,355	10.6%	254	1,101	11,426
2022年6月末	MD336	385	0	12	-12	33	4	13,125	901	1,576	-675	10,706	2,419	18.4%	1,480	11.3%	281	1,199	11,645
2021年6月末	MD336	397	1	4	-3	29	5	13,800	959	1,341	-382	11,222	2,578	18.7%	1,611	11.7%	310	1,301	12,189
2020年6月末	MD336	400	0	6	-6	24	5	14,182	1,043	1,705	-662	11,646	2,536	17.9%	1,639	11.6%	307	1,332	12,543

※ 実績の数値は9月末速報値の数値を入力しております。確定値ではありません。

四半期会員増強計画

		336-A		336-B		336-C		336-D		MD336	
		期首人数	4,949	期首人数	2,376	期首人数	2,727	期首人数	2,544	期首人数	12,596
		目標人数	5,009	目標人数	2,396	目標人数	2,747	目標人数	2,564	目標人数	12,716
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
7～9月	会員増強	140	127	50	68	50	83	50	79	290	357
	退会見込み	110	110	45	53	45	25	40	49	240	237
10～12月	会員増強	140		30		80		70		320	0
	退会見込み	110		25		75		50		260	0
1～3月	会員増強	140		70		80		60		350	0
	退会見込み	110		65		75		50		300	0
4～6月	会員増強	110		66		49		40		265	0
	退会見込み	140		61		44		60		305	0
会員増強計画 合計		530	127	216	68	259	83	220	79	1225	357
退会見込み 合計		470	110	196	53	239	25	200	49	1105	237
会員増強目標（必達）		60	17	20	15	20	58	20	30	120	120

会員増強に対する具体的な行動計画

336-A	ガバナーチーム、GAT各コーディネーター、RC、ZC、地区委員と情報共有し、今期、2つのクラブのエクステンション及び、5つのクラブ支部結成を必ず達成する。また、退会防止には会員種別を活用する。
336-B	GMTを中心として今期同様の会員拡大数値を各クラブに提示して依頼する。女性を中心として新クラブ結成チームを結成する。学生会員の拡大にも向けたチーム作り。メンバー以外への理解を広める企画作り。
336-C	地区内76クラブにGMA目標を定め、リジョン・ゾーン単位で具体的な会員増強目標を設定する。RC・ZCにクラブのサポートを促す。少人数クラブの解散・退会者防止対策のため、さらなる会員満足度向上を図る。各ゾーン1支部（11支部）新設を目標とする。
336-D	GMT を中として会員増強の目標設定を明確にし毎月のチェック及び問題があれば迅速に対応する。RC,ZCに情報の共有化を図る。支部結成に向けて、成功事例、活動状況をSNSなど利用しクラブ支部の活動を紹介し新規クラブ結成に結び付ける。
MD336	各地区ガバナー目標達成に向けて支部・女性会員・学生会員増強に取り組む。少人数クラブの地区役員免除など解散防止対策を講じる。GMA研修会を実施して各クラブに再度十分理解させる。次世代リーダーを各リジョン・ゾーンで発掘・指導育成する。

※実績の数値は9月末速報値の数値を入力しております。確定値ではありません。

四半期会員増強進捗状況一覧表

		第1 四半期						7月～9月									
		7月		8月		9月		新会員			退会			会員増強			現会員数
336-A		新会員	退会	新会員	退会	新会員	退会	目標	実績	達成率	予測	実績	達成率	目標	実績	達成率	
期首人数	4,949	59	39	43	39	25	32	140	127	91%	110	110	100%	30	17	57%	
目標人数	5,009	20		4		-7											
336-B		新会員	退会	新会員	退会	新会員	退会	目標	実績	達成率	予測	実績	達成率	目標	実績	達成率	2,391
期首人数	2,376	34	25	10	11	24	17	50	68	136%	45	53	118%	5	15	300%	
目標人数	2,396	9		-1		9											
336-C		新会員	退会	新会員	退会	新会員	退会	目標	実績	達成率	予測	実績	達成率	目標	実績	達成率	2,785
期首人数	2,727	39	15	13	4	31	6	50	83	166%	45	25	56%	5	58	1160%	
目標人数	2,747	24		9		25											
336-D		新会員	退会	新会員	退会	新会員	退会	目標	実績	達成率	予測	実績	達成率	目標	実績	達成率	2,574
期首人数	2,544	38	20	29	11	12	18	50	79	158%	40	49	123%	10	30	300%	
目標人数	2,564	18		18		-4											
MD336		新会員	退会	新会員	退会	新会員	退会	目標	実績	達成率	予測	実績	達成率	目標	実績	達成率	12,716
期首人数	12,596	170	99	95	65	92	73	290	357	123%	240	237	99%	50	120	240%	
目標人数	12,716	71		30		19											

※ 9月の数値は月末速報値の数値を入力しております。確定値ではありません。

差出人: [GATJapan](#)
宛先: md331@ruby.ocn.ne.jp; [md332 ライオンズクラブ](#); [333複合地区ガバナー協議会事務局 \(md333@nifty.com\)](mailto:333複合地区ガバナー協議会事務局(md333@nifty.com));
[334複合地区ガバナー協議会事務局 \(lions334@lilac.ocn.ne.jp\)](mailto:334複合地区ガバナー協議会事務局(lions334@lilac.ocn.ne.jp)); [ガバナー協議会事務局](#) [335複合地区](#); [MD337 ライオンズ](#); lions@md-330.jp; [MD336](#)
Cc: [OSEALStaff](#)
件名: 2024-2025年度FDI開催地の変更について
日付: 2024年8月30日 16:28:52
添付ファイル: [image001.png](#)
重要: 高

複合地区ガバナー協議会議長 各位
複合地区GLTコーディネーター 各位
(BCC: GATリーダー 各位)

お世話になっております。
今年度のFDI開催地が、ベトナムのホーチミンからマレーシアのクアラルンプールに変更された旨お知らせいたします。
ウェブサイトの情報も変更されていますのでご確認ください。すでに申請書をご提出いただいた複合地区もありますが、開催地変更の旨ご周知いただけますと幸いです。
<https://www.lionsclubs.org/ja/resources-for-members/faculty-development-institute>

現在FDIの申請を受け付けておりますので、すでにGATリーダーよりご案内されております通り、各複合最低3名、可能な限り4名を推薦していただけますようお願いいたします。

開催日: 2025年2月7日～9日
開催地: **マレーシア・クアラルンプール**
募集人数: 25名
申請書提出先: オセアル調整事務局 gatjapan@lionsclubs.org
提出期限: **2024年9月26日(木)**

提出期限はオセアル調整事務局への提出期限とし、ウェブサイトに掲載されている締切日とは異なりますのでご注意ください。

宜しくお願いいたします。

Naoko Hatayama/ 畠山直子

Global Action Team (GAT) Specialist // OSEAL Coordinating Office

Lions International

+81-(0)50-1791-5826 // Direct

www.lionsclubs.org/ja/GAT

.....
www.lionsclubs.org/ja/Mission1.5

#MissionToGrow

[facebook](#) // [youtube](#) // [instagram](#) // [X](#) // [linkedin](#)
.....



From: GATJapan <GATJapan@lionsclubs.org>

Sent: Tuesday, July 9, 2024 5:12 PM

2024 年 9 月 10 日

ライオンズクラブ国際協会
複合地区ガバナー協議会議長各位
地区ガバナー各位

国際理事 城阪勝喜
国際理事 濱野雅司

ライオンズクラブ国際協会 最新報告会 取りまとめのお願い

日頃よりライオンズクラブのためにご尽力いたたいておりますことに心から感謝申し上げます。

さて、急なご案内で、また大変お忙しいところ恐縮ですが、メルボルンでの国際理事会において決定いたしました元地区ガバナーを対象とした国際協会最新報告のウェビナーを別紙のとおり実施いたします。

これは、国際協会の 2024～2025 年度グローバル優先項目や重要な方針の変更についての報告を、ファブリシオ国際会長を含め、4 人のプレゼンターによるビデオを視聴していただき、その後、簡単なお説明と質疑応答をさせていただきながら、ライオンズクラブの最新の状況をご理解いただくものです。下記のように複合ごとに日時を指定させていただき、ご参加いただきますが、ご都合のつかない方は、他の複合地区の日時に参加していただいても構いません。

つきましては、添付の案内文書と参加用資料を各地区から発信し、参加ご案内と登録に関するご支援をいただけますでしょうか。お忙しいところお手数をおかけして申し訳ございませんが、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

なお、ZOOM を利用しての報告会となります。パソコンやタブレットを使用しての参加となりますが、テクノロジーの自信のない方もいらっしゃると思います。重ねてご面倒をおかけして申し訳ございませんが、地区キャビネット事務局や複合地区事務局でサポートしていただけますでしょうか。

どうか主旨をご理解の上、たくさんのご出席を賜ります様ご協力をお願いいたします。

ご不明の点がございましたら、遠慮なく下記へご連絡ください。

国際理事 濱野雅司 hamano@atmmusic.com

ライオンズクラブ国際協会 最新報告会
～元地区ガバナー対象上半期ウェビナー最新報告～

【開催日程】

番号	開催日	時間	主な対象複合地区
1	9月16日(月・祝)	午前10時～12時	MD330、MD331
2	9月16日(月・祝)	午後1時～3時	MD332
3	9月17日(火)	午後1時～3時	MD333、MD334
4	9月18日(水)	午後3時～5時	MD335、MD336
5	9月19日(木)	午前10時～12時	MD330、MD331
6	9月19日(木)	午後3時～5時	MD337
7	9月21日(土)	午前10時～12時	MD333、MD334
8	9月21日(土)	午後1時～3時	MD332
9	9月30日(月)	午後1時～3時	MD335、MD336
10	9月30日(月)	午後3時～5時	MD337

【参加方法】

- ウェビナーはZOOMで行います。事前登録が必要ですので、次ページの各開催回のZOOM参加リンクをご使用の上、登録してください。参加の確認は、リンクからの登録により行わせていただきます。
- 複合地区の割当を行っておりますが、ご都合のつかない方は、他の複合の日時でも参加できます。
- 参加にあたっては、ウェブカメラと音声を聞くヘッドフォンまたはスピーカーと発言用のマイクが必要です。
- この文書の配信とともにお配りする参加者ガイドと、国際会長のパンフレットをご用意ください。



2024-2025 年度

336 複合地区第一副地区ガバナー・第二副地区ガバナー研修会 次第

日 時：2024 年 10 月 29 日（火）13：00～17：30

場 所：岡山シティホテル桑田町 別館 3F 会議室「306」

岡山市北区桑田町 3-30 TEL 086-221-0001

役 職	氏 名	出 欠
講師：2023-2025 年度国際理事（330-C 地区 岩槻 LC）L.濱野 雅司		
336 複合地区ガバナー協議会議長	藤井 信英	○
336 複合地区 GLT コーディネーター	西尾 慎一	○
336-A 地区第一副地区ガバナー	向 和人	○
336-B 地区第一副地区ガバナー	榎本 明	○
336-C 地区第一副地区ガバナー	西本 義弘	○
336-D 地区第一副地区ガバナー	日下 眞二	○
336-A 地区第二副地区ガバナー	篠原 孝尚	○
336-B 地区第二副地区ガバナー	難波 進	○
336-C 地区第二副地区ガバナー	平 謙介	○
336-D 地区第二副地区ガバナー	岡田 和好	○

司会：336 複合地区 GLT コーディネーター 西尾 慎一

1. 議長挨拶 336 複合地区ガバナー協議会議長 藤井 信英
2. 本日の予定について 336 複合地区 GLT コーディネーター 西尾 慎一
3. 研 修（13：15～17：00）

講 師 2023-2025 年度 国際理事 L. 濱野 雅司（330-C 地区 岩槻 LC）

内 容

- ・地区ガバナーオリエンテーション
- ・会員レポートの分析と対策
- ・地区 E ブックの確認
- ・スピーチ
- ・効果的な聴き方
- ・会議の運営管理
- ・チームワークによる成功
- ・LCIF
- ・「奉仕の道のり」情報資料の活用推進

4. 質疑応答（17：15～17：30）

5. 閉 会（17：30）

第 1 回 MD336 GST コーディネーター会議 議事録

開催日時：2024 年 10 月 9 日（水）15：00～17：00

開催場所：セントラルフォレスト 8F「フォレスト」

岡山市北区幸町 6-30 第一セントラルビル 2 号館

開催形式：REAL

出席者：下記の通り(敬称略)

	役 職	氏 名	会議
1	ガバナー協議会議長	藤井 信英	○
2	複合地区 GST 世話人	澤 辰水	○
3	複合地区 GST コーディネーター	畑中 隆之	○
4	複合地区 GST 副コーディネーター C 地区第二副地区ガバナー	平 謙介	欠
5	複合地区 GST 副コーディネーター	森田 安芸彦	○
6	A 地区 GST コーディネーター	平田 治由	○
7	B 地区 GST コーディネーター	住吉 孝文	○
8	C 地区 GST コーディネーター	横路 望	○
9	D 地区 GST コーディネーター	清水 敏昭	欠
10	ガバナー協議会事務局運営委員会委員長 ※オブザーバー	松岡 哲也	○

司会進行：複合地区 GST コーディネーター 畑中 隆之

1. 開会挨拶：ガバナー協議会 議長 藤井 信英
2. 出席者自己紹介
3. 議 題

①思いやりは大切なこと アワード審査会

準地区より 20 クラブの申請があった。

A 地区：高知桂ライオンズクラブ・高松玉藻ライオンズクラブ

B 地区：岡山西ライオンズクラブ・日生ライオンズクラブ・岡山中央ライオンズクラブ
津山衆楽ライオンズクラブ・玉野ライオンズクラブ・倉敷真備ライオンズクラブ

C 地区：広島佐東ライオンズクラブ・広島フェニックスライオンズクラブ

尾道瑠璃ライオンズクラブ・広島可部ライオンズクラブ

広島ニューライオンズクラブ・東広島あきつライオンズクラブ

福山フラワーライオンズクラブ

D 地区：宇部ライオンズクラブ・下関ライオンズクラブ・光ライオンズクラブ

出雲中央ライオンズクラブ・新南陽若山ライオンズクラブ

各準地区 GST コーディネーターより自地区選出の最優秀について説明。

A 地区、高松玉藻ライオンズクラブ

B 地区、岡山西ライオンズクラブ

C 地区、広島佐東ライオンズクラブ

D 地区、出雲中央ライオンズクラブ

出席者で協議の上、C 地区広島佐東ライオンズクラブ「梅林の復活事業」を複合地区として
国際本部へ推薦することとした。

各準地区の最優秀にはガバナー協議会議長より表彰を行う。

②今後のGST活動について

今後も各準地区における事業並びにセミナーなどを共有し紹介を行う。

各準地区の素晴らしい事業について複合地区で表彰などを行えば、クラブの活性化、事業への取り組みの士気が上がり会員増強へと繋がるのではとの提案があり、出席者一同これに賛同した。

準地区上半期ガバナーズアワード大賞の中から最優秀を選出し、複合地区年次大会においてガバナー協議会議長より表彰を行う。

③その他

2024-2025 年度各準地区活動報告

336-D 地区 1 型糖尿病動画配信と地区 YouTube チャンネル開設のお知らせ。

動画は使用許諾を頂いている。各準地区で活用頂きたい。

第一回ガバナー協議会役員連絡会議において各準地区 GST に伴う年間取り組みを提出した効果が得られている。他地区の研修会、セミナーへの参加があった。

4. 閉会挨拶：複合地区 GST 世話人 澤 辰水

議事録作成者 畑中隆之

地区名 336-C

クラブ名 広島佐東

クラブ担当者

幹事 坂井 賢

Eメールアドレス

h-sato@crest.ocn.ne.jp

奉仕事業名（事業タイトル） 梅林の復活事業

※この事業はMyLion®にて報告されていますか ☒ はい

MyLion®での報告日 2024/6/13

どの分野の奉仕事業でしょうか 環境保全・青少年・人道支援

※補足文章 奉仕事業の説明（国際理事会フォーマットより）

以下の質問に対する答えを、400字以内にてご入力ください ※可能であれば写真などもご提出ください

●奉仕事業について、可能な限り詳しく説明してください。

第二次世界大戦前後の2度の洪水で壊滅し以後30年間荒廃したままであったかつての名勝八木梅林を復活すべく、1985年創立直後より、せせらぎ公園に梅の木109本を植樹することから始まりました。以後40年にわたる会員たちの地道な育成作業の末、今では600本の梅の木による立派な梅林が復活しました。1月、梅の木の剪定施肥。6月、梅の実を収穫しています。梅酒をつけ、3月の地域のお祭りやCN・合同例会・クラブの例会にて振る舞っていました。2001年より近隣の小学生梅の実取体験学習が開始。毎年延べ300人の児童が梅の実を採りに訪れます。その際に八木梅林の昔の話をしています。梅の実採りは、会員が長い竿で梅の実を落とし、児童が頭や体に当たる実で「いたい痛い」といいながら梅の実を拾い、学校に持ち帰ります。その梅は、学校や家庭で、友達と家族とはなしをしながら、梅ジュースや梅干しなどを作る体験学習を。また学校ではお礼文を国語の作文の授業で学びに活用しています。2022年からは子ども食堂来場者に梅ジュースを振る舞っています。クラブ所在地「梅林」の名とともに守り続けています。

●この奉仕事業は、どのような点が独創的、特別、または革新的なのでしょうか？

梅林の復活事業こそが、私たちの住む町が将来的に地名だけが残る町になることを危惧し、文献をしらべ見聞きたことも絶やさないうように、実際に行動（重要アクティビティ）で示した事業だからです。行動とは、クラブのアクティビティで終わらず、県・市・区と住民の力をかり、何百年も続く町並みを残せるようにつながりを大切にしたこと。

「地域の小学生に梅の実取体験学習やたくさんの方とのふれあい」私たちのアクティビティそのものが、地域の昔話と共に、児童が大人になったときに、また次の世代へ繋げてくれることでしょう。このようにクラブ員のアクティビティに終わらず、地域と地域の未来を創造した奉仕活動だからです。

●地域社会にとってこの奉仕事業が重要なのはなぜでしょうか？

この梅林地区は2014年8.20広島豪雨土砂災害で大きな被害を及ぼしました。キャビネットを通じLCIF緊急援助金・姉妹協定のある他国LC・日本中のLCからの支援を賜り、復興を遂げることができました。幸いにもこの梅の木を植樹した場所には被害を受けることはありませんでした。だからこそ地域のお祭りも児童の梅の実取体験学習も災害後も続けることができ、生活する人々の心の潤いと安らぎを保ちつづけています。

私たちのすむ町の「将来を担う子どもたちの育成」と「地域民の憩いの場の提供」が、心を育むための奉仕活動だと認識し、それまでもこれからも、会員一丸となり梅林の復活事業に取り組んでいます。

●この事業の実現に役立った現地パートナーシップがあれば、ご記入ください。

国土交通省中国地方太田川河川事務所

安佐南区区役所維持管理課

広島市立八木小学校・緑井小学校・梅林小学校

●この奉仕事業は、どのようにライオンズのイメージアップにつながったのでしょうか？

お祭りや小学生梅の実採り体験学習などで携わりを持った方たちとは、梅のことから「佐東ライオンズ」という認識を持っていただけで、地域に対しての活動がスムーズに運んでいることがイメージアップの結果だと思います。

●この奉仕事業の企画・遂行に使用したライオンズクラブ国際協会の奉仕リソース（アドボカシー・ツールキット、奉仕事業プランナー、プログラムのウェブページなど）がありますか？あれば説明してください。

とくにありません

※文字数が多い場合もそのままご入力いただきページをまたいでいただいて構いません

またオリジナルの報告書も可能ですが、説明は上記に基づきお願いいたします

地区名: MD336-C クラブ名: 広島佐東ライオンズクラブ クラブ担当者: 幹事 坂井 賢

奉仕事業名 (事業タイトル) 梅林の復活事業

事業写真



●奉仕事業について

第二次世界大戦前後の2度の大地震で壊滅し以後30年間荒廃したままであったかつての名勝八木梅林を復活すべく、1985年創立直後より、せせらぎ公園に梅の木109本を植樹することから始まりました。以後40年にわたる会員たちの地道な育成作業の末、今では600本の梅の木による立派な梅林が復活しました。1月、梅の木の剪定施肥。6月、梅の実を収穫しています。梅酒をつけ、3月の地域のお祭りやCN・合同例会・クラブの例会にて振る舞っていました。2001年より近隣の小学生梅の実取体験学習が開始。毎年延べ300人の児童が梅の実を採りに訪れます。その際に八木梅林の昔の話をしています。梅の実採りは、会員が長い竿で梅の実を落とし、児童が頭や体に当たる実で「いたい痛い」といいながら梅の実を拾い、学校に持ち帰ります。その梅は、学校や家庭で、友達と家族とはなしをしながら、梅ジュースや梅干しなどを作る体験学習を。また学校ではお礼文を国語の作文の授業で学びに活用しています。2022年からは子ども食堂来場者に梅ジュースを振る舞っています。クラブ所在地「梅林」の名とともに守り続けています。

●地域社会にとって

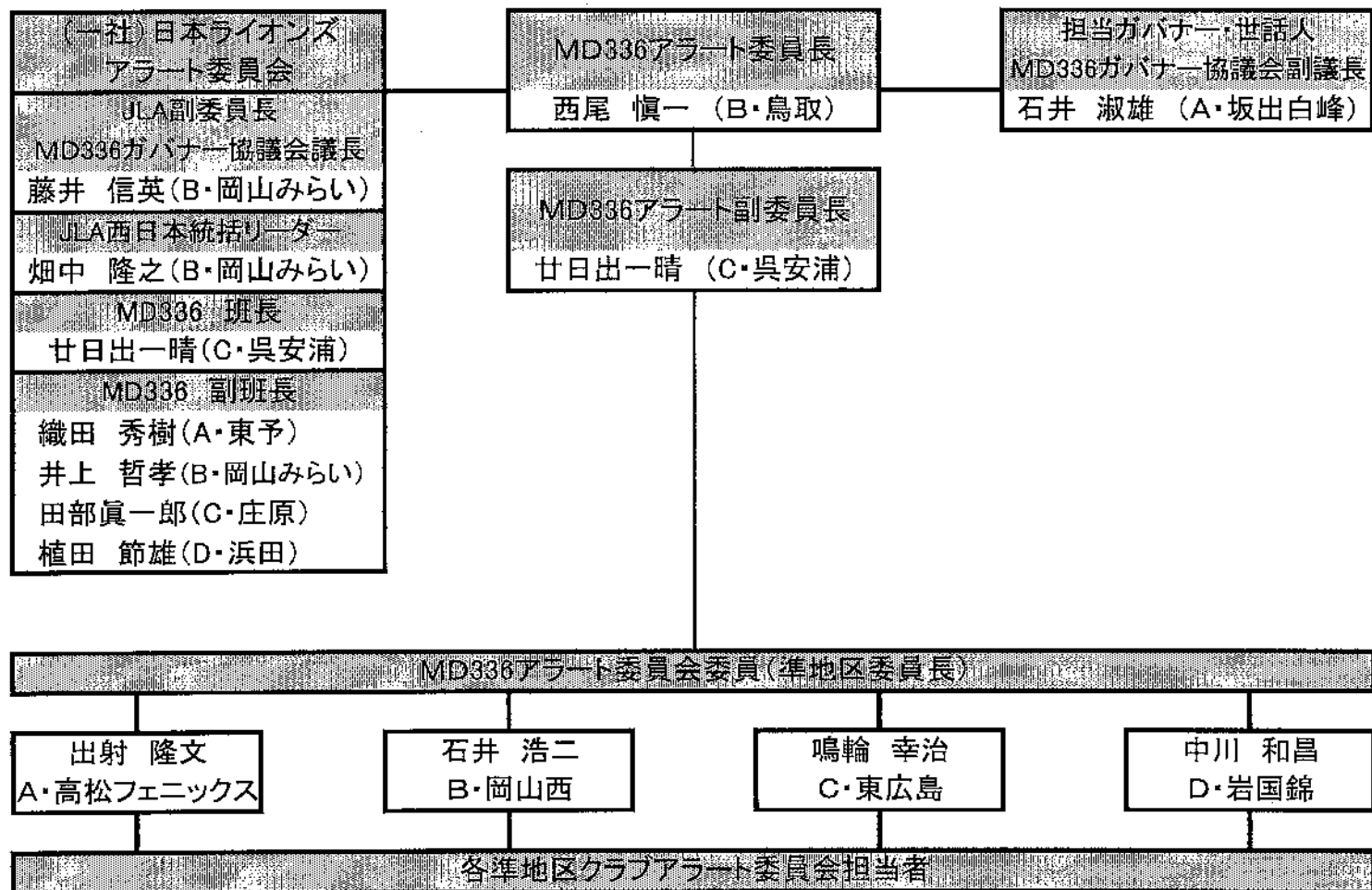
この梅林地区は2014年8.20広島豪雨土砂災害で大きな被害を及ぼしました。キャビネットを通じLCIF緊急援助金・姉妹協定のある他国LC・日本中のLCからの支援を賜り、復興を遂げることができました。幸いにもこの梅の木を植樹した場所には被害を受けることはありませんでした。だからこそ地域のお祭りも児童の梅の実取体験学習も災害後も続けることができ、生活する人々の心の潤いと安らぎを保ちつづけています。私たちのすむ町の「将来を担う子どもたちの育成」と「地域民の憩いの場の提供」が、心を育むための奉仕活動だと認識し、それまでもこれからも、会員一丸となり梅林の復活事業に取り組んでいます。





2024～2025年度 MD336アラート委員会組織図

2024年7月1日～2025年6月30日





2024 年 9 月 26 日

ライオンズクラブ国際協会
2024～2025 年度
地区ガバナー 各位

ライオンズクラブ国際協会 334-D 地区
地区ガバナー L. 杉木 徹

支援物資募集一時停止のお願い

日頃よりキャビネット運営に格段のご理解とご協力を賜り心より感謝を申し上げます。能登半島地震の復旧、復興に向けての懸命な作業が続く中、9 月 21 日に線状降水帯発生による豪雨災害が発災致しました。皆様には既に支援物資の収集、運搬にご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、9 月 24 日には、LCIF から大災害援助交付金もこの度の豪雨災害に対して承認されました。今後はこの交付金についても復旧、復興に役立てていきたいと考えておりますので、何卒今後も能登半島の復旧、復興に一層のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

さて、9 月 26 日現在、皆様方のご尽力もあり大量の支援物資が集まってきております。しかし、被災地の受け入れスタッフの人数にも限りがあり、その状況を鑑みて明日 27 日より物資受け入れの調整のため、支援物資募集を一時停止したいと考えております。もちろん、既に発送準備されている支援物資に関しては受け入れさせていただきますのでよろしくお願い致します。

現在、キャビネットの方針と違う情報が SNS 等で錯綜しております。皆様方には、ぜひとも地区キャビネットからの情報を優先するように切にお願い申し上げます。なお、被災地から新たな要望が上がって来ましたら改めて皆様方に支援のお願いをさせていただきますので、これからも変わらぬご理解とご協力をよろしくお願い致します。



2024-2025年度ライオンズクラブ国際協会334-D 地区キャビネット事務局
〒922-0402 石川県加賀市柴山町と5 番地1 ホテルアローレB1
TEL : 0761-75-7623 FAX : 0761-75-7624 E-mail : cabinet-office@lions334-d.jp





ライオンズクラブ国際協会 Lions International
全国アラートフォーラム 2025 in 茨城【概要書】

2024 年 7 月 13 日

【開催経緯】 地震、台風、大雨洪水被害など毎年多くの災害被害に見舞われる日本において、阪神淡路大震災以降、全国のライオンズメンバーが多くの災害支援で活動を行ってきたが、これまでの活動は個人的活動やクラブ単体によるもので、ライオンズクラブのネットワークや大きな力が効果的に発揮されていない側面もあった。この問題を解決するため 2018 年北海道胆振東部地震以降、日本ライオンズにアラート委員会が設置され、全国の複合地区・準地区が連携し効果的に災害活動を行うため、アラート活動における規約整備やライオンズメンバーの意識高揚を図るため、これまで兵庫、宮城、広島、千葉、福岡、岡山で全国アラートフォーラムが開催されてきた。

2025 年は「関東・東北豪雨」により茨城県常総市で鬼怒川が決壊し、市内3分の1が浸水、家屋 1600 棟が全半壊し大きな被害をうけてから 10 年経過した茨城で「全国アラートフォーラム 2025」を開催します。

【主 催】 一般社団法人 日本ライオンズ アラート委員会

【主 管】 ライオンズクラブ国際協会 MD333

【開催日】 2025 年 3 月 14 日(金) 【受付】 12:10 から

フォーラム 13:00～16:30 水戸市民会館 (029-303-6226)

ユードムホール(客席 482 席)

茨城県水戸市泉町1丁目7-1

交 流 会 18:00～20:00 ホテル ウェストヒルズ (029-303-5111)

茨城県水戸市大工町1丁目2-1

【事業費】 登録料により実施。日本 LC、複合・準地区からの拠出は無いものとする。

フォーラム登録料 2500 円 ※ノンライオンのフォーラム登録料は徴収しない(無料)

交流会登録料 7500 円

※フォーラム・交流会参加者 登録料合計 10,000 円(事業予算想定 3,200,000 円)

【参加対象】 フォーラム ライオンズメンバー、ノンライオン(一般ほか関係者等)

※一般ほか関係者等は、一般聴衆者、社協ほか行政関係、他団体等

交 流 会 ライオンズメンバー

【動員想定数】 フォーラム (500 人) 交流会 (300 人) ※岡山フォーラム実績より

【会場収容数】 フォーラム (水戸市民会館 中ホール 500 人(主催者含む))

交 流 会 (ホテル ウェストヒルズ 350 人)

全国アラートフォーラム タイムスケジュール



主 催 一般社団法人 日本ライオンズ

開催日時 2025年 3月14日（金） 13:00～16:30

開催場所 水戸市民会館（茨城県水戸市泉町1-7-1 029-303-6226）

定刻	所要時間	内容	出演者・担当
13:00	0:03	オープニング映像	
13:03	0:03	進行説明	司会 主管実行委員会 桜井 政利
13:06	0:04	開会のことば	日本LC MD333 蓼沼委員長
13:10	0:05	日本ライオンズ 理事長挨拶	日本LC 理事長 松浦 淳一
13:15	0:03	日本ライオンズ 委員長挨拶	日本LC アラート委員会 新里委員長
13:18	0:03	歓迎のご挨拶	MD333 佐藤議長
13:21	0:02	進行説明	司会 主管実行委員会 桜井 政利
13:23	0:22	講 演 備えるべき大災害	高橋 靖 水戸市長
13:45	0:25	災害支援活動において重要なこと	岡山みらい 藤井（日本Alert 副委員長）
14:10	0:25	講 演 大災害から復興の道	神達たけし 常総市長
14:35	0:15	休 憩	
14:50	0:30	講 演 備えるべき大地震	防災科学技術研究所
15:20	0:20	体験談 能登地震に遭遇して	能登LC 山本ZC
15:40	0:50	パネルディスカッション	コーディネーター 若林 水戸葵(MD333班長)
			パネラー佐々木 大阪若獅子(日本全域リーダー)
			パネラー木村 青森zero(東日本エリアリーダー)
			パネラー里美 山形アカデミア(MD332班長)
16:30	0:40	閉会のことば	日本アラート委員会 池原アドバイザー MD336

<メンバー交流会>

ホテル ウェストヒルズ 茨城県水戸市大工町 1 - 2 - 1 TEL 029-303-5111

開会 18:00 閉会 20:00

2025 全国アラートフォーラム in 茨城 予算（案）

開催日時 2024年 3月14日（金） 13:00～16:30

開催場所 水戸市民会館（茨城県水戸市泉町1 - 7 - 1）

動員計画 フォーラム 500人 メンバー交流会 300人 【※1】 下部備考

【収入の部】

項目	数量	単位	単価	合計	備考
登録料 フォーラム	380	人	2,500	950,000	固定費予算
登録料 メンバー交流会	300	人	7,500	2,250,000	
収入合計（A）				3,200,000	

【支出の部】

項目	数量	単位	単価	合計	備考
会場費 ホール	1	室		48,600	
会場費 楽屋 401,402,403	3	室	800	2,400	
会場設営費 看板代	1	式		100,000	
会場設営費 施設備品料	1	式		100,000	
会場設営費 運営備品	1	式		100,000	
オープニング映像	1	式		50,000	
印刷費	1	式		50,000	
会議費	1	式		50,000	
講師謝礼金	6	人	30,000	180,000	681,000 固定費計
懇親会費	300	人	7,500	2,250,000	
支出合計（B）				2,931,000	
予備費（繰越金）				269,000	
収支合計（A）-（B）				3,200,000	

■ 損益分岐点(C)÷(D)	272 人	フォーラム参加者数
固定費支出(C)	681,000 円	
フォーラム登録料(D)	2,500 円	

※1. 実施上の動員想定はフォーラム500人、交流会350人であるが、予算上の計画人数はフォーラム380人、交流会300人として算出している。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

2024 年 11 月

2024-2025 年度

複合地区協議会議長 各位

地区ガバナー 各位

一般社団法人 日本ライオンズ

2024-2025 年度 理事長 松浦 淳一

アラート委員会 委員長 新里 正雄

「2025 年全国アラートフォーラム in 茨城」開催のご案内

拝啓 晩秋の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

毎年開催されております「全国アラートフォーラム」ですが、2025 年は MD333（茨城県水戸市）で開催させていただきます。

近年「地震・台風（大雨）」等による大規模な災害が発生し、いつ、どの地方で災害が起きてもおかしくない状況のなかで、わたしたちライオンズクラブはこれからの災害にどう備えるべきか、災害に対し何ができるのかということをお感じいただくフォーラムとして開催させていただきます。“梅香るまち水戸”で皆さまのご参加をお待ちしております。

敬具

記

【開催日程】 2024 年 3 月 14 日（金）

（フォーラム） 開会 13:00 閉会 16:30 水戸市民会館 ユードムホール
（茨城県水戸市泉町 1 - 7 - 1 TEL 029-303-6226）

（会員交流会） 開会 18:00 閉会 20:00 ホテル ウェストヒルズ
（茨城県水戸市大工町 1 - 2 - 1 TEL 029-303-5111）

【登録方法】 事前登録 Web ページより ※フォーラム参加申込専用ページ

<https://aaaaaaaaabbbbbbbbbbbbbbccccccccccccc>

【登録料】 フォーラムのみ参加 2,500 円

フォーラム・交流会 10,000 円（フォーラム 2500 円、交流会 7500 円）

【振込先】 ○○銀行○○支店 普通 00000000 口座名 2025 アラートフォーラム茨城

【申込締切】 2025 年 1 月 31 日まで

※ご宿泊について（自己手配）3 月は梅の名所「偕楽園 梅まつり」の開催期間中となります。
ホテル混雑が予想されますので、ご宿泊手配は早めの手配をお勧めいたします。
キャンセル（ご返金）は「2 月 20 日まで」のお申し出までとさせていただきます。

☆フォーラムについてのお問合せは、下記の連絡先までお問合せください。

全国アラートフォーラム茨城実行委員会 E メール alert-f2025-ibaraki@minatobousai.co.jp

FAX 029-219-5021 主管実行委員会 植田 佳男 090-2557-6887

以上

主催委員会（計画）一般社団法人 日本ライオンズ

開催地委員会（主管）ライオンズクラブ国際協会 MD333

大会委員長
L新里 正雄 MD337

大会長
L松浦 淳一 MD331

大会副委員長
L藤井 信英 MD336

大会アドバイザー
L池原 堅 MD336

計画委員長
L木村 知紀 MD332

実行委員長
L佐々木健太 MD335

計画副委員長
L畑中 隆之 MD336

事務局長
L増澤 義治 MD334

計画委員長補佐
L蓼沼 一弘 MD333

委員
L大屋 保 MD330

委員
L浅野 敬一 MD331

委員
L門馬 弘 MD332

計画サポート委員
L吉田 正義 MD334 L西尾 義典 MD335
L西尾 慎一 MD336 L高野 裕子 MD337

実行委員長
L蓼沼 一弘 MD333

開催地大会議長
L佐藤 裕幸 MD333

アドバイザー
L佐々木健太 MD335

アドバイザー補佐
L木村 知紀 MD332

アドバイザー補佐
L畑中 隆之 MD336

アドバイザー補佐
L若林 純也 MD333

事務局長	L寺田 英俊	333-E
副事務局長	L植田 佳男	333-E
総務部会長	L泉田 厚	333-A
総務副部会長	L桜井 政利	333-E
フォーラム部会長	L鈴木 國勝	333-B
フォーラム副部会長	L石井 慎太郎	333-E
交流部会長	L澤柳 頼樹	333-C
交流副部会長	L内田 潤一	333-D

計画サポート委員（オブザーバー）MD330～MD337 班長

2024-25 年度 第 1 回アラート委員会 議事録

日時：8 月 23 日（木）10：00-12：00 ZOOM システム

出席者

2024-25年度 理事長	松浦 淳一	(岩見沢はまなすLC)
2024-25年度 専務理事	中谷 豊重	(岸和田LC)
2024-25年度 アラート委員会委員長	新里 正雄	(沖縄LC)
2024-25年度 アラート委員会副委員長	藤井 信英	(岡山みらいLC)

2024-25年度 日本ライオンズ アラートチーム

アラートアドバイザー	池原 堅	(福山久松LC)
全域統括リーダー	佐々木 健太	(大阪若獅子LC)
東日本統括リーダー	木村 知紀	(青森ZERO LC)
西日本統括リーダー	畑中 隆之	(岡山みらいLC)

2024-25年度 アラート委員

MD330委員	大屋 保	川越LC)
MD331委員	浅野 敬一	(北見中央LC)
MD332委員	門馬 弘	原町LC)
MD333委員	蓼沼 一弘	(葛生LC)
MD334委員	吉田 正義	(榛南LC)
MD335委員	西尾 良典	(大阪北LC)
MD336委員	西尾 慎一	(鳥取LC)
MD337委員	高野 裕子	(熊本平成LC)
MD333アラート班長	若林 純也	(水戸葵LC)
日本ライオンズ 事務長	増澤 義治	(諏訪湖LC)

議案 1 アラート委員会の基本方針と方針について

新年度組織図について、佐々木全域リーダーから説明が行われた。

複合地区の委員長が日本ライオンズアラート委員会の委員であり、副委員長が班長となる。

複合地区・地区との関係について

昨年度は準地区の委員長とは別に準地区に副班長を置いていた。

今期から来期のアラート委員会に置いて準地区の委員長が副班長を兼任することが昨年のアラート委員会で決議されている。

副班長はアラート定例会議には招集しない。

複合地区においてアラート会議を開催し、班長、副班長と日本ライオンズのアラート委員会の情報を共有する。

議案 2 各地区災害対策活動報告について

能登半島地震及び各地での災害支援活動の報告

藤井副委員長より報告があった。

発生から 8 か月たったが現状、まだ輪島や珠洲市においてはまだ手の付けられていないところが多くある。複合地区として吉田委員が毎週現地に行き、社会福祉協議会と調整をしながら 9 月いっぱいまで炊き出しや片づけのボランティア。

被災者、被災地の自立のため 10 月 6 日でいったん終了する予定である。

佐々木全域リーダーより報告

前年度からの引き継事項である能登ベースについての決済の資金の件はリーダーが預かっている。

9 月末にベースキャンプから撤退する予定。

10 月以降については現地の 7 クラブから支援要請の意見をくみ上げる。

議案 3 今年度委員会・全体会議および研修会スケジュールについて

佐々木全域リーダーより報告

社団の会議については 9 月以降に連絡する。

全体会議について班長も入れて開催したい。

研修会については東と西の統括リーダーに任せる。東と西に分かれて、委員班長、全員参加できるよう日程等の調整を行って行く。

議案 4 2025 年 3 月 全国アラートフォーラム茨城について

(2025/3/14 (金) 午後茨城県水戸市 水戸市民会館 懇親会開催予定)

クラブ 3 役や地域のリーダーにはぜひ沢山の参加をお願いしたい。

Forum については参加上限が 500 人、懇親会は 300 人とする。

組織については前年に倣い、東西で計画・実行委員に分ける。計画委員長を木村東日本リーダー、実行委員長を佐々木統括リーダーとする予定。組織図は次回検討し、予算については現地より提出を頂く。

議案 5 その他

出欠については必ず日本ライオンズへ提出をお願いする。

各 MD より計画・活動報告について

■MD330

災害発生時に迅速に対応するため、MD・地区組織図と連絡網を整備。南海トラフ警報など日本中で災害への不安が高まっておりアラートのあるべき姿と方向性について意見を纏めたい。

能登半島支援では現地への義援金・物資の他炊き出しを行った。MD 内の ID/PID にも出

来るかぎりズの調査の意味でも出来るだけ現地での支援に参加する予定である。

■MD331

反省を生かし、動ける組織作りを目指したい。アラートの東西リーダーも組織図へ入れたい。

■MD332

まずは正式に引き継会を行い、組織図と規約を整備する。規約には災害時発生時の対応や資金の流れも盛り込み、定期会議を開催する予定。

■MD333

まずは複合内でアラート活動について十分な認識を持っていただく。

次回アラートフォーラムへ向け講演会なども行っていきたい。

支援の例としては 333-B 地区と能登の被災地と連絡を密に取り合い、お米 1.5 トンを支援。

■MD335

MD よりアラートの意識を高めるための文書を D G に提案予定。地区のアラート委員と D G の温度差をなくし足並みを揃えていくのが目的。MD にて模範となるガイドラインを作成し地区でも整備を頂く。また、支援物資など、地区内の企業も巻き込んでいくつもりである。

■MD336

災害支援用積立資金と運営規定は地区にはあるが MD としては無く、今年度一年で災害発生時に MD と地区がどのように連携し支援を行うかについて明確な規定を作りたい。

■MD337

7 月末に全体会議を開催。8 月に発生した宮城県地震でも効果があった。MD/地区とも災害支援資金がある。現在 E 地区では社協・熊本県と災害発生時の提携について打合せの準備中である。

■木村東日本統括リーダーより

前期行う予定であった東日本全体の計画について説明。全国で組織体制や災害発生時の動き方など統一できればと思う。

・公益財団法人日本ライオンズ 災害支援について

増澤事務長より口頭で報告。8 月に国より災害支援事業の認可が下りたばかりである。今後財団の理事会で規定を出してゆき、災害支援についても理解を頂く予定。

以上

議事録作成人

MD331 委員 浅野 敬一

MD335 委員 西尾 良典

2024-2025 年度

第 2 回アラート会議 (WEB) 次第

2024 年 9 月 27 日 (金) 10:00-12:00 ZOOM システム

- ・開会宣言 24-25 年度 アラート委員会委員長 新里 正雄
- ・一般社団法人日本ライオンズ 24-25 年度理事長ご挨拶 松浦 淳一
- ・出席者の確認
- ・議事録作成人 (2 名) の指名
- ・議 案：
 - 1. 緊急議案：能登豪雨・洪水被害について …資料 1
 - 2. 能登ベースの今後について
 - ・決算途中報告について
 - ・今後の運営について
 - 3. アラートフォーラム茨城 (2025 年 3 月 14 日) について …資料 2
 - ・開催および運営・組織図について
 - 4. 今後の予定について
 - ・全体会議開催について
 - ・アラート研修会について
 - 4.その他
 - ・活動報告等
- ・閉会の辞 24-25 年度 アラート委員会副委員長 藤井 信英

第1回 MD336 アラート委員会 議事録

開催日時：2024年9月20日（金）14：30～16：30

開催場所：336 複合地区ガバナー協議会事務局

開催形式：REAL

出席者：下記の通り（敬称略）

	役 職	氏 名	出欠
1	ガバナー協議会議長	藤井 信英	○
2	担当ガバナー (A 地区ガバナー・ガバナー協議会副議長)	石井 淑雄	○
3	複合地区アラート委員会委員長	西尾 慎一	○
4	（一社）日本ライオンズアラート委員会 西日本統括リーダー	畑中 隆之	○
5	複合地区アラート委員会副委員長	廿日出 一晴	○
6	A 地区アラート委員会委員長	出射 隆文	○
7	B 地区アラート委員会委員長	石井 浩二	○
8	C 地区アラート委員会委員長	鳴輪 幸治	欠
9	D 地区アラート委員会委員長	中川 和昌	欠
10	複合地区ガバナー協議会事務局運営委員会委員長 ※オブザーバー	松岡 哲也	○

司会進行：複合地区アラート委員長 西尾 慎一

議事

1. 開会挨拶：ガバナー協議会 議長 藤井 信英
2. 出席者自己紹介
3. 議 題

議題審議に先立ち、西尾委員長は資料「2024-2025 MD アラート委員会アクションプラン」を提示し、本年度の委員会の方針、目標について、資料に基づき説明した。

議題審議

①組織について

西尾委員長は資料「（一社）日本ライオンズ・アラート委員会 24-25 組織図」、「2024-2025 年度 MD336 アラート委員会組織図」を提示し、本年度の日本ライオンズ並びに MD336 アラート委員会の組織体制について説明した。加えて、各準地区においても未整備の場合には早急に各準地区委員長を中心とする組織体制を確立するよう、又、組織内での連絡がスムーズに行えるようにグループラインを有効活用するよう要望した。

②資金規程・活動規定について

西尾委員長は参考資料「一般社団法人日本ライオンズ・アラート委員会運営規則」、「ライオンズクラブ国際協会 336-B 地区アラート委員会活動規程」、「336 複合地区緊急援助資金規程」、「ライオンズクラブ国際協会 336-B 地区緊急援助資金規定」を提示、日本の各地で災害が頻発している現状を鑑み、支援・受援体制を含め 336 複合地区でのアラート時の活動規定を整備したい旨を述べ、出席者一同これに賛同した。

又、336 複合地区緊急援助資金規程については、MD の会則委員会で検討中の条文の変更案について説明した。

③今後の委員会スケジュールについて

西尾委員長は、今後、2 ヶ月に 1 回程度のペースで委員会を開催したい旨、又、開催方法はハイブリッド形式で行いたいと提案、叱責者一同、これを承認した。

尚、次回の委員会を 11 月 20 日（水）15 時に行う事で決定した。

④その他

西尾委員長は昨年度に各準地区にアンケート形式でお願いした資料「災害時における備蓄対応についての調査とご意見」を提示し、夫々参考にして欲しい旨述べた。

また、336-A 地区出射委員長より提出の 336-A 地区アラートセミナー開催についての資料を提示し、都合がつけば参加いただきたいと述べた。

4. 閉会挨拶：担当ガバナー（ガバナー協議会副議長）石井 淑雄

議事録作成者 西尾慎一

(国際付則第9条第4項 参照)

(国際付則第9条第4項の規定に伴う)

- 報告事項 P63 -

第一副地区ガバナー候補者略歴

(国際付則第9条第6項(b)参照)

ライオンズクラブ 入 会 日	年 月 日		
正 会 員	年 月 日	チャーター・ メ ン バ ー	年 月 日
受 賞 の 有 無	出 席 賞		
	キ ー 賞		
	シェブロン賞		
	そ の 他		
結 婚 の 有 無		子 供 の 数	人
(ふりがな) 配 偶 者 氏 名			
趣 味			

第一副地区ガバナー候補者の資格条件

(国際付則第9条第6項(b)の規定に伴う)

- a. グッド・スタンディングの正会員である。 はい いいえ
- b. 所属クラブで推薦した例会開催日 年 月 日
- c. (1) 所属クラブ会長 ～ 年度
理事会構成員 ～ 年度
- (2) 第二副地区ガバナー ～ 年度
- (3) ゾーン・チェアパーソン ～ 年度
リジョン・チェアパーソン ～ 年度
() コーディネーター ～ 年度
キャビネット幹事 ～ 年度
キャビネット会計 ～ 年度
その他の地区キャビネット構成員 役職
～ 年度

第二副地区ガバナー候補者略歴

(国際付則第9条第6項(c)参照)

ライオンズクラブ 入 会 日	年 月 日		
正 会 員	年 月 日	チャーター・ メ ン バ ー	年 月 日
受 賞 の 有 無	出 席 賞		
	キ ー 賞		
	シ ョ ブ ロ ン 賞		
	そ の 他		
結 婚 の 有 無		子 供 の 数	人
(ふりがな) 配 偶 者 氏 名			
趣 味			

第二副地区ガバナー候補者の資格条件

(国際付則第9条第6項(c)の規定に伴う)

- a. グッド・スタンディングの正会員である。 はい いいえ
- b. 所属クラブで推薦した例会開催日 年 月 日
- c. (1) 所属クラブ会長 ～ 年度
- 理事会構成員 ～ 年度
- (2) ゾーン・チェアパーソン ～ 年度
- リジョン・チェアパーソン ～ 年度
- () コーディネーター ～ 年度
- キャビネット幹事 ～ 年度
- キャビネット会計 ～ 年度
- その他の地区キャビネット構成員 役職 ～ 年度

指名委員会チェックリスト

地区ガバナー候補者

各候補者につきこのチェックリストがもれなく記入され、選挙委員会に提出されなければなりません。

候補者氏名： _____

候補者の所属ライオンズクラブ名： _____

指名委員会の会議開催日： _____

投票日： _____

候補者は、下記の要件を満たしていることを立証する十分な証拠を提出している。

- ☐ 候補者は所属単一または準地区内のグッド・スタンディングの正ライオンズクラブ*におけるグッド・スタンディングの正会員である。
- ☐ 候補者は、所属ライオンズクラブの推薦、あるいは地区内の過半数のライオンズクラブの推薦を受けた。
- ☐ 候補者は現在、本地区の第一副地区ガバナーを務めている。

万一現第一副地区ガバナーが地区ガバナーに立候補しない場合、あるいは地区大会開催時に第一副地区ガバナー職が空席である場合、候補者は以下の要件を満たしている。

- ☐ クラブ会長： _____ 務めた年度 _____
- ☐ クラブ理事会 _____ 務めた年度 _____
- ☐ クラブ理事会 _____ 務めた年度 _____
- ☐ 地区キャビネット（1つに印をつける）
 - ☐ ゾーンまたはリジョン・チェアパーソン _____ 務めた年度 _____
またはコーディネーター _____ 務めた年度 _____
 - ☐ キャビネット幹事および（または）会計 _____ 務めた年度 _____
- ☐ 上記に加え、更にもう1年地区キャビネット構成員を務めた。
務めた役職： _____ 務めた年度 _____
- ☐ 上記のいずれも、同時に達成させることはできない。

*所属クラブに滞納金がある場合には、代議員資格証明締め切り時の15日前までに候補者にその旨を通知し、クラブが滞納金を支払えるよう猶予を与えなければならないことにご留意ください。

私はこのチェックリストを確認した上で、上記候補者が国際付則第9条第4項に従い地区ガバナーに立候補する要件を満たしていることを証明いたします。

指名委員会委員長

日付

指名委員会メンバー

日付

指名委員会チェックリスト 第一副地区ガバナー候補者

各候補者につきこのチェックリストがもれなく記入され、選挙委員会に提出されなければなりません。

候補者氏名： _____

候補者の所属ライオンズクラブ名： _____

指名委員会の会議開催日： _____

投票日： _____

候補者は、下記の要件を満たしていることを立証する十分な証拠を提出している。

- ☐ 候補者は所属単一または準地区内のグッド・スタンディングの正ライオンズクラブ*におけるグッド・スタンディングの正会員である。
- ☐ 候補者は、所属ライオンズクラブの推薦、あるいは地区内の過半数のライオンズクラブの推薦を受けた。
- ☐ 候補者は現在、本地区の第二副地区ガバナーを務めている。

万一現第二副地区ガバナーが第一副地区ガバナーに立候補しない場合、もしくは地区大会開催時に第二副地区ガバナー職が空席である場合、候補者は第二副地区ガバナー職に関する以下の要件を満たしている。

- | | | |
|---|-------|-------|
| ☐ クラブ会長： | 務めた年度 | _____ |
| ☐ クラブ理事会 | 務めた年度 | _____ |
| ☐ クラブ理事会 | 務めた年度 | _____ |
| ☐ 地区キャビネット（1つに印をつける） | | |
| ☐ ゾーンまたはリジョン・チェアパーソン | | |
| またはコーディネーター | 務めた年度 | _____ |
| ☐ キャビネット幹事および（または）会計 | 務めた年度 | _____ |
| ☐ 上記のいずれも、同時に達成させることはできない。 | | |

*所属クラブに滞納金がある場合には、代議員資格証明締め切り時の15日前までに候補者にその旨を通知し、クラブが滞納金を支払えるよう猶予を与えなければならないことにご留意ください。

私はこのチェックリストを確認した上で、上記候補者が国際付則第9条第6項（b）に従い第一副地区ガバナーに立候補する要件を満たしていることを証明いたします。

指名委員会委員長

日付

指名委員会メンバー

日付

指名委員会チェックリスト 第二副地区ガバナー候補者

各候補者につきこのチェックリストがもれなく記入され、選挙委員会に提出されなければなりません。

候補者氏名： _____

候補者の所属ライオンズクラブ名： _____

指名委員会の会議開催日： _____

投票日： _____

候補者は、下記の要件を満たしていることを立証する十分な証拠を提出している。

- ☐ 候補者は所属単一または準地区内のグッド・スタンディングの正ライオンズクラブ*におけるグッド・スタンディングの正会員である。
- ☐ 候補者は、所属ライオンズクラブの推薦、あるいは地区内の過半数のライオンズクラブの推薦を受けた。
 - ☐ クラブ会長： _____ 務めた年度 _____
 - ☐ クラブ理事会 _____ 務めた年度 _____
 - ☐ クラブ理事会 _____ 務めた年度 _____
 - ☐ 地区キャビネット（一つに印をつける）
 - ☐ ゾーンまたはリジョン・チェアパーソン
またはコーディネーター _____ 務めた年度 _____
 - ☐ キャビネット幹事及び/又は会計 _____ 務めた年度 _____
 - ☐ 上記のいずれも、同時に達成させることはできない。

*所属クラブに滞納金がある場合には、代議員資格証明締め切り時の 15 日前までに候補者にその旨を通知し、クラブが滞納金を支払えるよう猶予を与えなければならないことにご留意ください。

私はこのチェックリストを確認した上で、上記候補者が国際付則第 9 条第 6 項（c）に従い第二副地区ガバナーに立候補する要件を満たしていることを証明いたします。

指名委員会委員長

日付

指名委員会メンバー

日付

20 年 月 日

336- 地区ガバナー

殿

R Z ライオンズクラブ

会長署名

地区ガバナー候補者資格所持者の報告書

資格者氏名

上記会員の国際付則第9条第4項に該当するライオン歴は下記の通りです。

記

クラブレベル（理事会構成員は会長就任の前後の年度いずれも可）

- ① 年 ～ 年度 クラブ会長
② 年 ～ 年度
③ 年 ～ 年度

地区レベル（③④⑤は該当役職に○をつける。⑥⑦は該当役職名を記入する。）

- ① 年 ～ 年度 第一副地区ガバナー
② 年 ～ 年度 第二副地区ガバナー
③ 年 ～ 年度 ZC・RC・コーディネーター・クラブネット幹事・クラブネット会計
④ 年 ～ 年度 ZC・RC・コーディネーター・クラブネット幹事・クラブネット会計
⑤ 年 ～ 年度 ZC・RC・コーディネーター・クラブネット幹事・クラブネット会計
⑥ 年 ～ 年度
(複合地区会則第17条1(b)による委員長名)
⑦ 年 ～ 年度
(複合地区会則第17条1(c)による役職名)

20 年 月 日

336- 地区ガバナー

殿

R Z ブ

ライオンズクラ

会長署名

第一副地区ガバナー候補者資格所持者の報告書

資格者氏名

上記会員の国際付則第9条第6項(b)に該当するライオン歴は下記の通りです。

記

クラブレベル(理事会構成員は会長就任の前後の年度いずれも可)

- ① 年 ～ 年度 クラブ会長
② 年 ～ 年度
③ 年 ～ 年度

地区レベル(②③④は該当役職に○をつける。⑤⑥は該当役職名を記入する。)

- ① 年 ～ 年度 第二副地区ガバナー
② 年 ～ 年度 ZC・RC・コーディネーター・キャビネット幹事・キャビネット会計
③ 年 ～ 年度 ZC・RC・コーディネーター・キャビネット幹事・キャビネット会計
④ 年 ～ 年度 ZC・RC・コーディネーター・キャビネット幹事・キャビネット会計
⑤ 年 ～ 年度

(複合地区会則第17条1(b)による委員長名)

- ⑥ 年 ～ 年度
(複合地区会則第17条1(c)による役職名)

20 年 月 日

336- 地区ガバナー

殿

R Z ブ

ライオンズクラ

会長署名

第二副地区ガバナー候補者資格所持者の報告書

資格者氏名

上記会員の国際付則第9条第6項(c)に該当するライオン歴は下記の通りです。

記

クラブレベル (理事会構成員は会長就任の前後の年度いずれも可)

- ① 年 ～ 年度 クラブ会長
② 年 ～ 年度
③ 年 ～ 年度

地区レベル (①②③は該当役職に○をつける。④⑤は該当役職名を記入する。)

- ① 年 ～ 年度 ZC・RC・コーディネーター・キビネット幹事・キビネット会計
② 年 ～ 年度 ZC・RC・コーディネーター・キビネット幹事・キビネット会計
③ 年 ～ 年度 ZC・RC・コーディネーター・キビネット幹事・キビネット会計
④ 年 ～ 年度 (複合地区会則第17条1(b)による委員長名)
⑤ 年 ～ 年度 (複合地区会則第17条1(c)による役職名)

(2024-2025 年度)

第 1 回会則委員会 (対面+web) 議事録

日 時： 2024 年 8 月 2 日 (金) 15:00-17:00

場 所： 日本ライオンズ事務局+ZOOM システム

出 席 者：

一般社団法人日本ライオンズ：

理事長	まつうら じゅんいち 松浦 淳一	(岩見沢はまなす LC)
-----	---------------------	--------------

副理事長	さわ たつみ 澤 辰水	(下関 LC)
------	----------------	---------

副理事長	き た ともかず 喜多 友一	(城南上田 LC)
------	-------------------	-----------

委員長 (MD335 前協議会議長)

専務理事	なかたに とよしげ 中谷 豊重	(岸和田 LC)
------	--------------------	----------

副委員長 (MD337 協議会議長)	はま だ こうへい 濱田 浩平	(長崎南 LC)
--------------------	--------------------	----------

各複合地区会則委員：

3 3 0 複合地区	もりかわ めいじろう 森川 明治郎	(西入間 LC)
------------	----------------------	----------

3 3 1 複合地区	さ さ き ただやす 佐々木 忠康	(小樽 LC) 【WEB】
------------	----------------------	---------------

3 3 2 複合地区	あらかわ ともなり 荒川 友成	(郡山西 LC)
------------	--------------------	----------

3 3 3 複合地区	いわぬま ただし 岩沼 忠伺	(千葉ネオ LC)
------------	-------------------	-----------

3 3 4 複合地区	やまもと もとひろ 山本 基博	(恵那 LC)
------------	--------------------	---------

3 3 5 複合地区	こ か じ まさあき 小鍛冶 正明	(奈良西 LC)
------------	----------------------	----------

3 3 6 複合地区	まつおか りょう 松岡 諒	(福山久松 LC) 【WEB】
------------	------------------	-----------------

3 3 7 複合地区	たか の まさかつ 高野 正勝	(佐賀葉がくれ LC)
------------	--------------------	-------------

オブザーバー：

日本ライオンズ法律顧問	いけだ こうじ 池田 和司	(東京桜門 LC)
-------------	------------------	-----------

日本ライオンズ事務長	ますざわ よしはる 増澤 義治	(諏訪湖 LC)
------------	--------------------	----------

- ① 開会宣言 理事長 松浦淳一より開会宣言
- ② 開会挨拶 会則委員長 中谷豊重
- ③ 出席者の出席確認と自己紹介 別紙参照
- ④ 議事録作成人の指 MD332 委員 荒川友成 MD333 委員 岩沼忠伺

議案 1：前年度からの申し送り事項の確認

- ① コンプライアンス規定に関する各複合地区の取り組みについて
 - ・パイロットプログラムとして1年取り組む地区や今後検討する地区など各地域での取り組みが報告された。
- ② 定款の改正について
 - ・文言の修正などをはじめ、現在の運用に適合する定款へ改正する中谷委員長作成案を元に、次回委員会にて意見をお伺いする。最終的には社員総会での決議となる。

議案 2：2024-2025 年度版 ライオンズ必携及び役員必携の編集発行について

- ・昨年度はボストン大会での多くの会則変更の反映の必要があり会員に早く届けるため、変更について事前承認として発行を行ったと説明。年次大会へ向け地区内での承認を得るため、第3回キャビネット会議までに欲しいという要望あり。
- ・改正をリアルタイムに反映できるように、デジタル版活用も検討したい。
- ・前会則委員長松本ライオンにオブザーバーとして、必携及び役員必携作成のお手伝いをしていただくことを了承。

3.次回開催日程について

2024 年 9 月 10 日（火）時間 15：00－17：00 web 開催

4.閉会の挨拶

会則委員会副委員長 濱田 浩平

以上
議事録作成人；

3 3 2 複合地区委員長

荒川 友成

3 3 3 複合地区委員長

岩沼 忠伺

2024～2025 年度

336 複合地区第 1 回会則および付則・運営マニュアル編集委員会 議事録

日時：2024 年 9 月 6 日（金）15：30～17：30

場所：336 複合地区ガバナー協議会事務局

形式：ハイブリッド

岡山市北区厚生町 3-1-15 岡山商工会議所 6F

TEL：086-234-0695

出 欠

役 職	氏 名	会議	懇親会
ガバナー協議会議長	藤井 信英	○	○
世話人 C 地区ガバナー	鳴戸 大二	欠	
委員長	松岡 諒	○	○
副委員長	一宮 昭夫	○	○
336-A 地区委員長	大河内 孝	○	○
336-B 地区委員長	西尾 慎一	○	○
336-C 地区委員長	高重 洋介	欠	
336-D 地区委員長	今井 久師	WEB	欠
ガバナー協議会事務局運営委員会委員長	松岡 哲也	○	○

司会進行：松岡会則委員長

1 開会挨拶 藤井議長

2 議題

①コンプライアンス委員会について

松岡委員長より、コンプライアンス規程・コンプライアンス委員会設置の経緯について説明。コンプライアンス委員会を常設ではなく、問題が起きた場合に設置すること、コンプライアンス委員会については第三者的立場の会員が委員になること、相談窓口を議長にすること（議長が当事者の場合は副議長とすること）、通報があった後の手順などが議論された。

議論の結果、別添のコンプライアンス規程とすることで合意し、ガバナー協議会に上程することとした。

②運営マニュアルについて

次のとおり、役割分担し、次回委員会までに運営マニュアルの加除修正点をチェックすることとした。なお、運営マニュアルについて紙媒体で発行するかどうかについては継続協議となった。

クラブの章の 1 頁～30 頁	今井委員
クラブの章の 31 頁～60 頁	大河内委員
地区の章の 1 頁～42 頁	松岡委員長
地区の章の 43 頁～84 頁	高重委員
複合地区の章全て	一宮副委員長
国際関係の章全て	西尾委員

③各種規則について

別添のとおり、各種規則の改正案をまとめた。

ガバナー協議会に上程する。

なお、緊急援助資金規程については最終的に複合地区年次大会の承認が必要。

3 閉会挨拶 西尾委員長

次回委員会 2024 年 10 月 15 日 15：30～17：30

議事録作成人

松岡 諒

2024～2025 年度
336 複合地区第 2 回会則および付則・運営マニュアル編集委員会 議事録

日時：2024 年 10 月 15 日（火）15：30～17：30

場所：336 複合地区ガバナー協議会事務局

形式：対面

岡山市北区厚生町 3-1-15 岡山商工会議所 6F

TEL：086-234-0695

出 欠

役 職	氏 名	会議	懇親会
ガバナー協議会議長	藤井 信英	○	○
世話人 C 地区ガバナー	鳴戸 大二	欠	
委員長	松岡 諒	○	○
副委員長	一宮 昭夫	○	○
336-A 地区委員長	大河内 孝	○	○
336-B 地区委員長	西尾 愼一	○	○
336-C 地区委員長	高重 洋介	欠	
336-D 地区委員長	今井 久師	○	○
ガバナー協議会事務局運営委員会委員長	松岡 哲也	○	○

司会進行：松岡会則委員長

1 開会挨拶 藤井議長

2 議題

①日本ライオンズ会則委員会の活動報告

松岡委員長より、日本ライオンズ会則委員会の活動報告があった。

②運営マニュアルについて

各章の担当委員が、加除修正箇所を指摘し、改稿作業を行った。

なお、各委員には所属準地区の地区費、地区大会費、2024 年 12 月末時点のリジョン、ゾーン構成や会員数を委員長に報告することが求められた。

次回委員会までに、委員長が担当委員の指摘のとおり運営マニュアルを修正し、次回の委員会で確認することとなった。

紙媒体で発行するかどうかは、ガバナー協議会の決定に従う。

3 閉会挨拶 西尾委員

次回委員会 2025 年 1 月 20 日 15：00～（Web 形式）

次々回委員会 2025 年 3 月 21 日

議事録作成人 松岡 諒

2024～2025 年度

第1回青少年・ライオンズクエスト・薬物乱用防止・平和ポスター委員会 議事録

日時：2024年9月6日（金）13：00～14：30

形式：WEB

出欠

役 職	氏 名	出
ガバナー協議会議長	藤井 信英	○
世話人	三口 巖	○
委員長	春木 扶佐子	○
副委員長	小沢 恭介	○
336-A 地区委員長	曾根 昭一	欠
336-B 地区委員長	小川 太郎	○
336-C 地区委員長	沼田 聖	○
336-D 地区委員長	川口 栄実	○

司会進行：小沢副委員長

1. 開会挨拶 春木委員長

第1回目の本日は各準地区委員長に自己紹介と活動方針の説明をお願いします。
B地区、C地区は本委員会の対象が2つの委員会に分かれているため、
B地区の山田委員長と、C地区の松坂委員長には、議事録にて共有いたします。
議事録作成は、小沢副委員長を指名。

2. 議長挨拶 藤井議長

皆様方と一緒にライオンズクエストの理解を深めていきたいと思ひます。
限られた時間ですが、宜しくお願い致します。

3. 講師紹介

青少年育成支援フォーラム事務局長 馬淵様 後ほど ご講演宜しくお願い致します。

4. 各準地区委員長 自己紹介並びに地区の活動について

小川太郎 336-B 地区 YCE・青少年健全育成・LQ 委員長

ライオンズクエスト、青少年健全育成の活動をあらためて勉強させていただきたいと思ひ
参加させて頂いております。

沼田聖 336-C 地区 青少年健全育成（クエスト・薬物乱用防止）レオ委員長

薬物乱用防止教育認定講師養成講座を 9/14 広島西部、9/15 福山にて予定しています。

ライオンズクエストワークショップ 9/28 広島西部、9/29 福山にて開催準備しています。

ライオンズクエストワークショップの参加人数が苦戦しているが、締切りを延長して参加
者を募りたい。

川口栄実 336-D 地区 青少年健全育成・ライオンズクエスト委員長

薬物乱用防止教室の講師の派遣を各クラブの認定講師にて準備しています。

薬物乱用防止教育認定講師養成講座を 10/19 島根、10/20 山口にて開催準備しています。

「ダメ。ゼッタイ」登り旗を作成したので D地区全クラブに配布予定。

ライオンズクエストについては、D地区全クラブにライオンズクエストのパンフレットを
配布。 島根県教育委員会より反響ありました。

春木委員長より

曾根昭一 336-A 地区 青少年・LCIF・ライオンズクエスト委員長 の報告を代読いたします。

- ・ 7/24 第一回委員会を開催。
 - ・ ライオンズクエストワークショップ開催状況
8/9 高松東 LC、 8/20 鳴門 LC 8/23 土佐 LC にて開催。
 - ・ 11/26 第二回委員会を開催予定。
 - ・ 薬物乱用防止教育認定講師養成講座開催について
9/28 6R・7R、 11/4 4R・5R、 12/7 8R・9R、
2025/3/15 3R、 3/16 1R・2R にて開催予定。
 - ・ 平和ポスターコンテストは、ほぼ全クラブが実施予定。
 - ・ 青少年・ライオンズクエスト委員会関連事業のアンケート調査実施。集計結果を報告予定。
- 藤井議長より 336-B 地区薬物乱用防止教育認定講師養成講座の開催予定が補足されました。
- 11/2 倉吉、 11/29 岡山

5. 複合地区委員会 今期の活動について（春木委員長）

ライオンズクエストに関して

A 地区・C 地区は引き続き活動をお願いします。

B 地区・D 地区には、メンバー対象のワークショップを開催し、理解を深め、教員対象のワークショップが開催できるように検討をお願いします。

ライオンズクエスト交付金についても申請について勉強していただいて活用してほしい。

2024年10月1日締切の申請書から変更点がありますので次回委員会で説明する機会を設けたいと思います。

平和ポスターコンテストは、それぞれの準地区の応募作品から1点選考し、11/20 までに複合事務局に送付をお願いします。

6. 青少年育成支援フォーラム事務局長 馬淵様 講演

ライオンズクエスト普及活動について下記の内容で説明がありました。

- ① ライフスキルとは
- ② ライオンズクエストプログラムの基本要素（教材とワークショップ）
- ③ ライオンズクエスト普及活動の内容
- ④ 全国のワークショップ開催状況
- ⑤ ライオンズクエスト普及活動の関係組織（LCIF・ライオンズクラブ・JIYD）
- ⑥ LCIF 交付金について
- ⑦ ライオンズクエスト普及活動の歴史
- ⑧ その他

春木委員長より体験セミナーについて質問

- ・ 体験セミナーは青少年育成支援フォーラムより講師を派遣し、1 時間半～2 時間くらいで開催できるので活用してほしい

ワークショップを検討している学校などで開催している地区が多い

第 2 回青少年・LQ・薬乱防止・平和ポスター委員会 11 月初旬頃開催で日程調整いたします。

7 閉会挨拶 三口世話人

開催する・しないは各地域の子供たちに格差ができる為、働き方改革により、先生方の調整も難しい状況ではあるが、ぜひライオンズクエストプログラムを推進してほしい。計画・準備をたてれば、青少年育成支援フォーラムが全面バックアップをして頂けるので、積極的に動いてほしい。

ライオンズクエストの交付金申請に関しては、キャビネット主導ではなく、各地区の委員長・委員会が行うものである。こちらも馬淵様に申請手続等支援頂ける。来年の夏休み中の開催の為には、2月中に申請しないと間に合わないので、早期に取り組んでほしい。

体験セミナーなど活用しながら、各地区ぜひとも積極的な活動を期待しています。

議事録作成人：

MD336 青少年・ライオンズクエスト・薬物乱用・平和ポスター委員会
副委員長 小沢 恭介

議事録署名人：

MD336 青少年・ライオンズクエスト・薬物乱用防止・平和ポスター委員会
委員長 春木 扶佐子

承認年月日 2024年9月19日

春木 扶佐子

未来ビジョン委員会(案)

2024, 10, 1

未来ビジョン委員会

委員長 池原 堅

未来ビジョン委員会の取組にいて(案)

(2024 年 11 月 7 日委員会資料)

■未来ビジョン委員会について#

※第2回未来ビジョン委員会では具体的に取り組むべき内容を協議し推進します。

少子高齢化、会員減少・グローバル化の進展などの変化が進む中であって、336 複合地区が目指す姿（ライオンズ将来像）を共有し、共に、未来のライオンズクラブづくりを推し進めるために、委員会の目標 3 年・5 年・10 年（短・中・長期）の展望とし策定した委員会としたい。それに加え各地区より精鋭の次世代リーダー育成に趣を置き若手会員が加わり総合的に議論できる仕組み作り、意見交換場として進めて行きたい。(Web 会議を主体としますが対面を希望されれば別途協議したいと思います)

■未来ビジョン委員会の趣旨#

- ① 336 複合地区では、この「未来ビジョン委員会」に基づき、多様な会員の育成や集積など GAT グループ、Mission1.5 と連携し S・M・L 計画を基にあらゆるチームの基礎となる人づくりの実施

《品格ある奉仕人の育成と次世代リーダー育成》

- 資質、品格ある会員の育成と次世代リーダー育成研修会の実施（1～3 年計画）
- 学生・女性会員の入会促進と会員の定着率の向上（1～3 年計画）
- 地域ボランティア団体の連携強化で奉仕クラブの組織拡大（1～5 年計画）
- 国際理事候補者育成も視野に入れ品格ある理事を育成する。（3～5 年計画）
- 薬物乱用防止地区として全国大会を MD336 で開催計画案を立案する。（1～3 年計画）

- ② イノベーションを持続的に創出し会員の資質、品格を生み出す《未来型奉仕団体》

- 奉仕団体として社会的に大きな変化をもたらす自発的な・組織・地域社会への幅広い改革#を意味する。#今までの奉仕団体としての・仕組みに対して新たな考え方を取り入れて新たな価値を生み出し社会的に大きな変化を起こすことを指す。
- 近未来に起きるだろう南海トラフに対応できる地域社会との連携強化と組織づくり

アラート委員会と共に災害発生時における 4 地区連携組織の確立と被災者救援用設備等の推進（1～5 年計画）

○LCIF 献金推進と同時に LCIF 基金の最大限フル活用しアラート委員会と共に災害発生時の避難箇所、避難器具、セクター等への支援金申請も積極的に推進する。（1～5 年計画）

○GMA・GAT・ミツション 1.5 を母体とした新プログラムで準地区・複合地区会員拡大計画の目標達成させる為の長期計画委員会も加わり総合的に共有化し支援する。（1～3 年計画）

○4 地区合同のイベント開催(全委員会関連事業の発案)（1～3 年計画）

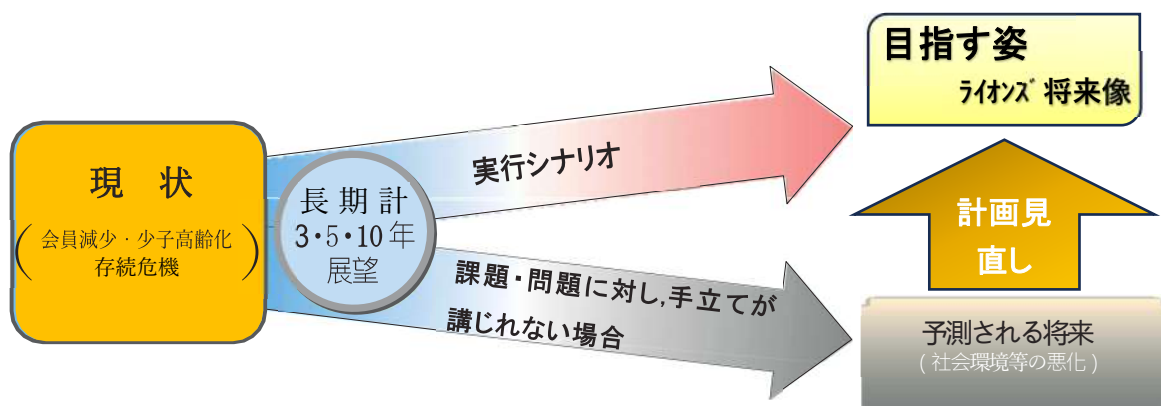
③社会に直結した事業基盤を支える《安心な地域づくりと》

○MD 各委員会は準地区委員会と連携を図り地域社会と共に安心、安全を推進する

○地域社会の医療・介護社会福祉事業・青少年健全育成・環境保全・防災・減災等々公共政策への働きかけ、共にパートナーシップとして取り組みを実行する。

■未来ビジョン委員会の基本ストーリー

計画案として目標 3 年・5 年・10 年（短・中・長期）を展望し、現在、複合地区&準地区が直面している課題や今後、深刻な影響を受けるおそれがある問題に対しては有効な手立てを考え、講じられない場合に予測される将来を明らかにした上で、ライオンズクラブみんなで目指す姿(将来像)を描き、これを実現する取組の方向や戦略を示します。



■未来ビジョン委員会の今後の推進について#

・GAT グループ、Mission1.5 がスタートし、2027 年 6 /末に 150 万人の会員達成に向け結束し各準地区、複合地区とともに目標達成させる上で未来ビジョン委員会は次世代リーダー育成を含め全面的に協力する必要があります。

未来ビジョン委員会は強力で安定した複合地区を目指すことを原点に置きすべての委員会と連携し将来像の描ける推進をします！



2024 年 10 月 1 日

ライオンズクラブ国際協会

336-A 地区ガバナー 石井 淑雄 様

336-B 地区ガバナー 上原 正樹 様

336-C 地区ガバナー 鳴戸 大二 様

336-D 地区ガバナー 神田 義満 様

ライオンズクラブ国際協会 336 複合地区

ガバナー協議会議長 藤井 信英

担当ガバナー 三島 英揮

YCE 委員会委員長 小銭 和明

2024～2025 年度冬期 YCE 実施のご案内

拝 啓 時下ますます清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を鑑み、長期間に渡り延期となっておりましたYCE事業ですが、去る7月25日に開催されました第1回ガバナー協議会にて、今年度冬期に際しましては通常より小規模での実施となりますが、下記要領にて再開されることが承認されました。つきましては、参考資料とご提出必要フォームを添付させていただきます。

時間的に余裕がございませんが、何卒お取り計らいくださいますようお願い申し上げます。

敬 具

記

実施期間：2025 年 1 月 8 日（水）～1 月 25 日（土）

利用空港：関空

※台湾窓口よりフライトスケジュールが届き次第お知らせいたします

台湾生受入のみ 年齢：19～21 歳

※台湾生アプリケーションフォームが届き次第お知らせいたします

受入数：8 名（男子：4 名 女子：4 名） 各地区男女 1 名ずつ

スケジュール概要	
8（水）	関空到着
8（水）～14（火）	MD336 内各地区にてホームステイ
15（水）～17（金）	いぶき里スキーキャンプ 岡山県新見市千屋花見 1336-1 https://www.ibukinosato.co.jp/
17（金）～25（土）	MD336 内各地区にてホームステイ
25（土）	関空出発

来日生受入に関する提出フォーム：

提出締切日：**11 月 29 日（金）** ①～③を複合事務局宛でお送りください

① ホストファミリー名簿

② ホストファミリーフォーム

③ ホストファミリー写真

以 上

次期 336 複合地区 YCE 委員会 議事録

日 時：2024 年 8 月 2 日（金）13：30～15：00 ※接続開始 13：15～
形 式：WEB

出 欠※敬称略

役職	氏名	出欠
協議会議長	藤井 信英	○
MD 世話人	三島 英揮	○
MD 委員長	小銭 和明	○
MD 副委員長	斎藤 明子	○
A 地区委員長	泉川 道広	○
B 地区委員長	小川 太郎	○
C 地区委員長	松坂 伊佐夫	○
D 地区委員長	津森 一正	○
(株)近畿日本ツーリスト中国四国 岡山支店次長	小野 征祥様	○
協議会事務局運営委員長	松岡 哲也	○

司会進行：336 複合地区 YCE 委員会委員長 小銭 和明

1 開会挨拶：協議会議長 藤井 信英

2 議 題 ：台湾生受入に關しての今後の準備

- ・受入期間：18 日間【関空着】1/8（水）～【関空発】1/25（土）
- ・男女 4 名ずつ 計 8 名 ※予定
- ・来日生年齢：15～22 歳
- ・1 地区 2 名の受入 1 人につき、1～3 ホストまででホスト家庭を確保
- ・キャンプ 1/15（水）～17（金） 岡山県新見市 千屋温泉いぶきの里
- ・到着時、出発時送迎は近畿日本ツーリストと委員長数名で引率
ホスト家庭最寄り新幹線駅ホームでホスト家庭への引き渡し、引き受けを行う
- ・来日生送迎時引率に関わる委員長の旅費、近畿日本ツーリスト引率者旅費と
日当については 4 地区で按分する
- ・台湾委員長が初日に同行した場合の歓迎会については中止とする。
- ・台湾から来日生の名簿とアプリケーションフォームが届き次第各地区へ連絡
- ・ホスト家庭選定時、学生のお食料やペットアレルギーに配慮が必要な場合がある
※アプリケーションフォームに記載される
- ・今後、ピッチを上げて進める必要があるため、定期的に WEB 会議を開催する
※次回開催日未定

3 質 疑・その他

4 閉会挨拶：336 複合地区 YCE 委員会世話人 三島 英揮

議事録署名人：336 複合地区ガバナー協議会
議 長 藤井 信英



承認年月日 ：2024 年 8 月 5 日

第 1 回 YCE 委員会 (WEB) 議事録

2024 年 8 月 28 日 10:30-12:00

ZOOM システム

出席者リスト

一般社団法人日本ライオンズ

理事長	まつうら じゅんいち 松浦 淳一	(岩見沢はまなす LC)
専務理事	なかたに とよしげ 中谷 豊重	(岸和田 LC)
YCE 委員会委員長	たなか ゆういち 田中 雄一	(狭山 LC)
YCE 委員会副委員長	ひろた こういち 廣田 晃一	(姫路中央 LC)

24-25 年度 各複合地区 YCE 委員

MD330 委員	みやげ やすお 三宅 泰雄	(東京高輪 LC) 【欠席】
MD331 委員	しげとみ たかふみ 繁富 敬史	(札幌中央 LC)
MD332 委員	ほらぐち かつのり 洞口 勝則	(名取 LC)
MD333 委員	みじかわ きよゆき 藤川 清幸	(前橋中央 LC)
MD334 委員	なかた ゆういち 中田 勇一	(下諏訪 LC)
MD335 委員	だん ひてお 団 英男	(神戸みなと LC)
MD336YCE 世話人	みしま ひでき 三島 英揮	(福山東 LC)(代理出席)
MD337 委員	まつえだ のぶゆき 松枝 伸行	(宇土 LC)

23-24 年度 各複合地区 YCE 委員

MD330 委員	ベイリー ^{くみこ} 久美子	(加須 LC)
MD331 委員	鈴木 ^{よしかず} 善一	(千歳 LC)
MD332 委員	菊池 ^{のりお} 徳男	(北川国見 LC) 【欠席】
MD334 委員	石本 ^{まさゆき} 雅之	(鯖江 LC)
MD335 委員	正岡 ^{あきら} 章	(吹田江坂 LC)
MD336 委員	蔵本 ^{もりお} 守雄	(高松源平 LC) 【欠席】
MD337 委員	岡 ^{ひであき} 秀昭	(大川 LC)
日本ライオンズ事務局長	増澤 ^{よしはる} 義治	(諏訪湖 LC)

1. 開会宣言 招集権者 一般社団法人日本ライオンズ理事長 松浦淳一
日本ライオンズの主力事業。子供たちの夢を大きくする運営を。With コロナ環境での柔軟な対応を。
2. 一般社団法人 日本ライオンズ YCE 委員会委員長 田中雄一
今回例年にない形（前期委員長と共に情報交換）での開催。新旧の情報交換が重要。
3. 出席者の確認
4. 議事録作成人の指名 MD331 繁富委員長を指名。
5. 議題 確認事項および協議事項

【基本方針の確認】

(1) 日本 LC-YCE 委員会の目的について

各複合地区 YCE 委員会の補佐役と情報共有及び調整の場。各複合地区委員長・準地区が主体となった YCE の運営。委員長同士の調整。本委員会は要所での情報交換の場。

(2) 「ホストファミリー用の手引き」の作成

<依頼事項> 【資料 2】今期中に作成を目指す (P14 にリーダー・サブリーダーの手引きはある)。同作成のための資料として、日本ライオンズで作成している共通マニュアル 2 ページ A. 派遣生オリエンテーションのための手引きおよび B. 受入れ家庭 (ホストファミリー) オリエンテーションのための手引きについて、複合・地区に資料があれば提供をお願いする。

<注意事項> アプリケーションフォームへの入力 は 英文形式 (日本語対訳があるが)。

<情報提供>【資料 1 2024-25 年度 YCE 海外交渉通信窓口一覧表】同資料内“青色部”はミスではなく、間違いやすい文字を強調。

【前年度からの引き継ぎ事項について】

詳細は前委員長からの引継ぎをお願いする。

(1) 担当窓口国の変更（フリー国の設定）

<情報提供>前年度委員会にて、それぞれの複合地区の意向により窓口国を決定し、その他をフリー国として設定。

(2) 「YCE 事業の手引き」更新箇所について

<依頼事項>【資料 2】今期中に P2 (7) 内 A.派遣生オリエンテーションのための手引き、B.受入れ家庭オリエンテーションのための手引き。C.来日生オリエンテーションのための手引きを日本ライオンズとして詰めていく (P14 にはリーダー・サブリーダーの手引きは存在)。同資料作成の為、各委員長へ各地区での関係資料の提供を依頼（現在未作成）。

<注意事項>アプリケーションフォームは昨年度から日本語訳がある。本フォームへの日本語記載はできない。記入の際は英文。各複合地区でまとめて提出。

(3) YCE 派遣生のユニフォーム統一（ベスト）について

昨年度からベストに統一。今期以降も継続。必要時は発注を受ける。

【春期・夏期交換の報告事項について】

(1) 日本 LC 及び各複合地区に対し冬期以降注意点の確認（前期委員長）

複合地区単体では前期委員長から引継ぎをお願いするが、日本レベルとして注意する事を報告。今後も質問を確認しながら前に進める。皆様の経験を今期に生かす。

・派遣に関して：MD4、アメリカではホームステイに参加する子供が 18 歳以上でなければならない。18 歳以下を受け入れるホストファミリーは別途資格が必要で、講座の修了までに 2,3 週間が必要。同 18 歳以上の規定により今後高校生は行けなくなる可能性大であり今後考慮が必要であると思われる。

・ホストファミリーへの研修：アプリケーションフォーム記載内容の見落としにより、来日生が途中帰国。研修が毎回必要だと思われる。

・統一ユニフォーム：一般の方への宣伝効果がある。

・キャンプの情報統一化/発信：日本ライオンズとしてキャンプの内容を分かり易く、共通フォームでの発信が必要（ヨーロッパフォーラムでの所感として日本への来日希望が多くキャンプについても質問が多いが一部地区では情報発信無）。本件は対フリー国に対しても重要。

・来日・派遣生オリエンテーション：日本ライオンズとして必要である（YCE の目的について、一部の参加者は理解不足であると思われる。）

・事務局負担：コロナ明けで交換が増えていることから今後直接派遣国への対応も視野に入れ、事務量の調整が必要（他複合地区から担当窓口国への情報の受け渡しに負担有）。

<情報提供>335 地区ではホストファミリーへのオリエンテーションを実施。同内容に関しては情報提供可能。

・コミュニケーション（事前/派遣国窓口）：派遣生の病気により派遣先ホストファミリーから急な断り有（アプリケーションフォームの英文記載表現が直接的かつ情報連絡もうまくいか

なかった為) 病状には医師のアドバイスを通してアプリケーションフォームへの記載や事前に相手国へ十分な説明が必要。本件はホストファミリーへの負担軽減にもつながる。

(2) 春期・夏期派遣最終人数について

＜依頼事項＞次回報告として今期の委員長が集計（未終了事業がある複合地区もある為）。

(3) その他、報告・確認事項（新旧委員長）

・子供主体：できるだけ大人は関わらないことで、来日生と日本人高校生が密な関係を築くことができた。キャンプに参加してくれた日本人高校生からも YCE 派遣生としての参加希望が多く寄せられた。地区としては受入れクラブでは例会に参加させない方針を取った。複数の留学生を一家庭にて受け入れることで相対的な負担低減も有。

・費用負担：物価上昇に伴う費用増大。しかし費用と安全性はトレードオフであり今後費用を上げることも視野。

・若いメンバーを中心としたクラブ支部（元 YCE 生/レオクラブメンバー）の支援は有効だった。ライオン誌メールマガジンにも記事が掲載予定なのでご一読をお願いします。

【今年度冬期派遣予定について】

(1) 各複合地区の窓口国の有無

今年度冬季の派遣予定がない地区： 330、332、333。337 は受入のみ。

MD336 は事業を行わない予定であったが台湾からの受け入れのみ行う予定。

(2) 派遣予定先及び人数等

＜田中委員長より依頼事項＞今期は各複合地区からの国ごとの参加人数の割り振りを見直し、派遣生が平等に希望する国へ行けるようにしたいと考えている。各委員長は担当複合地区の対象窓口国への派遣/受入れに関する定員を確認の事。その事で、担当複合地区の学生が窓口国以外の国への需要を調整。受入国・派遣/来日人数を確認の事。調整を行いつつ情報を一社日本ライオンズへ一元化し、他地区に分けることもできる。

(3) その他

・YCE 取扱い指定（幹事）旅行代理店：MD334 よりマニュアル作成のため要望あり。各地区での取り扱い状況確認（ガバナー協議会にて国際大会とのセットとしている地区情報有）。名前だけでも良いが規定などがあればなお良い。今後とも情報共有する。

＜依頼事項＞冬の派遣状況：次回情報交換を行う、各委員は準備・調整の事。

・フリー国の窓口調整等について、今後の窓口国の方向性は今後も調整を図る。

【次回委員会日程調整】

・10 月に対面で開催予定。詳細は追って連絡。

6. 閉会の挨拶 日本ライオンズ YCE 副委員長 廣田晃一

皆様と共に YCE 委員会を盛り立て、各委員が動きやすい環境を目指す。

以上

2024 年 8 月 2 8 日

日本ライオンズ発行<2024-25-Y-M01>

議事録作成人：

MD331 委員 繁富 敬史

2024～2025 年度
第 1 回 MD336 環境保全・保健福祉・献血・献眼・視聴覚委員会 議事録

日 時：2024 年 9 月 3 日（火）13：00～13：30

場 所：中四国ブロック血液センター 1 階ロビー
広島市中区千田町 2-5-5

出 欠

役 職	氏 名	
ガバナー協議会議長	藤井 信英	○
世話人 B 地区ガバナー	上原 正樹	○
A 地区ガバナー	石井淑雄	○
C 地区ガバナー	鳴戸 大二	○
D 地区ガバナー	神田 義満	○
委員長	占部 智之	○
副委員長	植田 節雄	○
336-A 地区委員長	東條 仁	○
336-B 地区委員長	山田 隆嗣	○
336-C 地区委員長	濱本 義樹	○
336-D 地区委員長	瀬来 清美	○

司会進行：占部委員長

1 開会挨拶

◆藤井議長

- ・この委員会では、今回行われる献血をはじめ、環境保全・保健福祉・献眼等非常に範囲の広い委員会であります。
それぞれの各委員長様におかれましては、様々活動の計画をされていらっしゃると思いますが、336 複合の中で各準地区の参考になる活動の情報交換を積極的に行っていただけるような委員会にしたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

2 議題

◆今期当委員会に関しての各地区からの要望やアピール事項について

- 336-B 地区委員長 山田様 今年度も添付資料にあります「四献事業」に取り組んでいきたい。
環境保全に関しては、各クラブの皆様には一生懸命頑張っていていただきありがとうございます。公式訪問が終了しますと委員会を開いて、発表の場を取りたいと思う。
薬物乱用防止に関しては、既に講習の場所等決定し、講師の派遣のお願いをしている。今後、委員会を開いてから各県警・県庁へ講師のお願いに行くことにしている。
小児がんに関する取り組みは、何かできる奉仕活動はないのか、岡山大学や鳥取大学の小児がんに関して専門でやっていらっしゃるのに対して、何か我々が出来ることはないか確認をしないといけないと思っている。
今年一年頑張ってます。（添付資料あり）
- 336-C 地区委員長 濱本様 鳴戸大二地区ガバナーの基本方針に則って活動する。まずは、糖尿病予防、ドナーバンクの支援、献血活動、知的・身体障害者の自立支援、スポーツ大会の後援・支援、献眼推進運動の協力・推進、ライオンズメンバーの献眼推進、これは、ライオンズメンバー自身の献眼数が少ない。
いざとなると遺族任せになる。そこで、資料にある通り啓発グッズとしてスマホスタンドをQRコードを付けて配布したい。また、これを誰かへのプレゼントに出来たらいいと思う。
「周りに知らせる」という効果が期待できるので、これを提案したい。
前年度地区において提案したが、費用が掛かるということで通らなかった。
4 地区が協力出来たら何とかなるのでは。1 個当たり 600 円で最小オーダー単位が 1 ロット 500 個でありなかなかですが、ライオンクラブ活動のPRになり良いのでは。ドナーバンクの研修会を年 1 回東部地区福山で開催していきたい。
(添付資料あり)

- ◆占部委員長・・・複合へ提案する前に、是非準地区内で成果をだしていただきたい。
地区で成果を出すことで地区の成績になる。
最初は手作りでやっていただいたりしながら、ハレーションのように他地区へも広げていきたいと思う。

●336-A地区委員長 東條様 四国の「お遍路文化」についてガバナーと協力してやっていきたい。

●336-D地区ガバナー 神田様 現在は公式訪問にしっかり力を入れている。
今後ともよろしくお願いいたします。
会員拡大・LCIFにもしっかりやっていきたい。

- ◆占部委員長・・・D地区は献血活動にしっかり取り組んでいただいている。
他の地区も献血者数は何千人単位でやっていただいているが、分母が大きいからなのか、パーセントが控えめに書いてありますが、各地区とも大変ご努力いただいている。
B地区は議長のおひざ元でもあります。大変しっかりやっていただいております、ホームページでもしっかり発信していらっしゃるの、是非ホームページを覗きに行ってください。
献眼マニュアルは全国で共有、マニュアルについては最初のキャビネット会議でしっかり説明いただいていると思いますが、実際に献眼のタイミングが起こった時に対応できなければいけないので、諮問委員会などで委員長様は各クラブにシュミレーション等を行っていただくよう働きかけていただきたい。

●336-D地区ガバナー 神田様 ちょうど献眼の希望者様がお亡くなりになり、漢族も賛成ということで葬儀にて感謝状をお渡しできるように手配してきた。

- ◆占部委員長・・・感謝状がどこにあるか、どこに連絡するのもご存じないクラブもあり、色々な順番があるということもあり、しっかりマニュアルで対応周知していただきたい。
D地区の皆さんにはしっかり環境保全に取り組んでいただいている。次回、D地区の環境保全活動に関して皆さんでしっかり共有していきたい。

◆その他・・・発言者無し

3 閉会挨拶

◆上原世話人

- ・献眼・献血・環境保全などに関しては、ライオンズクラブだけではなく色々な人が関心を示している。
我々ライオンズクラブではこれからもしっかり取り組んでまいりたいと思いますのでご協力をお願いします。
私も（上原世話人ご自身）今期は環境保全と小児がんをしっかり力を入れてまいりたいと思っている。
色々な面で複合地区にもご協力をいただきたいと思います。
様々なアドバイスもいただきたいので、参考になるようなことがあればぜひお知らせいただきたい。

- ◆占部委員長・・・お疲れさまでした。副委員長の植田もよろしくお願いいたします。
次回の委員会は11月初旬を予定しています。
9月中に案内する。

次回開催：11月初旬（9月中にご案内）

議事録作成者
副委員長 植田節雄

中四国ブロックにおけるライオンズクラブ 献血推進の基本方針（2024～2025 年度）

1. 400mL 献血及び成分献血を中心に、前回以上の献血協力者の確保を目指して推進活動を行う。
2. ライオンズクラブ会員所属の企業・団体等からの協力を一層推進し、呼びかけや紹介による献血者を前年度より増加させるよう、積極的な推進活動を行う。
3. 将来に向けた献血基盤の確立に向け、若年層（特に 10 代～30 代）の献血者確保及び啓発活動の推進を行う。
4. 待機時の密集による感染症の拡大防止及び事前問診による受付等の待ち時間緩和の観点から、ラブラッド（献血者専用サイト）への登録及び事前予約について関係協力団体を含めて協力を得られるよう推進活動を行う。
5. 感染症拡大など不測の事態による献血者減少時に協力を得られるよう、平素から献血状況の報告など連携を密にし、安定した献血者確保を目指した推進を行う。
6. 上記のことを推進するために、各県のライオンズクラブと連携を強化する。

ライオンズクラブ献血推進・協力実績【令和6年7月～8月】

	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	合計
受付者数	2人	1,014人	803人	392人	670人	400人	1,585人	1,149人	893人	6,908人
献血者数 -①	0人	899人	673人	319人	578人	338人	1,407人	1,055人	837人	6,106人
協力日数(稼働数)-②※	0.4	20.5	14.3	6.0	8.1	7.0	22.5	19.0	18.5	116.3
1稼働当たりの献血者数 (①/②)	0.人	43.9人	47.1人	53.2人	71.4人	48.3人	62.5人	55.5人	45.2人	52.5人
参加協力クラブ数(実数)	1団体	16団体	13団体	4団体	10団体	7団体	20団体	14団体	11団体	96団体

※協力日数(稼働数)について:終日の会場は1稼働、半日の会場は0.5稼働など、献血時間に応じて稼働数が変わります。

対象期間における 各県総献血者数	3,783人	3,387人	12,412人	18,846人	7,592人	4,204人	5,811人	8,496人	4,345人	68,876人
中四国内総献血者数に占める ライオンズクラブ献血者数の割合	0.0%	26.5%	5.4%	1.7%	7.6%	8.0%	24.2%	12.4%	19.3%	8.9%



ライオンズの会員は誰でもアクセスできる会員専用サイト『Lion Portal』。会員情報の確認から、入退会報告、奉仕報告、学習やお買い物まで、すべてはここから！

奉仕報告を見る・報告する



クラブが実施した奉仕活動を国際協会へ報告します。過去に報告したアクティビティを見ることができます。

自分の会員情報を見る



登録されている個人情報、連絡先、会員履歴、役員履歴、スポンサー履歴などを見ることができます。

クラブの情報を見る・管理する



自分のクラブに関する情報、会員一覧、役員一覧を見ることができます。

クラブ会長、幹事、業務担当者は、このページで下記の手続きを行えます：

- ・クラブ情報の編集
- ・メンバー情報の編集
- ・メンバーの入退会処理
- ・会計計算書の確認（クラブ会計も可）
- ・役員登録
- ・クラブ支部やレオクラブの管理
- ・クラブ支部申請
- ・新クラブ申請
- ・各種レポートのダウンロード
- ・代議員登録 ほか

学習する



国際協会が提供するオンライン学習コースの受講が可能なほか、各種研修会の情報や自分の研修記録を見ることができます。

データを見る



全世界のクラブ数、会員数、奉仕報告状況、寄付額などのデータを見ることができます。

グッズを揃える



オンラインショップから、国際協会の公式グッズが購入できます。

世界のクラブを見る



世界中のクラブの情報や各クラブが報告している奉仕活動を検索してみることができます。

地区を見る



自分のクラブが所属する地区の役員情報やクラブ一覧を見ることができます。

寄付する



LCIFへのオンライン寄付もこちらからできます。

Lion Portalへアクセスするにはアカウントが必要です



Lion Portalへのアクセス方法は[こちら](#)から

Lion Portalでの各種手続きのマニュアルは『[Lion Portal学習情報サイト](#)』へ！



ライオン誌 SNS 登録者の推移と利用状況

●ライオン誌 SNS 登録者の推移

SNS名	運用開始日	2020年1月	2020年12月末	2021年6月末	2021年12月末	2022年6月末	2022年12月末	2023年6月末	2023年12月末	2024年6月末	2024年9月末
LINE	2020年1月	105	2,271	2,767	3,205	3,848	4,339	5,204	5,590	5,775	6,007
Facebook	2011年6月	1,414	1,661	1,729	1,756	1,829	1,905	1,917	1,941	1,938	1,942
X (旧Twitter)	2010年6月	290	443	476	502	528	546	574	599	608	610
Instagram	2016年3月	134	362	407	420	452	472	498	543	562	569
Youtube	2011年3月	62	282	400	432	501	570	623	685	740	778

●LINE : 2020 年 1 月運用開始

・友だち登録 2020 年 1 月現在 : 105 人 → 2024 年 9 月末現在 : 6,007 人

<https://lin.ee/hUQUU0Y>

原則月 4 回 (ウェブマガジン公開、投稿リポート募集、Youtube チャンネル案内、印刷版発行 or 初級編案内) 配信

※2020 年 3 月からライトプラン利用 (月額 5,000 円 15,000 通/月) 上限 : 登録 4,250 人

※2022 年 12 月からスタンダードプラン利用 (月額 15,000 円 45,000 通/月)

※2023 年 6 月からプラン内容変更によりスタンダードプラン (月額 15,000 円 30,000 通/月)

配信メッセージ月 4 回=7,500 人上限、月 3 回=10,000 人上限

●Facebook : 2011 年 6 月運用開始

・フォロワー 2020 年 1 月現在 : 1,414 人 → 2024 年 9 月末現在 : 1,942 人

<https://www.facebook.com/LION.MAG.JP>

月次更新時に主要記事を順に投稿 投稿リポート、トピックス公開時にも投稿

●X (旧 Twitter) : 2010 年 6 月運用開始

・フォロワー 2020 年 1 月現在 : 290 人 → 2024 年 9 月末現在 : 610 人

<https://twitter.com/lionjp>

ウィークデーに主要記事をツイート

投稿リポート、トピックス公開時にもツイート

●Instagram : 2016 年 3 月運用開始

・フォロワー 2020 年 1 月現在 : 134 人 → 2024 年 9 月末現在 : 569 人

<https://www.instagram.com/lionmagjp>

月次更新時に取材リポートの写真を順に投稿

●Youtube : 2011 年 3 月運用開始

・チャンネル登録者 2020 年 1 月現在 : 62 人 → 2024 年 9 月末現在 : 778 人

<https://www.youtube.com/user/LionmagJP>

月次更新時に新しい動画を公開 同時にビデオマガジンもチャンネル内で公開

2024-25年度ライオン誌日本語版委員会 第1回会議 議事録

日時	2024年8月8日(木)14:00～16:00
場所	一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議室(Zoom)
出席者	国際理事 濱野 雅司 (埼玉県・岩槻LC) 国際理事 城阪 勝喜 (大阪港LC) *欠席 【一般社団法人日本ライオンズ】 理事長 松浦 淳一 (北海道・岩見沢はまなすLC) 専務理事 中谷 豊重 (大阪府・岸和田LC) PRマーケティング委員会委員長 星野 勝美 (群馬県・太田LC) PRマーケティング委員会副委員長 佐藤 裕幸 (新潟県・柏崎日本海LC) ライオン誌日本語版委員 330複合地区委員 田中 明 (埼玉県・和光LC) 331複合地区委員 馬場 哲也 (北海道・函館東LC) 332複合地区委員 藤谷 文雄 (秋田県・大曲LC) 333複合地区委員 三枝 久夫 (栃木県・佐野西LC) 334複合地区委員 前田 磨 (静岡県・三島LC) 335複合地区委員 北岸 秀規 (滋賀県・大津びわこ比叡LC) 336複合地区委員 佐々木孝之 (岡山LC) 337複合地区委員 瀧野二三世 (大分LC) 日本ライオンズ事務長 増澤 義治 (長野県・諏訪湖LC)

委員会の招集者である松浦理事長からのあいさつに続き、濱野国際理事、星野委員長からあいさつがあり、出席者の確認を行った後に議事に入った。

議案1	公式版ライオン誌
内容	① 理事会方針書の確認 第16章ライオン誌(2024.3.19改訂版)編集方針の要点を確認。方針書の目的にある通り、ライオンズメンバーへの情報発信により会員を意欲づけると共に非会員へも発信する ② 委員会の役割 ライオン誌の印刷版及びウェブマガジンの編集・発行を担当。一般社団法人日本ライオンズのウェブサイトは担当外
決定事項	内容を確認し了承

議案2	ライオン誌日本語版編集長の選任
内容	委員長が推薦・立候補を求めたがいずれもなく、委員長に一任
決定事項	337複合地区委員 瀧野二三世(大分LC)を編集長に選任

議案3	ライオン誌日本語版の運営
内容	① 2023年7月～2024年6月ライオン誌関係会計報告 資料2参照、概ね予算通りに執行されたことを確認。取材費、会議費等は回数・出席状況にて変動 ② 2024-25年度ライオン誌発行予算 資料3参照、印刷版は44ページ×2回・36ページ×2回、ウェブマガジンは年12回発行の予算となっていることを確認 ③ 2024-25年度年間計画 資料4参照、印刷版及びウェブマガジンの主要記事を確認。「編集室」の委員8人の担当号を確認し、ウェブマガジンの担当未定分について検討した
決定事項	③ウェブマガジン「編集室」は10月号・星野委員長、11月号・佐藤副委員長と決定。2月号、5月号については後日検討する

議案4	ウェブマガジン編集関係
内容	① ウェブマガジン改修 昨年度委員会が進めたウェブマガジン改修が完了。印刷版バックナンバーのアクセス改善、奉仕活動の分野別選択をグローバル重点分野に変更するなど主な改修箇所を確認 ② 2024年8月号(8月1日公開)出来 資料5参照、公開済みの記事を確認。スムーズな運用となっている ③ 2024年9～10月号更新予定(案) 資料5参照、9月号で取材予定だった奉仕活動が事情により取材不可となり、代替として335複合地区ユースキャンプを取り上げる ④ 「取材リポート」取材対象候補 2024年クラブ・アンケートで収集した情報を元に「取材リポート」対象を検討。委員のみならず複合地区及び地区のマーケティング委員会など、多くの会員から情報収集する提案あり ⑤ 奉仕活動投稿 資料7参照、投稿規定・掲載ガイドライン(2021-22年度委員会作成)を確認。SNSに奉仕活動の写真を投稿出来るページを設ける提案あり
決定事項	④11月号「取材リポート」対象候補を決定。また、9月のパティ・ヒルLCIF理事長公式訪問の際に星野委員長がインタビューを行い11月号に掲載する ⑤掲載ガイドラインの踏襲を決定。SNSで写真投稿が出来るように準備を進める

議案5	印刷版編集関係
内容	① 2024年夏号(7月25日発行)出来 内容を確認。委員からの意見は特になし ② 2024年秋号(10月25日発行予定)台割案 資料8参照、表紙は昨年度までは奉仕活動取材で撮影した写真を使用していたが、現状カメラマンによる撮影の予定はないため代替案を検討。障がい者アート・青少年事業などのア

	アイデアが出た。奉仕活動取材記事が減少したのに伴い未定となっている8ページ分の企画について検討した。「国際理事だより」は濱野国際理事に依頼、「編集室」は田中委員、馬場委員が担当 ③ 広告 資料9参照、広告料金と現在の出稿状況を確認
決定事項	②表紙は編集長が具体案を作成し次回委員会に提案。未定8ページ分の企画は次回委員会までに各委員が案を提出し、次回委員会で決定する

議案6	その他
内容	① 2024年クラブアンケート 資料10参照、昨年度会員動静に関する調査、グローバル重点分野の取り組みに関する集計データを確認。調査結果は印刷版秋号に掲載予定、アクティビティに関する情報は委員で共有し今後の編集の参考とする ② 『ライオンズ・スクール』改訂 新会員向けの研修資料として委員会が作成し、ウェブマガジンで配布している『ライオンズ・スクール』(PDF)の改訂について検討 ③ ServannA(サバンナ)関係 資料11参照、メンテナンス・サーバー管理などの現況について確認 ④ ライオン誌公式SNS 資料12参照、ライオン誌公式SNSの登録者数を確認。ウェブマガジンの普及率を上げるためには、LINE登録者数を増やす以外の方策が必要との意見が出た
決定事項	②改訂に向けて各委員が資料の内容を確認する ④次回委員会までに各委員がウェブマガジン普及策のアイデアを提出する

次回予定	第2回：9月6日(金) 14:00～16:00 ウェブ(Zoom)
------	-----------------------------------

議事録作成: 田中明(330複合地区委員)

前田磨(334複合地区委員)

2024-25年度ライオン誌日本語版委員会 第2回会議 議事録

日時	2024年9月6日(金)14:00～16:00
場所	一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議室(Zoom)
出席者	国際理事 濱野 雅司 (埼玉県・岩槻 LC) 国際理事 城阪 勝喜 (大阪港 LC) 【一般社団法人日本ライオンズ】 理事長 松浦 淳一 (北海道・岩見沢はまなす LC) 専務理事 中谷 豊重 (大阪府・岸和田 LC) PR マーケティング委員会委員長 星野 勝美 (群馬県・太田 LC) PR マーケティング委員会副委員長 佐藤 裕幸 (新潟県・柏崎日本海 LC) ライオン誌日本語版委員 編集長・337 複合地区委員 渕野二世 (大分 LC) 330 複合地区委員 田中 明 (埼玉県・和光 LC) 331 複合地区委員 馬場 哲也 (北海道・函館東 LC) 332 複合地区委員 藤谷 文雄 (秋田県・大曲 LC) 333 複合地区委員 三枝 久夫 (栃木県・佐野西 LC) 334 複合地区委員 前田 磨 (静岡県・三島 LC) 335 複合地区委員 北岸 秀規 (滋賀県・大津びわこ比叡 LC) 336 複合地区委員 佐々木孝之 (岡山 LC) 日本ライオンズ事務長 増澤 義治 (長野県・諏訪湖 LC)

星野委員長の開会あいさつに続き、濱野国際理事、城阪国際理事からあいさつがあり、出席者を確認した後、星野委員長、渕野編集長の進行で議事に入った。

議案 1	ライオン誌日本語版の運営
内容	① 2024年7月ライオン誌関係会計報告 7月分の会計資料を確認した。
決定事項	① 予算に沿って運営されていることを確認した。今回から、日本ライオンズの賞味財産増減計算書からライオン誌の項目(事務費を除く)のみを表示した資料で予算の執行状況を確認する。

議案 2	ウェブマガジン編集関係
内容	① 2024 年 9 月号(9 月 1 日公開)出来 内容を確認、委員からの意見特になし。 ② 2024 年 10～12 月号更新予定(案) 各号の内容を確認、11 月号と 12 月号の取材レポートの候補となる活動を選 考した。 ③ リポート原稿の手引き 委員より取材記事の手引きとして作成された資料を確認。委員が取材を行 う際に経費の支給が必要かどうかを協議した。各委員から、所属準地区内 での取材は交通費不要だが遠方の場合は支給した方がよい、支給する場 合は上限を設けるべき、所属準地区以外の取材は当該地区の担当委員会 に依頼するなどの意見が出た。また、前回委員会で提案があった Facebook による投稿募集について協議した。 ④ 「情報資料」の統計データについて 国際協会発表の 6 月末集計データに不備があったため、ウェブマガジンに データが掲載できていないとの報告が事務局からあった。濱野国際理事か ら別のデータから掲載に必要な情報が入手できるとの情報があった。
決定事項	② 11 月号、12 月号の取材候補としてそれぞれ 2 クラブの活動を選んだ。 取材可否などをクラブに確認した上で 1 クラブに絞る。 ③ 委員取材の経費については引き続き検討。取材実施に当たっての手順 やルールも併せて検討し、委員会の方針をまとめて社団理事会に提出す る。Facebook による投稿募集については、不適切な投稿をどう防ぐかなど 慎重に検討した上で判断する。 ④ 必要なデータを入手し、掲載に向けて作業を進める。

議案 3	印刷版編集関係
内容	① 2024 年秋号(10 月 25 日発行予定)台割(案) 台割案を確認した。前回委員会の段階で未定だった特集企画は、委員会 後に出された委員の案から、「ミッション 1.5 成功事例」とした。 ② 2024-25 年度表紙企画 編集長提案の企画①、企画②について委員の賛否を取り、企画①が多数 の賛同を集めた。

	③ 2025 年秋号以降の編集企画 秋号の特集「ミッション 1.5 成功事例」の企画案について内容を検討した。 冬号以降の企画について委員提案を元に意見を交換した。
決定事項	② 今年度の表紙は「日本の世界遺産」とし、地元クラブを紹介する記事を併せて掲載する。 ③ 秋号特集「ミッション 1.5 成功事例」では四つの成功事例を取り上げることとし、該当クラブに情報提供を依頼する。冬号以降の特集企画は引き続き検討する。

議案 4	その他
内容	① 『ライオンズ・スクール』改訂 前回委員会後、各委員による確認作業を行った。改訂版の完成に向け修正・確認など必要な作業を進める。 ② ウェブマガジン普及策 各委員から提案があった普及案を確認。複合地区や地区の会議での PR や、会員に直接メールマガジンを送信する方法の提案があった。 ③ ライオン誌公式 SNS 登録状況の資料を確認した。
決定事項	② 引き続き検討して早急に具体化する。

次回開催 予定	第 3 回：10 月 7 日(月)14:00～16:00 ウェブ(Zoom) 第 4 回：11 月 5・6・7 日で再調整後に決定 ウェブ(Zoom) 第 5 回：12 月 6 日(金)14:00～16:30 日本ライオンズ事務所
------------	--

議事録作成:馬場哲也(331複合地区委員)
北岸秀規(335複合地区委員)

2024-25年度ライオン誌日本語版委員会 第3回会議 議事録

日時	2024 年 10 月 7 日 (月) 14:00～16:00
場所	一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議室 (Zoom)
出席者	国際理事 濱野 雅司 (埼玉県・岩槻 LC) 国際理事 城阪 勝喜 (大阪港 LC) * 欠席 【一般社団法人日本ライオンズ】 理事長 松浦 淳一 (北海道・岩見沢はまなす LC) * 欠席 専務理事 中谷 豊重 (大阪府・岸和田 LC) PR マーケティング委員会委員長 星野 勝美 (群馬県・太田 LC) PR マーケティング委員会副委員長 佐藤 裕幸 (新潟県・柏崎日本海 LC) ライオン誌日本語版委員 330 複合地区委員 田中 明 (埼玉県・和光 LC) * 欠席 331 複合地区委員 馬場 哲也 (北海道・函館東 LC) 332 複合地区委員 藤谷 文雄 (秋田県・大曲 LC) * 欠席 333 複合地区委員 三枝 久夫 (栃木県・佐野西 LC) * 欠席 334 複合地区委員 前田 磨 (静岡県・三島 LC) 335 複合地区委員 北岸 秀規 (滋賀県・大津びわこ比叡 LC) 336 複合地区委員 佐々木孝之 (岡山 LC) 337 複合地区委員 渕野二三世 (大分 LC) 日本ライオンズ事務長 増澤 義治 (長野県・諏訪湖 LC)

星野委員長の開会あいさつに続き、濱野国際理事、中谷専務理事からあいさつがあり、出席者の確認を行った後に議事に入った。

議案 1	ライオン誌日本語版の運営
内容	① 2024 年 7～8 月ライオン誌関係会計報告 8 月末までの会計報告を確認した。国際協会補助金は半期終了時の基準データで算出されるため、前月に続き収入はなし。取材費等が抑えられ順調に推移している。社団の決定により、当委員会旅費は今期から旅費補助規定に則って全複合地区のプール計算に含まれること、旅費補助に関し MD331、337 のみ空路の対象で、その他の地区は鉄道運賃となることの報告を受けた。
決定事項	①報告内容を了承した。

議案 2	ウェブマガジン編集関係
内容	① 2024 年 10 月号(10 月 1 日公開)出来 内容を確認した。内容に関し特に意見なし。 ② 2024 年 11～2025 年 1 月号更新予定(案) 各号の内容を確認。前回委員会で 12 月号、1 月号取材リポートの第 1 候補に挙げ た 2 クラブに取材協力を申し入れたところ、1 クラブは参加する学校の意向により取 材不可、1 クラブは 2 月以降の取材が望ましいこと、それぞれ別の候補は取材可能 であることの報告があった。また、取材依頼のあった活動 1 件の内容を確認した。 ③ ライオン誌委員による取材 取材マニュアル(案)を確認した。取材旅費補助に関し費用規定の基準を設けるか 個別に検討するか等協議した。取材実施提案書(案)を確認した。 ④ SNS による写真投稿募集 Facebookグループによる写真投稿募集の実施案を確認した。
決定事項	②2025 年 2 月号までの取材リポートで取り上げる活動の候補を決定した。 ③取材時の旅費補助に関し次回委員会で検討する。 委員が取材する際は事前に取材実施提案書を委員会に提出し協議する。 ④必要に応じて微調整しながら写真投稿募集を進める。

議案 3	印刷版編集関係
内容	① 2024 年秋号(10 月 25 日発行予定)台割 事前に配布された秋号校正紙を確認した。 ② 2025 年冬号(1 月 24 日発行予定)台割(案) 台割案を確認した。オセアルフォーラムの記事追加、公益財団法人日本ライオンズ からの記事掲載依頼などについて協議した。 ③ 特集企画案 冬号の特集企画案を検討した。
決定事項	①表紙 2 案から 1 案を選んだ。 ②オセアルフォーラムは 1 ページ、財団は 2 ページの記事を掲載するため、4 ページ 増やして 40 ページとする。国際会長公式訪問の取材はインタビュー形式の方向で調 整し、渕野編集長が担当する。 ③冬号の特集テーマは「少人数クラブ大集合」とする。

議案 4	その他
内容	① 『ライオンズ・スクール』改訂 LCIF交付金に関する変更点を確認中で、確認が取れ次第、作業を進めるとの報告を受けた。 ② ウェブマガジン普及策 LINE 公式アカウントの登録は身近なノンライオンにも勧めることが出来るとの提案があった。委員名刺(裏面)に記載した LINE 登録用 QR コードを活用する。検討の材料としてウェブマガジンのアクセスデータを確認したいとの提案があった。 ③ ライオン誌公式 SNS 登録者の推移と利用状況を確認した。
決定事項	②次回委員会でGoogle解析データを基に検討し、今後は定期的に推移を確認する。

次回開催 予定	第 4 回 : 11 月 6 日(水)14:00～16:00 ウェブ会議室(Zoom) 第 5 回 : 12 月 6 日(金)14:00～16:30 日本ライオンズ事務所 第 6 回 : 1 月 7 日(火)14:00～16:00 ウェブ会議室(Zoom)
------------	---

議事録作成:佐々木孝之(336複合地区委員)

第 1 回 MD336 IT・M・ライオンズ情報委員会 議事録

日時: 日時: 2024 年 9 月 26 日 (木) 13:30~15:30 ※接続 13:15~
場所: Zoom 会議

出 欠 ※敬称略

役 職	氏 名	
ガバナー協議会議長	藤井 信英	欠
MD336 IT・M・ライオンズ情報委員会 世話人	山崎 勝彦	○
MD336 IT・M・ライオンズ情報委員会 委員長	佐々木 孝之	○
MD336 IT・M・ライオンズ情報委員会 副委員長	志賀 光法	○
336-A 地区委員	宮本 俊一	○
336-B 地区委員	松本 善文	○
336-C 地区委員	高橋 信也	○
336-D 地区委員	頃安 隆司	○
ガバナー協議会事務局運営委員会委員長 ※オブザーバー	松岡 哲也	○

1. 開会挨拶

MD336 (松岡事務局運営委員長)

(藤井議長が急遽豪雨災害支援の打ち合わせで金沢に出向いているため、
松岡運営委員長が開会の挨拶を行った。)
短時間ではあるが、有意義な委員会とするために、参加者の協力を求めた。

2. 議 題

①各地区のポータル登録状況および取り組みについての報告

336A 地区 (宮本委員)

336A 地区のクラブでは、ライオンポータルの使用が進んでいない。
国際協会関連の情報のみ利用している状況で、他の目的にはほとんど利用されて
いない。今後の計画も現時点では特に議論されていない。

336B 地区 (松本委員)

IT 委員会を先日開催し、ライオンアカウントの取得状況を確認したところ、まだ
多くの委員がアカウントを持っていないことが判明。各ゾーン単位で小規模な講習
会や研修会を行い、会員がライオンアカウントを取得できるよう支援していく計画。

336D 地区 (頃安委員)

全員登録を目標としているが、現在の登録率はクラブ内でも約 50%程度。
各クラブでも数名の登録に留まっており、まだまだ普及が遅れている。
対策として、10 月 3 日に山口ライオンズクラブの例会でポータル登録の説明会を
実施する予定。登録手順をフローチャートとして配布し、YouTube チャンネルで動画
を公開する計画を進めている。
複合地区全体に役立つ資料の作成もオセアル事務局に依頼している。

336C 地区 (高橋委員)

ライオンポータルの登録を進めるため、今後セミナーの実施が必要との意見。
事務局員だけがポータルを使用しており、会員にはその使い方や利便性が十分に伝わ
っていない現状がある。動画やマニュアルを用いた分かりやすい説明が求められて
いる。

②ライオン誌日本語版 Web マガジンの取り組みについて

336A 地区 (宮本委員)

336A 地区のクラブでは、Web マガジンの取り組みが進んでいない。
今期は、ウェブブック形式に切り替えを試みたが、サーバーの古さが原因で実現せず。

336B 地区（松本委員）

特別な取り組みは進行していないが、地区の Facebook アカウントを通じて Web マガジンの記事をシェアし、少しでも広げようとしている。

336D 地区（頃安委員）

担当が違うので分かりません。

336C 地区（高橋委員）

ブログ形式での報告を促進しており、地区内のクラブ活動を共有している。ライオン誌の方にも投稿を促したい。

MD336（佐々木委員長）

ライオン誌の各 SNS 登録者数と推移の報告有り。10万人の会員数に対しては少ないのではないかと個人的には思う。

ライオン誌日本語版編集委員会からの報告。

3. 質疑応答・意見交換

336A 地区（宮本委員）

クラブ内でライオンポータルや Web マガジンへの関心が低く、IT 化に対する抵抗感も大きい。共通のマニュアルが欲しい。特に、会員がこれ以上の負担増やしたくないという意見があり、アカウント登録の促進が難しい現状がある。

336C 地区（高橋委員）

会員がライオンズクラブで何をすべきか、根本的な理解が欠如しているため、IT 化に加えて、ライオンズクラブの基本的な理念を改めて教育することが必要と感じる。

MD336（松岡事務局運営委員長）

岡山みらいライオンズクラブでは事務局員を雇用せず、会員が自ら業務を担当する仕組みを採用している。委員長に重きをおいている。IT の導入によって経費削減に成功している事例を紹介。

MD336（志賀副委員長）

国の政策にもある DX の推進。メリットをしっかりと出していく。理解していただく事が重要。

336B 地区（松本委員）

事務局員に依存することなく、クラブの役員が IT ツールを活用して活動を進めていくことが重要と指摘。

336D 地区（頃安委員）

FAX・電子メールなどからの変遷。各種 SNS が乱立してきた。新しいツールをどう捉えるか。出来る人を一人ずつでも増やして行けたらと思う。

4. 閉会挨拶

MD336(山崎世話人)

貴重なご意見・提案ありがとうございました。是非、持ち帰って頂き各地区で役立ててください。

議事録作成人 336B 地区委員 松本善文

2024-25

一般社団法人 日本ライオンズ

第一回国際理事候補者資格審査委員会【ハイブリッド】

議事要録

◎日時：2024年8月2日（金）13：30-14：45

◎場所：一般社団法人日本ライオンズ事務局＋ZOOM

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

理事長	松浦 淳一	(岩見沢はまなす LC)
副理事長	喜多 友一	(上田城南 LC)
委員長	澤 辰水	(下関 LC)
副委員長	諏訪 昇三	(札幌時計台 LC)
専務理事	中谷 豊重	(岸和田 LC)

各複合地区委員

MD330 委員	細川 孝雄	(東京赤坂 LC)
MD331 委員	渡部 義男	(苫小牧中央 LC)
MD332 委員	大矢 進	(青森まほろば LC)
MD333 委員	藤原 宏高	(船橋中央 LC)
MD334 委員	増澤 義治	(諏訪湖 LC)
MD335 委員	山本 忍	(栗東 LC)
MD336 委員	三口 巖	(宮島口 LC) 【WEB】
MD337 委員	吉田 勲	(北九州紫水 LC)

1. 開会宣言 招集権者 一般社団法人日本ライオンズ理事長 松浦 淳一

2. 委員長・副委員長あいさつ

一般社団法人日本ライオンズ

国際理事候補者資格審査委員会委員長 澤 辰水

国際理事候補者資格審査委員会副委員長 諏訪 昇三

3. 出席者紹介

・出席している委員から自己紹介と挨拶が行われた。

4. 議事録署名人の指名

・MD330 細川委員と MD337 吉田委員を指名。

5. 確認事項について

- ①【国際会則 第5条第3項】 国際理事選出の確認
- ①【国際付則 第2条第3項】 国際理事候補者の資格について確認
- ③【複合地区会則】 国際理事候補者資格審査委員会規則について確認

参加者の手元に配られている資料と、本日はこれらの会則に基づき審査を行う旨の確認。

6. 資格審査

①提出された推薦要望書について

- ・現在までに日本ライオンズへ提出されている推薦要望書が1通であることの確認後、MD332 から提出されている封筒を澤委員長が開封し、田名部智之元協議会議長からの推薦要望書であることが確認され、参加者に要望書一式のコピーが配布された。

②推薦要望書の内容と資格審査

・オセアルのガイドラインに基づく審査

オセアルのガイドラインおよび先述の国際会則 第5条第3項・国際付則 第2条第3項・複合地区会則を項目ごとに確認し、国際理事立候補者の資格について問題がないことが確認された。また各委員一人一人に意見が求められ、全員一致で賛同を得た。

7. 上記に伴う事務処理について

- ・委員長・副委員長および各複合地区委員の署名を頂き、全国へ早急に本日の結果を日本ライオンズより配信予定。

8. 閉会宣言 一般社団法人日本ライオンズ

国際理事候補者資格審査委員会委員長 澤 辰水

澤委員長より参加した委員に感謝が伝えられた。

以上

2024年8月2日

議事録作成人

MD330 委員 細川 孝雄

MD337 委員 吉田 勲

2024-2025

一般社団法人日本ライオンズ

第1回 国際大会委員会 WEB 議事録

日時：2024 年 8 月 23 日(金) 15：00-16：30

場所：各 PC から接続 (Zoom)

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

理 事 長

まつうら じゅんいち
松浦 淳一 (岩見沢はまなす LC) 【欠席】

専務理事

なかたに とよしげ
中谷 豊重 (岸和田 LC)

国際大会委員会

委 員 長

とまつり ひろき
戸祭 宏樹 (鯖江山王 LC)

副 委 員 長

いが やすお
伊賀 保夫 (東京ピース LC)

副 委 員 長/副理事長

き た ともかず
喜多 友一 (上田城南 LC)

各複合地区国際大会委員

3 3 0 複合地区

なかじま ふみお
中嶋 文夫 (東京文化 LC)

3 3 1 複合地区

すどう としゆき
須藤 敏幸 (伊達 LC)

3 3 2 複合地区

たかはし かん
高橋 寛 (和賀 LC)

3 3 3 複合地区

おか の よしお
岡野 良男 (土浦環 LC)

3 3 4 複合地区

おおやま やすのり
大山 恭範 (一宮 LC)

3 3 5 複合地区

えぐ さ おさふみ
江草 長史 (和田山 LC)

3 3 6 複合地区

いちむら みちお
市村 通夫 (鴨島 LC)

3 3 7 複合地区

たかはし のぼる
高橋 抒見 (諫早中央 LC)

1. 本日の出席者確認及び進行について

- ・戸祭委員長が進行。

2. 議事録作成人の指名

- ・MD330 中嶋委員を指名。

3. 国際大会委員会の任務及び実務について

- (1) 任務： 国際大会、OSEAL フォーラムの意義を強調し、会員の積極的参加を促す
- (2) 実務： (国際大会) 代議員投票の促進と管理、大会参加の手順の具体的指導、
国際大会情報の収集、伝達
(フォーラム) フォーラム参加手順の具体的指導
フォーラム情報の収集、伝達
- (3) MD330-MD337 公認ツアーコーディネーター規則
規約内容についての確認。メキシコ大会準備のために 来月早々にMD公認TCを選定する。

4. 第 61 回OSEAL フォーラム（2024 年 11 月 14－17 日 タイ・パタヤ）

最新情報の確認（8 月 21 日開催 パタヤフォーラム委員会との会議報告）

①最新情報の確認（日程全般、登録手順ほか）

- ・早期フォーラム登録について⇒当初の通り9/30（月）締め切り。（8 月末ではない）
- ・登録は各個人（クレジットカード決済）またはグループの場合は旅行業者を通じての登録を推奨する。

②各 MD の登録状況について

ステアリング委員会時では、日本全体で 1,600名 でお願ひがあるが、過去のタイで開催されたフォーラムでは2,000名超える実績があり。先日の登録者アンケートの回答をもとに本日の会議で調整した結果、各MDの登録者目標数は以下となった。

MD	330	331	332	333	334	335	336	337
登録者目標数	200	300	200	145	300	305	200	200

（目標数計：1,850 名）

【その他登録関連事項】

（議長とガバナー向け情報）

- ・フォーラム委員会から議長とガバナー宛にご案内されている文書の通り、議長の参加については、11/14(木)～16(土)は本部ホテルの 3 泊分が無償提供される。
 - ・ガバナーは無償ではないが【議長とガバナーの会議】が毎朝本部ホテルで開催されるので、本部ホテル宿泊が推奨されている。優先予約の便宜があるので、フォーラム委員会指定の出欠確認書に記入の上、日本ライオンズでとりまとめの上、現地フォーラム委員会へ連絡する。
- なお、バンコク本部ホテル間の送迎希望がある場合にはフライト情報も事前に申し出る必要があります。追って日本ライオンズから関連案内を配信予定。

・記念誌掲載用に議長は写真と祝辞を、ガバナーはカラー写真（データ）を日本ライオンズに送っていただきたい。追って日本ライオンズから案内予定。

・行事出席の確認：

11/14(木)、議長とガバナー向けに現地ホスト委員会主催による歓迎レセプションが17:30から予定されている。間に合う場合には是非出席されたい。その後、20時からのコーカスミーティング（非公式会議、次年度国際理事候補者の紹介を含む）には議長、ガバナーは参加してほしい旨MD334からのお願いがあり。

・11/14(木)09:30からフォーラムロゴにもなっている“海亀”の放流会への参加の呼びかけがある。別途ご案内文を日本ライオンズから配信予定。

LCIF チャリティーゴルフ登録： パタヤフォーラムでは、個人またはグループ5人1組で登録。先着順受付とのことで、日本ライオンズでとりまとめする。日本は2〜3組をメドに参加してほしい（—去年はMD333,334の参加実績があり）別途ご案内文の配信予定。

国際会長歓迎晩餐会登録：

例年通り日本一括で申し込むので、MDごとの人数調整について案を確認した。

・日本ライオンズとして、計300名（300テーブル）をMD間で振り分ける（例：MD330⇒48名）登録料は日本Lでとりまとめ100ドル/1人⇒支払はライオンズレートではなく、送金時の実勢レートで計算の上、各MDへ請求する。別途ご案内文をMD宛に配信予定あり。服装については民族衣装又はタキシードとなっているが、次の通り申し合わせた。

- ・議長とガバナーは白・タキシードで統一したい。
- ・一般参加者はダークスーツ（夏用ジャケット着用で可）

ジャパンレセプション（含む次回第62回フォーラム開催地PR）：

- ・16日(土)16:30〜17:30（オセアルメンバーを中心に無料招待制）

MD331と334共同開催（一般、アロハに上着持参又はスーツ可）、最大500名、受付は海外VIP/日本8MD、出席者氏名記入してもらう。

服装について：

パタヤ大会開会式では、フォーラム初のハワイアンシャツ（アロハ）がドレスコードとなっており、タキシードやジャケット着用は厳禁。開会式後に屋外での灯籠流しイベントもあり、涼しいシャツスタイルで過ごすことが提案されている。

- ・フォーラム委員会幹旋のアロハ*（15ドル、各種デザイン準備）を現地にて購入するか、自前のアロハを用意する。
- ・MD334は統一したアロハを頒布するので、日本ライオンズでも希望者に頒布したらたらどうかとの提案があり、色柄見本が示された。各サイズを準備するので、頒布価格は¥6,000の予定。⇒次回委員会までに決定。

*情報は入手次第配信する（購入場所、デザイン色柄等）

その他：

- ・実際の登録者数は、概ねガバナー晩餐会申し込み者の累計でわかる。1,850人の60%ぐらい

か。

- ・各地区のガバナー晩餐会はいつ行うか⇒ほとんどの地区は 15 日（金）開会式後の晩に開催するところが多いため、灯籠流しイベントには不参加の可能性あり。
- ・オプショナルツアー330～337 で統一可能であるか？

服装についてのまとめ（全般）：

（議長とガバナーの会議）：アロハの上に上着スタイル。冷房が効きすぎの場合が多いです。

（開会式）アロハシャツ（上）、パンツ姿（短パン不可）、靴（サンダル不可）

（ウミガメ放流、灯籠流しイベント）アロハシャツ

（ジャパンレセプション）

- ・議長、ガバナー（タキシード、後に国際会長晩餐会があります）
- ・一般参加者（アロハ、ジャケット姿、国際会長晩餐会出席者はそれに準じたもの）

（国際会長晩餐会）指定は民族衣装またはタキシードとなっている。

- ・議長、ガバナー（白タキシード、なければ何色でも、女性は男性に準じた服装）
- ・一般参加者（男性 ジャケット姿、女性 男性に準じた服装）

5. 第 107 回メキシコ大会（2025 年 7 月 4 日－8 日 メキシコシティ）最新情報の確認

- ・メキシコ大会 公認 TC について（日本の公認TC規則に基づいて選定し、LCIへ公認申請する）
現状も公認以外の業者がツアーを組んでいる。公認 TC 以外が多いので選定の問題がある。
9 月の Web 委員会にて公認 TC を呼び、ツアーを組む前に協議したい（戸祭委員長）

6. その他（次回員会開催）

次回開催予定 9/10（火）10：00 より WEB 開催。各 MD 公認 TC 1 社へもご参加を頂く。

以上

議事録作成人 MD330 委員 中嶋 文夫

2024-2025

一般社団法人日本ライオンズ「第2回国際大会委員会（WEB）」議事録

日時：2024年9月10日(火) 10:00-12:00

場所：各PCから接続（ZOOM）

出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

理事長

松浦 淳一（岩見沢はまなす LC）

専務理事

中谷 豊重（岸和田 LC）

日本ライオンズ国際大会委員会

委員長

戸祭 宏樹（鯖江山王 LC）

副委員長

伊賀 保夫（東京ピース LC）

副委員長/副理事長

喜多 友一（上田城南 LC）

各複合地区国際大会委員

330 複合地区

中嶋 文夫（東京文化 LC）

331 複合地区

須藤 敏幸（伊達 LC）

332 複合地区

高橋 寛（和賀 LC）

333 複合地区

岡野 良男（土浦環 LC）

334 複合地区

大山 恭範（一宮 LC）

335 複合地区

江草 長史（和田山 LC）

336 複合地区

市村 通夫（鴨島 LC）

337 複合地区

高橋 抒見（諫早中央 LC）【欠席】

オブザーバー

331 複合地区国際大会委員会副委員長

穂積 尚弥（札幌パイオニア LC）

一般社団法人日本ライオンズ事務長

増澤 義治（諏訪湖 LC）

各複合公認 TC

MD330 公認 TC ウィントラベル東京営業支店

加藤 勉

MD332 公認 TC 名鉄観光サービス東北営業本部

川村 勲

MD333 公認 TC ウィントラベル本社

加藤 勉

MD334 公認 TC JTB 名古屋事業部

丹羽 祐太

MD335 公認 TC JTB 大阪第二事業部

沼間 章作

MD336 公認 TC 近畿日本ツーリスト広島支店

金子 愛梨佳

MD337 公認 TC JTB 福岡支店

蘭田 花奈

◎ 一般社団法人日本ライオンズ理事長ご挨拶 松浦 淳一

オセアルフォーラム・パタヤにおいてフォーラム組織委員会来日時の会議にて日本ライオンズの登録 1600 名を確約したが第一回国際大会委員会において目標を 1800 名とした。

また、メキシコ国際大会においては、諸般の状況から安心安全面に課題があることから、日本では各 MD が纏まって公認旅行コーディネータを通じて安心安全な国際大会参加を企画してほしい。

1. 本日の出席者確認及び進行について

出席者リストに基づき確認。

2. 議事録作成人の指名

戸祭委員長より、331 複合須藤委員が指名される

3. 第 61 回 OSEAL フォーラム（2024 年 11 月 14－17 日 タイ・パタヤ）について

タイでは電子タバコが違法であり、アイコス等の持ち込みは懲役または罰金刑となるため注意喚起。

① アロハシャツについて

・ジャパン・アロハシャツの着用及び購入について

今回は開会式のドレスコードがアロハシャツである。

334-E 地区から提案されたジャパン・アロハシャツについては、開会式・各レセプションに着用して日本の団結を表わす事で日本ライオンズ理事会にて推奨された。

参加者にはなるべく購入いただけるようお願いする。

・パタヤフォーラム委員会オリジナルアロハシャツ

注文は、オセアルフォーラム・パタヤのホームページから入って購入し受け取りは現地となっているので希望者は各自購入いただく。

現地受け取りの詳細については日本ライオンズより確認を取り各MDに知らせる。

・松浦理事長より、満月パーティ（ロイクラトン）などの参加義務基準は明示されていないがパタヤのメイン事業であり多くの参加が望ましいと考えている。且つ各セミナーへの積極的な参加を促す要望が話される。

②各 MD の登録状況について

各MDの登録目標リスト（別紙参照）が示される。MD331 が 300 名から 250 名に訂正し、計 1,800 名を目標とする。

③国際会長歓迎晚餐会について

晚餐会出席については日本全体で 300 名。1 テーブル 10 名の予定。案内は配信済。

④その他 OSEAL フォーラム確認事項

- ・日本ライオンズ事務長および職員の派遣について
増澤事務長より、職員 2 名の派遣を予定。事務長は未定である報告。

4. 第 107 回メキシコ大会（2025 年 7 月 4 日―8 日 メキシコシティ）

- ・戸祭委員長より資料 1 を参照の上、基本的には第一種旅行業者として登録されている公認 TC を採用する。

各 MD から提出された公認 TC リスト（別紙参照）が提示される。

331 須藤委員よし、MD331 は空欄になっているが早急に決定し通知する旨の発言がある

戸祭委員長より、メキシコ大会は安心安全面から日本ライオンズとしては、参加メンバーが大会本部に近く同一のホテルでの宿泊を優先したいと考えていると発言。

各複合公認 TC の取り纏目役として 334 公認 TC である丹羽氏（JTB 名古屋）を指名したいとの提案が出され、承認された。

丹羽氏より、各 MDTC と連絡を取り合い安心安全なメキシコ大会参加を図ると挨拶。

330・333 公認 TC ウィントラベル加藤氏から、オプショナルツアーについて各複合が各々行わず連携することで、添乗員、コスト、安全面が図れるとの提案があり、賛同される。

・公認 TC 規定について

日本ライオンズからは必ず第一種旅行業として登録されている業者を使うように呼びかける。

公認 TC からは第 2 種のデメリットとして、

- ① 第二種旅行業の旅行会社は募集型海外旅行の実施が法律でできないと決まっているため法令違反となる場合があること
- ② 第一種旅行業として登録されている場合には法令で海外旅行の際の特別補償に加入が必須となっているが、第二種旅行業の場合はその義務がなく、加入をしていない可能性があり有事の際の補償が受けられない可能性があること

またライオンズ国際協会の規定に定められている旅行パンフレットの提出や 25 ドルの手数料（ロゴや文言などの商標について）の支払いも行っていない業者について、国際理事会方針書にも反することが挙げられた。

国際本部よりメキシコ大会の公認ホテルはまだ公表されていない。

メキシコはスペイン語圏であり、日本語ガイド・通訳が不足することが予測されることから、日本各 MD は連携をしてホテル、ツアー、送迎バス、懇親会場などを共有することが提案された。

・9/9 OSEAL 調整事務局との打ち合わせの報告

戸祭大会員長より 9/9 に開催された、OSEAL 調整事務局との打ち合わせの報告。ホテルの立地や部屋タイプなど、OSEAL 調整事務局を通じて要望中である。

5. その他（次回員会開催予定など）

次回開催は9月30日（月曜日）午前10時から11時頃までWEB会議開催とする

◎閉会のご挨拶 国際大会委員会副委員長 MD330 議長 伊賀 保夫

伊賀国際大会副委員長より、「メキシコ大会に向けて、各複合が連携を取り合い参加するモデルとなるように努力して行こう」と閉会の挨拶がある。

以上

議事録作成人：

3 3 1 複合地区国際大会委員長 須藤敏幸

第3回国際大会委員会（WEB）議事録

2024年9月30日（月）10:00 - 12:00

ZOOM システム

出席者リスト

一般社団法人日本ライオンズ

理事長	松浦 淳一（岩見沢はまなす LC）
専務理事	中谷 豊重（岸和田 LC）

日本ライオンズ国際大会委員会

委員長	戸祭 宏樹（鯖江山王 LC）
副委員長	伊賀 保夫（東京ピース LC）
副委員長/副理事長	喜多 友一（上田城南 LC）【欠席】

各複合地区国際大会委員会

330 複合地区	中嶋 文夫（東京文化 LC）
331 複合地区	須藤 敏幸（伊達 LC）
332 複合地区	高橋 寛（和賀 LC）
333 複合地区	岡野 良男（土浦環 LC）
334 複合地区	大山 恭範（一宮 LC）
335 複合地区	江草 長史（和田山 LC）
336 複合地区	市村 通夫（鴨島 LC）
337 複合地区	高橋 杼見（諫早中央 LC）【欠席】

オブザーバー

331 複合地区国際大会委員会副委員長	穂積 尚弥（札幌パイオニア LC）
一般社団法人日本ライオンズ事務長	増澤 義治（諏訪湖 LC）

各複合公認 TC

MD330 公認 TC	ウイントラベル東京営業支店	加藤 勉
MD332 公認 TC	名鉄観光サービス東北営業本部	川村 勲
MD333 公認 TC	ウイントラベル本社	加藤 勉
MD334 公認 TC	JTB 名古屋事業部	丹羽 祐太
MD335 公認 TC	JTB 大阪第二事業部	沼間 章作
MD336 公認 TC	近畿日本ツーリスト広島支店	金子 愛梨佳
MD337 公認 TC	JTB 福岡支店	蘭田 花奈

- ◎一般社団法人日本ライオンズ理事長ご挨拶 松浦 淳一
・松浦理事長よりご挨拶。

◎国際大会委員会 委員長のご挨拶 MD334 前議長 戸祭 宏樹

1. 本日の出席者確認及び進行について

2. 議事録作成人の指名

- ・MD332 高橋委員を指名。

3. 議案及び確認事項

■第 61 回 OSEAL フォーラム（2024 年 11 月 14 日 - 17 日 タイ・パタヤ）

【最新情報の確認】

（登録関係）

① グループ登録用送金先について（修正あり）

- ・パタヤフォーラムHPで公開されているグループ登録用フォーマットに記載されていた登録料振り込み用口座名の訂正（スペル間違い）の説明。正しいものをすでに全国へ日本ライオンズよりお知らせ済。

② 各 MD 早期登録状況

- ・会議に出席者している各 MD 委員長より報告。

（行事関係）

③ 各種行事別参加対象者について

- ・開会式は、アロハ、ムームーなどのハワイアンスタイルがドレスコードとなっている。
男性の場合、下は白またはベージュ系の長ズボン、かかとの隠れるシューズとし、半ズボンやサンダルはご遠慮いただく。議長・ガバナーの配偶者については、壇上に登壇は現時点では不明。
- ・MD334 より、E 地区から国際理事候補者が出るので、コーカス会議や開会式などで横断幕やのぼりを掲げたいが可能かどうかの質問あり。
- ・JTB より：開会式、開会式の場所取りは、旅行会社が行います。例年プラカード、横断幕は、開会式では持ち込み可能です。

④ 申込行事参加人数（ウミガメ放流・ゴルフ）確認

- ・参加者数の確認。ウミガメ放流参加者は、フォーラム委員会より連絡があった通り、パスポートの写しを日本ライオンズに送る。

⑤ IPBQ（国際会長歓迎晩餐会）申込状況

- ・べ切終了で 296 名参加

⑥ ジャパンアロハシャツ申込状況

- ・980 枚の申込。1,000 枚に足りない部分は MD334 で調整。

【ジャパナイト 11 月 16 日 16:30 - について】

① 設置準備詳細（招待状ほか）

- ・受付は、16 時から設置します。（各 MD で 1 名出す）
- ・ドレスコードは、アロハシャツとしたい。
- ・当日の国際会長晩餐会まで 1 時間半ありますので、ホテルに戻りフォーマルドレスに着替える時間は確保できると思われる。

② 次第（案）について

- ・資料の確認。松浦理事長が欠席の可能性があり、戸祭委員長からは閉会あいさつを澤副理事長へ依頼する提案。

【各行事ドレスコードについて】

- ・朝の議長・ガバナー会議（3 回）、国際会長および第 1 副国際会長との会議
 - ・冷房対策のためジャケットが必要
- ・開会式 ・アロハシャツ
- ・閉会式 ・アロハもしくは自由（帰国のため）

■第 107 回メキシコ大会（2025 年 7 月 4 日 - 8 日メキシコシティ）最新情報の確認

- ・最新情報については現時点ではないため、確認中。

註：10/4 に国際協会より全会員へ向け、2025 年の大会開催地をメキシコシティから、アメリカ・フロリダ州オーランドへ変更することが配信されました。

4.その他（次回委員会開催予定など）

- ・次回会議については、新情報が入り次第開催したい。平日の 10 時ごろからを予定。
- ・松浦理事長より、地区の予定などが無い方はなるべくロイクラトンに参加してほしい。

◎閉会のご挨拶 国際大会委員会副委員長 MD330 議長 伊賀 保夫

- ・伊賀副委員長よりご挨拶。

以上

議事録作成人：MD332 委員 高橋 寛